

# 第3次伊勢市総合計画 実施計画（R4-R5）

令和4年9月



# 目次

■ I	実施計画の概要	1
1	計画策定の主旨	
2	実施計画の位置づけ	
3	実施計画の期間	
4	実施計画の対象事業	
	【参考】第3次伊勢市総合計画 基本構想	
■ II	分野横断課題別事業計画	4
	分野横断課題① 人口減少・少子化への対応	
	分野横断課題② 超高齢社会への対応	
	分野横断課題③ 新しい地域のつながりづくり	
	分野横断課題④ ダイバーシティ社会の実現	
	分野横断課題⑤ デジタル技術の活用	
	分野横断課題⑥ 脱炭素社会の実現	
	分野横断課題⑦ 自然災害への備え	
	分野横断課題⑧ 「伊勢らしさ」の継承・魅力発信	
	分野横断課題 新型コロナウイルス感染症で変わる社会、新しい価値観への対応	
■ III	施策体系別事業計画	14
分野1	自治・人権・文化	15
分野2	教育	25
分野3	環境	35
分野4	医療・健康・福祉	41
分野5	防災・防犯・消防	63
分野6	産業・経済	71
分野7	都市基盤	85
分野8	市役所運営	101

# I 実施計画の概要

## 1 計画策定の主旨

この実施計画は、第3次伊勢市総合計画の基本構想を実現するための施策を体系的に示す基本計画を展開していくための具体的な事業をまとめたものです。

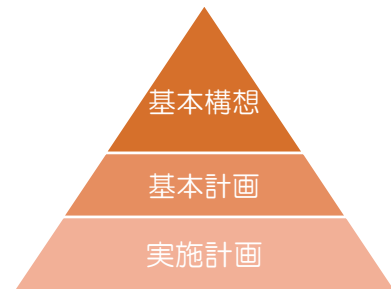
## 2 実施計画の位置づけ

伊勢市総合計画は、伊勢市が行う政策や事業の根拠となる最上位計画となるもので、まちの将来像やまちづくりの基本理念を明らかにし、市政運営の基本的方向を示すものです。第3次伊勢市総合計画は、伊勢市総合計画条例第2条の規定に基づき、基本構想・基本計画・実施計画の3層により構成します。

「基本構想」では、市の目指すべき将来像及び将来像を実現するための基本理念等を示しています。

また、「基本計画」では、基本構想を実現するための施策の基本的な方針等を体系的に示しています。

「実施計画」では、基本計画に掲げる施策を推進するための具体的な事業を示しています。



## 3 実施計画の期間

この実施計画の期間は、令和4年度から令和5年度までの2か年とします。

この実施計画は、各年度の実績及び今後の社会経済情勢等の諸条件の変化に応じて見直しを行い、ローリング方式により毎年度策定するものです。

※ローリング方式…実施計画の内容と実績のずれを埋めることや変動する社会情勢や財政状況等に対応するため事業を見直すなど部分的な修正を定期的に行う手法

### 【第3次総合計画の計画期間】

構成	計画期間
基本構想	平成30年度(2018年度)から令和11年度(2029年度)までの12年間とします。
基本計画	計画期間は4年間とし、前期計画、中期計画及び後期計画を策定します。 前期基本計画【平成30年度(2018年度)～令和3年度(2021年度)】 中期基本計画【令和4年度(2022年度)～令和7年度(2025年度)】 後期基本計画【令和8年度(2026年度)～令和11年度(2029年度)】
実施計画	2年間で計画スパンとした毎年度ローリング方式で策定します。

## 4 実施計画の対象事業

対象とする事業は、基本計画で示した分野横断課題や分野別計画で掲げる施策を推進するための事業です。

## 【参考】第3次伊勢市総合計画 基本構想

### ○まちづくりの基本理念

古来、気候風土が穏やかなこの伊勢の地は、風光明媚で海、山、里の幸に恵まれ、「美<sup>うま</sup>し国<sup>1</sup>」と呼ばれてきました。先人たちが守り続けてきた自然や伝統、培われてきた文化やおもてなしの心、そしてそれらが醸成するまちの誇りを受け継ぎ、さらに次世代へ継承していくことが、今を生きる私たちの責務です。

また、人口減少、少子高齢化、核家族化の進展等が招く生活への不安や、予測される地震などの自然災害への不安を解消し、安心できるまちづくりが必要となっています。

そして何よりもまちづくりの主役である市民<sup>2</sup>が、伊勢のまちに誇りと愛着を持ち、夢や希望を抱いていきいきと輝き暮らし続けられるまちをつくる必要があります。

「住みたい」「住み続けたい」「訪れたい」と誰をも魅了する、憧れのまちであり続けるために、3つの「まちづくりの基本理念」を次のとおり掲げます。

### ①私たちが担うまち ～伊勢人<sup>3</sup>の心意気～

伊勢のまちでは、鳥居前町として発展してきた「宇治」や「山田」で、古くから自治組織が設立されるなど、独自のまちづくりが行われてきました。その気風を現在に引き継ぎ、各地においては、地域の特性を生かした様々なまちづくりが展開されています。

まちづくりは、市民の幸せを実現するものであり、市民が主役となり、主体的に進めていくことが基本です。まちの課題を自らの課題として受け止め、その課題解決に向けてそれぞれが持つ強みや得意分野を生かして協働し実行することによって、活力に満ちた個性豊かで魅力的なまちを実現することができます。

市民と行政がお互いに役割を認め合うなかで、市民誰もが主体者として活躍できるまちを目指します。

---

1 美し国：日本書紀に『天照大神、倭姫の命におしえて曰く「この神風の伊勢の国は常世の浪の重浪（しきなみ）帰（よ）する国なり、かた国の美し国なり、この国に居（お）らむとおもう」とのたまう。』とあり、当地域のことを指します。

2 市民：本基本構想では、住民だけでなく、事業者、市内在勤者・在学者及び市内で活動する団体等も含んだ広い意味で捉えています。

3 伊勢人：市民を指しています。ここでは強調して“伊勢人”と呼びます。

## ②人と人とのつながりで活力と安心を感じられるまち ～おかげさまの心<sup>4</sup>～

全国の人々をお迎えする伊勢のまちは、人々の交流を支えに時代と共に歩んできました。

人と人との交流は、様々な分野の活動に刺激を与え、まちを動かす大きな活力を生み出します。まちが発展し、いつまでも魅力的であり続けるためには、人々が交流し、活力を感じられることが大切です。

また、現在の地域社会は、少子高齢化や人口減少、核家族化の進展や生活の多様化、価値観の変化などにより、地域住民相互のつながりが希薄化し、地域社会で支えあう力が弱まりつつありますが、大規模災害の発生時など様々な場面では、人と人との強い結びつきが安心の基盤となります。助け合える地域のつながりにより人々は安心して住み続けることができます。

時代とともに培われた「おもてなしの心」や、家族・地域・社会における「思いやりの心」「支えあいの心」を大切にし、「おかげさまの心」を育む人と人とのつながりで活力と安心を感じられるまちを目指します。

## ③地域の誇りをつなぐまち ～神宮ゆかりの地～

神宮ゆかりの地としての歴史的・文化的資産、伊勢志摩国立公園の自然資源、その知名度、これらが創り出す地域のアイデンティティは、他の地域にはないものであり、伊勢へ人を惹きつける求心力となっています。

常に原点に立ち帰りながら、絶えず新たに生まれ変わり続ける神宮の式年遷宮のように、先人から受け継いだこの豊穡の地を次世代へとつなぎ、これからも国内外から親しまれるとともに、市民がまちへの誇りと愛着を持ち続け、将来にわたって住み続けたいと思えるまちを目指します。

### ○まちの将来像

3つの「まちづくりの基本理念」を踏まえ、人と人、地域と地域、過去と未来をつなぎ、本市が目指すまちの将来像を以下に定めます。

**つながりが誇りと安らぎを育む 魅力創造都市 伊勢**

4 おかげさまの心：本基本構想では、いつもまわりの人々との絆や環境に支えられているという感謝の心を指します。

## Ⅱ 分野横断課題別事業計画

基本構想に掲げる「まちの将来像」の実現に向け、中期基本計画では政策分野を8つに分け、分野別計画を置くとともに、各政策を横断する重点的な課題を分野横断課題として位置づけています。

ここでは、分野横断課題の解決に向け、それぞれの政策分野で取り組む事業を整理しています。

## 分野横断課題① 人口減少・少子化への対応

### 【取組方針】

中心市街地の活性化や交通ネットワークの形成等によるコンパクトなまちづくりに取り組むとともに、圏域市町と連携を図りながら、暮らしの魅力を創出します。また、積極的な情報発信を行い、移住・定住の促進を図ります。

結婚・出産・子育てを後押しするため、出会い・結婚の支援をはじめとして、妊娠期から子育て期まで切れ目のない子育て支援を進めます。特に、仕事と子育てを両立できる環境整備のため、多様な保育サービスの充実や放課後児童対策等を進めます。

また、安定した雇用を確保するため、市内企業の流出防止や企業の誘致、創業及び事業継続の支援等を官民一体となって進めます。

### 《主な取組事業》

事業名	分野・施策	担当所属
出会い・結婚支援事業	分野1 施策3 人権尊重・男女共同参画	市民交流課
二見地区小中学校整備事業	分野2 施策1 学校教育	学校統合推進室
保健福祉拠点施設整備事業	分野4 施策1 医療・健康 施策2 地域福祉 施策4 子育て支援	福祉総務課
妊娠出産支援事業	分野4 施策1 医療・健康 施策4 子育て支援	健康課
妊産婦・乳児健康診査事業	分野4 施策1 医療・健康 施策4 子育て支援	健康課
保育士確保事業	分野4 施策4 子育て支援	保育課
民間保育施設特別保育事業	分野4 施策4 子育て支援	保育課
民間保育施設低年齢児保育充実事業	分野4 施策4 子育て支援	保育課
市立保育所特別保育事業	分野4 施策4 子育て支援	保育課
地域子育て支援センター事業	分野4 施策4 子育て支援	保育課
二見地区統合園整備事業	分野4 施策4 子育て支援	保育課
病児・病後児保育事業	分野4 施策4 子育て支援	子育て応援課
ファミリーサポートセンター事業	分野4 施策4 子育て支援	子育て応援課
放課後児童対策事業	分野4 施策4 子育て支援	子育て応援課
創業支援事業	分野6 施策2 商工業	商工労政課
雇用就労支援事業	分野6 施策4 就労・雇用	商工労政課
企業立地推進事業	分野6 施策4 就労・雇用	商工労政課
工場等誘致奨励事業	分野6 施策4 就労・雇用	商工労政課
中心市街地活性化整備事業	分野7 施策1 土地利用	基盤整備課
中心市街地再生事業	分野7 施策1 土地利用	都市計画課
立地適正化計画推進事業	分野7 施策1 土地利用	都市計画課
シティプロモーション推進事業	分野8 施策1 行財政運営	企画調整課

## 分野横断課題② 超高齢社会への対応

### 【取組方針】

健康づくりと介護予防を推進するとともに、介護が必要となった場合のサービス基盤の充実に取り組みます。

高齢者がセカンドライフを楽しむと同時に、社会活動の一端を担うことで生きがいをもち、自分らしく暮らし続けられるよう、地域活動への参画や就業の機会の提供を図り、高齢者自身が担い手となり、高齢者同士が支え合う仕組みづくり等を進めます。

また、地域全体で高齢者を支えるため、市民活動や地域と連携しながら、包括的な支援・サービス提供体制を構築する「地域包括ケアシステム」を強化します。

### 《主な取組事業》

事業名	分野・施策	担当所属
生涯学習推進事業	分野2 施策2 社会教育	社会教育課
保健福祉拠点施設整備事業	分野4 施策1 医療・健康 施策2 地域福祉 施策4 子育て支援	福祉総務課
在宅支援連携推進事業	分野4 施策1 医療・健康 施策5 高齢者福祉	福祉生活相談センター
小地域活動推進事業	分野4 施策2 地域福祉	福祉生活相談センター
地域包括ケア事業	分野4 施策2 地域福祉 施策5 高齢者福祉	福祉生活相談センター
地域包括支援センター運営事業	分野4 施策2 地域福祉 施策5 高齢者福祉	福祉生活相談センター
高齢者外出支援モデル事業	分野4 施策5 高齢者福祉	福祉生活相談センター
介護予防・生活支援サービス事業	分野4 施策5 高齢者福祉	介護保険課 福祉生活相談センター
地域介護予防活動支援事業	分野4 施策5 高齢者福祉	福祉生活相談センター
生活支援体制整備事業	分野4 施策5 高齢者福祉	福祉生活相談センター 介護保険課
高齢者バス運賃助成事業	分野4 施策5 高齢者福祉	高齢・障がい福祉課
老人福祉センター運営事業	分野4 施策5 高齢者福祉	高齢・障がい福祉課
高年齢者労働能力活用事業費補助金	分野6 施策4 就労・雇用	商工労政課



## 分野横断課題③ 新しい地域のつながりづくり

### 【取組方針】

地域やNPO、ボランティア団体等との連携・調整を図りながら、現在、地域活動の主力を担っていただいている方へのサポート、若者・女性・子育て世帯等への情報発信や参加機会を充実させるなどの市民活動への関心の醸成と参画につなげる取り組み、世代間の交流を通じた郷土愛を育むための地域の活動・文化等を継承する取り組み、地域におけるコミュニケーション機能や地域・NPO・企業等の連携を強化するための取り組みを促進します。

また、デジタル活用等による多様な参画機会の創出や効率的な運営・事業実施等を促進します。

### 《主な取組事業》

事業名	分野・施策	担当所属
いせミライプロジェクト推進事業	分野1 施策1 地域コミュニティ	市民交流課
地域自治推進事業	分野1 施策1 地域コミュニティ	市民交流課
自治会集会所建設事業補助金	分野1 施策1 地域コミュニティ	市民交流課
自治会活動補助事業	分野1 施策1 地域コミュニティ	市民交流課
市民活動促進事業	分野1 施策2 市民活動	市民交流課
伊勢のまつり開催事業	分野1 施策2 市民活動	市民交流課
指定無形民俗文化財等保存継承事業補助金	分野1 施策5 文化	文化政策課
小地域活動推進事業	分野4 施策2 地域福祉	福祉生活相談センター
地域共助の基盤づくり事業	分野4 施策2 地域福祉	福祉生活相談センター
民俗伝統行事継承事業	分野6 施策3 観光	観光振興課

## 分野横断課題④ ダイバーシティ社会の実現

### 【取組方針】

一人ひとりの違いを知り、意識を変えるきっかけとして、研修等による啓発や人権教育を実施します。

また、多様性を尊重し、互いに支え合う社会を形成するため、学びやスポーツ・文化活動、地域活動等のさまざまな場面において、多様な人々が交流・連携する機会を提供するとともに、多様性を踏まえた仕組みづくり・まちづくりを進めます。

これらの取り組みについて、当事者の想いや声を聴きながら、行政、企業、学校、地域、家庭等が連携して進めます。

### 《主な取組事業》

事業名	分野・施策	担当所属
人権啓発推進事業	分野1 施策3 人権尊重・男女共同参画	人権政策課
講演会開催事業	分野1 施策3 人権尊重・男女共同参画	人権政策課
人権啓発講座開催事業	分野1 施策3 人権尊重・男女共同参画	人権政策課
国際交流推進事業	分野1 施策4 国際交流・多文化共生	市民交流課
人権教育子ども輝きプラン総合推進事業	分野2 施策1 学校教育	学校教育課
教育集会所人権教育事業	分野2 施策1 学校教育	学校教育課
障害者地域生活支援事業	分野4 施策2 地域福祉 施策3 障がい福祉	高齢・障がい福祉課 福祉生活相談センター
バリアフリー観光推進事業	分野6 施策3 観光	観光振興課

## 分野横断課題⑤ デジタル技術の活用

### 【取組方針】

デジタルの活用による暮らしやすいまちづくりを進めるため、行政においては、市民目線での利便性向上やデジタルデバインドへの配慮、デジタル技術を活用した行政サービスの提供やデジタル環境の整備、内部事務のデジタル化、デジタルを活用できる職員の育成等に取り組むと同時に、地域においても、産官学民が連携して教育・福祉・産業分野等における地域課題の解決等に取り組み、地域全体でのスマートシティ化を進めていきます。

### 《主な取組事業》

事業名	分野・施策	担当所属
教育用コンピュータ管理経費（小学校・中学校）	分野2 施策1 学校教育	教育研究所
生活保護運営経費	分野4 施策2 地域福祉	生活支援課
スマート保育（ICT）事業	分野4 施策4 子育て支援	保育課
災害対応デジタル推進事業	分野5 施策1 防災・減災	危機管理課
各種資機材購入経費（常備消防費）	分野5 施策3 消防・救急	消防総務課
獣害防止事業	分野6 施策1 農林水産業	農林水産課
排水機維持管理経費（機能更新）	分野6 施策1 農林水産業	農林水産課
E C 販路開拓支援事業	分野6 施策2 商工業	商工労政課
安全安心な観光地づくり推進事業	分野6 施策3 観光	観光振興課
リモート案内システム等導入事業	分野6 施策3 観光	観光振興課
デジタル活用推進事業	分野8 施策1 行財政運営	デジタル政策課
住民情報システム管理経費	分野8 施策1 行財政運営	デジタル政策課
行政情報システム管理経費	分野8 施策1 行財政運営	デジタル政策課
ITセキュリティ対策事業	分野8 施策1 行財政運営	デジタル政策課
キャッシュレス決済対応レジ導入事業	分野8 施策1 行財政運営	デジタル政策課
電子申告運用事業	分野8 施策1 行財政運営	課税課
インターネット情報発信事業	分野8 施策1 行財政運営	広報広聴課

## 分野横断課題⑥ 脱炭素社会の実現

### 【取組方針】

温室効果ガスの排出削減に向けては、再生可能エネルギーや次世代自動車の導入促進、省エネルギー・省資源型のライフスタイルと事業活動への転換促進などを進めます。また、二酸化炭素の吸収源となり、水源かん養や土砂流出防備、生物多様性保全等の多面的な機能を有する森林・農地等の適正管理・保全を進めます。

気候変動への適応策では、自然災害対策として河川・排水施設整備等のハード対策とともに、ソフト対策として住民の防災意識の向上を図る取り組みの推進、また、熱中症対策等の健康被害防止の取り組みの推進により、安全・安心のまちづくりを進めます。

### 《主な取組事業》

事業名	分野・施策	担当所属
エコドライブ普及推進事業	分野3 施策1 循環型社会	環境課
MOTTAINAI推進事業	分野3 施策1 循環型社会 施策3 環境教育	ごみ減量課
きれいなまちづくり推進事業	分野3 施策1 循環型社会 施策3 環境教育	ごみ減量課
環境フェア等開催事業	分野3 施策3 環境教育	環境課
森林経営管理事業	分野6 施策1 農林水産業	農林水産課
河川改良事業	分野7 施策4 河川・排水	基盤整備課
排水施設整備事業	分野7 施策4 河川・排水	基盤整備課

## 分野横断課題⑦ 自然災害への備え

### 【取組方針】

自治会や自主防災隊等をはじめとした地域の防災力の向上、学校等における防災教育等の啓発と育成、要配慮者等を対象に医療機関や介護・高齢者施設等との連携による福祉分野の避難体制の整備、観光客等の帰宅困難者対策や事業者における業務継続計画の策定、備蓄物資や避難施設の環境整備、緊急輸送道路や河川改修、雨水排水対策等の都市基盤の整備など、庁内の各部署それぞれの担当分野において、関係機関等との連携を図りながら、必要な対策を推進します。

### 《主な取組事業》

事業名	分野・施策	担当所属
地域自治推進事業	分野1 施策1 地域コミュニティ	市民交流課
防災教育の推進	分野2 施策1 学校教育	学校教育課
避難行動要支援者対策事業	分野4 施策3 障がい福祉 施策5 高齢者福祉	高齢・障がい福祉課
地域防災力向上支援事業	分野5 施策1 防災・減災	危機管理課
災害対応デジタル推進事業	分野5 施策1 防災・減災	危機管理課
備蓄物資整備事業	分野5 施策1 防災・減災	危機管理課
避難所等整備事業	分野5 施策1 防災・減災	防災施設整備課
安全安心な観光地づくり推進事業	分野6 施策3 観光	観光振興課
河川改良事業	分野7 施策4 河川・排水	基盤整備課
排水施設整備事業	分野7 施策4 河川・排水	基盤整備課
排水機場維持管理経費（ポンプ場機能更新）	分野7 施策4 河川・排水	維持課
基幹配水管敷設及び敷設替事業	分野7 施策6 水道	上水道課
雨水管渠敷設事業	分野7 施策7 下水道	下水道建設課
ポンプ場築造事業	分野7 施策7 下水道	下水道建設課

## 分野横断課題⑧ 「伊勢らしさ」の継承・魅力発信

### 【取組方針】

令和8年度に予定される「お木曳行事」など、有形・無形の歴史的・文化的資産の保存・継承や地域・学校などにおける郷土教育を進めるとともに、「おもてなしの心」のさらなる醸成や、さまざまな人たちに対応した受入環境の整備を進めます。

また、市民にまちへの誇りと愛着の高まり・広がりをもたらし、市外の人には伊勢への関心・愛着・憧れをもたらすような、独自性・優位性のある伊勢のまちの情報を積極的に発信します。

### 《主な取組事業》

事業名	分野・施策	担当所属
文化財保存整備事業補助金	分野1 施策5 文化	文化政策課
指定無形民俗文化財等保存継承事業補助金	分野1 施策5 文化	文化政策課
文化財案内板設置事業	分野1 施策5 文化	文化政策課
伊勢うどん魅力発信事業	分野1 施策5 文化	文化政策課
企画展開催経費	分野1 施策5 文化	文化政策課
教育研究研修推進経費	分野2 施策1 学校教育	教育研究所
ターゲット戦略推進事業	分野6 施策3 観光	観光誘客課
観光地域力の検証事業	分野6 施策3 観光	観光振興課
案内所管理運営経費	分野6 施策3 観光	観光振興課
安全安心な観光地づくり推進事業	分野6 施策3 観光	観光振興課
バリアフリー観光推進事業	分野6 施策3 観光	観光振興課
観光人材育成事業	分野6 施策3 観光	観光振興課
民俗伝統行事継承事業	分野6 施策3 観光	観光振興課
景観形成推進事業	分野7 施策5 住宅	都市計画課
シティプロモーション推進事業	分野8 施策1 行財政運営	企画調整課

## 分野横断課題【コロナ】

### 新型コロナウイルス感染症で変わる社会、新しい価値観への対応

#### 【取組方針】

「寄り添い・届ける・迅速に」を対策方針とし、国・県、周辺市町等との連携を図りながら、最も市民に近い自治体として、引き続き感染防止対策・生活支援・経済対策に取り組みます。

#### 《主な取組事業》

	事業名	分野・施策	担当所属
感 染 防 止 対 策	幼稚園感染防止対策事業	分野2 施策1 学校教育	教育総務課
	I C T教育環境充実事業	分野2 施策1 学校教育	教育研究所
	検査センター運営事業	分野4 施策1 医療・健康	健康課
	新型コロナウイルスワクチン接種事業	分野4 施策1 医療・健康	健康課
	時間外・休日医療従事者派遣支援事業	分野4 施策1 医療・健康	健康課
	介護・障がいサービス事業所支援事業	分野4 施策3 障がい福祉 施策5 高齢者福祉	介護保険課
	保育所等感染防止対策事業	分野4 施策4 子育て支援	保育課
	子育て支援施設等感染防止対策事業	分野4 施策4 子育て支援	保育課 子育て応援課
	老人福祉施設等感染防止対策事業補助金	分野4 施策5 高齢者福祉	介護保険課
	リモート案内システム等導入事業	分野6 施策3 観光	観光振興課
	キャッシュレス決済対応レジ導入事業	分野8 施策1 行財政運営	デジタル政策課
生 活 支 援	臨時特例奨学金育英事業	分野2 施策1 学校教育	学校教育課
	保育士・幼稚園教諭等処遇改善臨時特例事業	分野2 施策1 学校教育	教育総務課
		分野4 施策4 子育て支援	保育課
	自宅待機者生活応援サービス事業	分野4 施策1 医療・健康	福祉総務課
	家計急変世帯相談支援事業	分野4 施策2 地域福祉	福祉生活相談センター
放課後児童支援員等処遇改善臨時特例事業	分野4 施策4 子育て支援	子育て応援課	
経 済 対 策	生活困窮者自立支援金支給事業	分野4 施策2 地域福祉	生活支援課
	子育て世帯生活支援特別給付金支給事業	分野4 施策4 子育て支援	福祉総務課
	伊勢のお店応援商品券事業	分野6 施策2 商工業	商工労政課
	伊勢市版地域経済復活支援金	分野6 施策2 商工業	商工労政課
	E C販路開拓支援事業	分野6 施策2 商工業	商工労政課
	伊勢の魅力・文化発信事業	分野6 施策3 観光	観光誘客課
	旅行消費拡大事業	分野6 施策3 観光	観光誘客課

### Ⅲ 施策体系別事業計画

各施策における事業の内容や令和4年度当初予算額（一部補正予算額含む）、その方向性などを掲載します。

#### 施策体系別事業費一覧

政策分野	事業費（単位：千円）	施策	事業費（単位：千円）	頁
分野1 自治・人権・文化	370,461	施策1 地域コミュニティ	271,739	15
		施策2 市民活動	25,187	17
		施策3 人権尊重・男女共同参画	24,320	18
		施策4 国際交流・多文化共生	2,397	20
		施策5 文化	46,818	21
分野2 教育	3,954,935	施策1 学校教育	3,617,086	25
		施策2 社会教育	302,948	31
		施策3 スポーツ	62,226	33
分野3 環境	701,198	施策1 循環型社会	642,331	35
		施策2 環境保全	57,384	37
		施策3 環境教育	4,303	39
分野4 医療・健康・福祉	5,944,372	施策1 医療・健康	2,587,945	41
		施策2 地域福祉	1,218,382	46
		施策3 障がい福祉	285,938	49
		施策4 子育て支援	2,905,250	51
		施策5 高齢者福祉	752,440	57
分野5 防災・防犯・消防	341,025	施策1 防災・減災	179,379	63
		施策2 防犯	42,053	65
		施策3 消防・救急	114,141	67
		施策4 交通安全	5,452	69
分野6 産業・経済	1,917,238	施策1 農林水産業	669,990	71
		施策2 商工業	740,199	75
		施策3 観光	373,070	78
		施策4 就労・雇用	122,880	81
		施策5 消費者行政	11,099	83
分野7 都市基盤	9,685,415	施策1 土地利用	743,520	85
		施策2 道路・公園	1,664,686	87
		施策3 交通	684,023	90
		施策4 河川・排水	436,540	92
		施策5 住宅	159,226	94
		施策6 水道	2,765,979	96
		施策7 下水道	3,231,441	98
分野8 市役所運営	1,038,343	施策1 行財政運営	1,004,345	101
		施策2 行政組織力	33,998	104
合計	23,952,987			

※複数の施策に計上している事業については、重複した事業費を政策分野の事業費の合計から差し引いています。



# 分野1 自治・人権・文化



## 施策1 地域コミュニティ

### 関連する主な分野横断課題

- ③新しい地域のつながりづくり
- ⑦自然災害への備え
- ⑧「伊勢らしさ」の継承・魅力発信

### 中期基本計画

#### ○推進方針

地域の連携を深め、地域活動を活性化します

#### ○施策における主要な課題

主要課題① 地域活動に主体的に参画する機運の向上

主要課題② 地域活動の仕組み・体制の充実支援

#### ○施策の現況・課題・今後4年間の方向性

地域コミュニティは、地域住民が助け合って生活を営む基盤として、非常に大きな役割を担っており、災害時の助け合いや子育て、高齢者の生活介助など、多種多様な活動を行っています。

しかし、生活様式の変化や価値観の多様化が進む中、活動者の高齢化や自治会加入率の低下が進行し、各地域において後継者・担い手不足や活動の停滞が起きつつあります。昨今では、コロナ禍により、これまで対面で行われていた地域活動の機会も減少し、地域のつながりの希薄化に拍車をかけている状況にあります。

このような中、地域を支える人材を確保・育成し、活動を継続・活性化するための対策が喫緊の課題となっています。

そのため、地域活動への認知・理解向上のための情報発信等の強化や、若者・女性・子育て世代等が共感し参加できる活動機会の充実等を促進する取り組みを進めます。また、地域内でのコミュニケーション機会の充実やデジタル活用等により、地域の実情に合致した活動を効率的に推進する仕組みづくりを促進します。

## 取り組む事業

主要 課題	新規	事業名（小事業名）・事業概要	所属名	事業 年度	事業予算（単位：千円）		関連する 主な分野 横断課題
					（参考） R3当初	R4当初	
11①	●	いせミラプロジェクト推進事業 「次世代のまちづくりへの参加促進」や「人づくり」を目的として、高校生が自ら企画し、まちづくりを実践する事業を行う。	市民交流課	R4-R5	-	472	③
11① 11②		地域自治推進事業 まちづくり協議会活動への財政的支援及び人的支援、人材の育成、研修会の開催等、組織・活動を確かなものとするための事業を行う。	市民交流課	R4-R5	188,554	185,405	③⑦⑧
11②		区長謝礼事業 市内175自治会の長に対し、行政からの各種依頼や行政委員等の候補者推薦業務の謝礼として、世帯数に応じた報償金を支払う。	市民交流課	R4-R5	7,470	7,550	③
		自治会集会所建設事業補助金 地域のコミュニティ活動を促進し活性化を図るため、自治会等が行う自治会集会所の新築、改築、増築、修繕、バリアフリー改修、空調設備整備及び購入に要する経費の一部に補助金を交付する。	市民交流課	R4-R5	9,597	10,000	③
		コミュニティ助成事業補助金 一般財団法人 自治総合センターの宝くじの社会貢献広報事業として実施している助成金を市の財源として、自治会等が行う集会所の建設整備や活動備品の整備等に対して補助金を交付する。	市民交流課	R4-R5	24,100	23,000	③
		自治会活動補助事業 自治会活動を支援するとともに、住民の福祉の増進を図り、住み良い地域社会の形成に資するため必要となる助成金等を交付する。	市民交流課	R4-R5	43,414	43,912	③⑦⑧
		総連自治会運営補助金 自治会相互の情報交換及び行政との意見交換・合意形成を図るとともに、先進地への研修等の活動に必要な補助金を交付する。	市民交流課	R4-R5	1,400	1,400	③
					274,535	271,739	

# 分野1 自治・人権・文化



## 施策2 市民活動

### 関連する主な分野横断課題

- ③新しい地域のつながりづくり
- ⑦自然災害への備え

### 中期基本計画

#### ○推進方針

個人やNPO等の市民活動を促進します

#### ○施策における主要な課題

主要課題① 多様な市民活動の促進

主要課題② 市民活動への参加促進

#### ○施策の現況・課題・今後4年間の方向性

地域の抱える課題が多様化する中、行政が行う画一的サービスでは対応困難な課題も増加しており、NPOやボランティア等の市民活動への期待が高まっています。また、市民活動においても、企業による社会貢献としての取り組み、SNSを活用した団体運営やサービス提供など、その態様は多様化しています。

多様な地域課題にきめ細やかに対応するためには、より多くの市民が個々の能力を活かした自分に合った形で活動に取り組み、多種多様な市民活動が展開されることが求められています。

このことから、地域コミュニティや企業との連携を深めながら、市民活動団体の活動状況や参画方法等に関する情報発信、市民が積極的に参画できる環境づくりを行うとともに、市民活動の実態等に応じた活動拡大や維持・継承、立ち上げ等の支援に取り組めます。

## 取り組む事業

主要課題	新規	事業名(小事業名)・事業概要	所属名	事業年度	事業予算(単位:千円)		関連する主な分野横断課題
					(参考)R3当初	R4当初	
12① 12②		市民活動促進事業 市民活動の拠点として、いせ市民活動センターの管理運営を行う。	市民交流課	R4-R5	16,662	16,088	③
		伊勢のまつり開催事業 市民が見て、参加して楽しめる行事「伊勢まつり」の開催を支援する。	市民交流課	R4-R5	8,200	8,090	③
12関連		災害ボランティア支援事業 災害時にボランティアを受け入れる「伊勢市災害ボランティアセンター」の運営に備えた講習会や運営訓練等を行う。	市民交流課	R4-R5	1,009	1,009	⑦
					25,871	25,187	

# 分野1 自治・人権・文化



## 施策3 人権尊重・男女共同参画

### 関連する主な分野横断課題

- ①人口減少・少子化への対応
- ④ダイバーシティ社会の実現

### 中期基本計画

#### ○推進方針

人権意識を高めるとともに、心のバリアフリーを推進します

#### ○施策における主要な課題

主要課題① 人権啓発活動への参加促進

主要課題② 男女共同参画社会形成のための意識の醸成

#### ○施策の現況・課題・今後4年間の方向性

「偏見」や「差別」など、さまざまな人権問題が依然として存在しています。最近では、感染症に対する誹謗中傷やSNS上でのいじめなどインターネットを悪用した人権侵害もみられます。

その根底には、正しい知識や理解不足、他人に対する思いやりや、いたわりの希薄さがあると思われます。人権課題の解決のためには、一人ひとりが自他を思いやり、個々の多様性を認め合う意識を育むことが大切です。

このことから、事案の発生状況や市民の意識・関心等の把握を行い、市民が参加しやすい啓発活動を推進します。

また、若年層を中心に男女共同参画に対する意識は変わりつつありますが、社会には性別による固定的な役割分担意識が根強く残っており、男女共同参画社会実現の障害となっています。

そのため、職場、学校、地域、家庭などのあらゆる場面で、性別にかかわらず、その個性や能力を十分に発揮できる環境の形成や仕事と生活が調和したライフスタイルの実現を支援する必要があります。

このことから、次代を担う子どもたちへの教育の推進や広く市民を対象とした啓発・学習機会の充実により、男女共同参画意識の醸成を図り、固定的な性別役割分担意識の解消に努めるとともに、各分野の意思決定過程への女性の参画を推進します。また、事業者と連携して仕事と生活が調和したライフスタイルが実現できる環境づくりに取り組みます。

## 取り組む事業

主要課題	新規	事業名（小事業名）・事業概要	所属名	事業年度	事業予算（単位：千円）		関連する主な分野横断課題
					（参考）R3当初	R4当初	
13①		人権施策推進事業 伊勢市人権施策推進協議会の開催と同協議会の負担金支出。	人権政策課	R4-R5	1,000	1,000	④
		市民館講座開催事業 地域社会づくりを推進するための地域活動の場となる事業。	人権政策課	R4-R5	250	197	④
		人権啓発推進事業 市民一人ひとりの人権が大切にされ、明るく住みよい地域社会実現のため人権全般にわたる啓発を行う。	人権政策課	R4-R5	2,129	2,090	④
		非核平和推進事業 平和を推進する団体等に負担金を支出し、非核平和宣言都市として広く市民に核兵器の廃絶と軍備縮小並びに平和の尊さを訴える。	人権政策課	R4-R5	1,005	958	④
		講演会開催事業 講演会を開催して市民に人権問題を考える機会を提供し、人権に対する認識を深め人権尊重の文化を築く。	人権政策課	R4-R5	1,431	1,269	④
		小学校区別人権・同和教育推進連絡協議会事業 様々な人権問題について、地域社会で住民が主体的に啓発活動に取り組むため、そのリーダーとして各小学校区に結成された人権・同和教育推進連絡協議会の活動をサポートする。	人権政策課	R4-R5	900	860	④
		人権啓発講座開催事業 受講者の一人ひとりが人権尊重の正しい知識を持ち、人権感覚を養うために講演及びグループ討議の場を設定する。様々な人権問題を取り上げ、現在の課題や問題点を明らかにすることにより、人権問題についての認識を深め、解決に向けた広がり浸透させる講座とする。	人権政策課	R4-R5	260	259	④
13②		男女共同参画推進都市事業 市民と行政の協働による啓発事業の開催や、広報いせ紙面への啓発記事掲載等により男女共同参画の意識の高揚を図る。また、女性活躍推進計画に基づき、女性のキャリアアップを後押しし、女性活躍の機会拡大に努める。 令和5年度からの施策を推進する第4次男女共同参画基本計画を策定する。	市民交流課	R4-R5	3,039	5,770	④
13関連		出会い・結婚支援事業 若者の意識を結婚・出産へつなげるため、情報提供や出会いの場の提供を行う。社会全体で結婚をバックアップしていく気運の醸成を図り、安心して結婚・出産ができる社会づくりを目指す。	市民交流課	R4-R5	12,052	11,917	①
					22,066	24,320	

# 分野1 自治・人権・文化



## 施策4 国際交流・多文化共生

### 関連する主な分野横断課題

④ダイバーシティ社会の実現

### 中期基本計画

#### ○推進方針

国際理解を深めるとともに、多様な文化を認め合えるまちづくりを進めます

#### ○施策における主要な課題

主要課題① 市民の国際感覚の醸成

主要課題② 在住外国人の環境整備

#### ○施策の現況・課題・今後4年間の方向性

インターネットの進化や移動手段の発達に伴い、多くの人々が国境を越えた交流を楽しめるようになりました。また、仕事の都合等により、外国で暮らすケースが増える中で、日本に働きにみえる外国人も増加しており、市内に住む外国人の数も年々増加しています。

このような時代の中で、市民が国際社会で活躍できるよう、また、市内に居住する外国人を含む市民が安心・充実した生活ができるよう、市民の国際感覚の醸成、在住外国人の日本理解の促進や暮らしやすい環境整備が求められています。

そのため、外国について気軽に学べる機会を提供するなど、市民が世界に興味を持つきっかけづくりに取り組むとともに、在住外国人が地域で暮らすうえでの必要な情報の提供や地域住民との交流機会を創出するなど、多文化共生社会の実現に取り組みます。

### 取り組む事業

主要課題	新規	事業名(小事業名)・事業概要	所属名	事業年度	事業予算(単位:千円)		関連する主な分野横断課題
					(参考)R3当初	R4当初	
14① 14②		国際交流推進事業 国際交流に関するイベント等を実施する。また、外国人が住みやすいまちづくりを行う。	市民交流課	R4-R5	3,139	2,397	④
					3,139	2,397	



# 分野1 自治・人権・文化



## 施策5 文化

### 関連する主な分野横断課題

- ③新しい地域のつながりづくり
- ④ダイバーシティ社会の実現
- ⑧「伊勢らしさ」の継承・魅力発信

### 中期基本計画

#### ○推進方針

郷土愛を醸成するとともに伊勢らしい文化・芸術の振興を図ります

#### ○施策における主要な課題

主要課題① 文化財（有形・無形）等の保存・活用

主要課題② 文化芸術活動への参加のきっかけづくりと後継者の育成

主要課題③ 文化施設の整備と利用推進

#### ○施策の現況・課題・今後4年間の方向性

歴史的・文化的資産である文化財は、その性質上脆弱（ぜいじゃく）なものが多いことから、これらを現在に活かし、未来に伝えていくため、必要な調査・修理・整備を行います。また、指定・登録を進める等、適切に保存するとともに、その価値を広く情報発信します。伝統芸能では、近年、後継者不足等により活動の継続を困難と感じる保存継承団体もあることから、未来へ確実に継承できるよう、経済的な支援のほか、記録作成、保存・公開等、団体に寄り添った支援を行います。これら文化財を次世代へ継承するためには、文化財の価値に対する市民の理解が不可欠です。理解を得るための有効な政策を、まちづくりや観光、学校教育等の他分野とも適切に連携をし、総合的に進めていきます。

文化芸術活動は多くの恩恵をもたらし、心豊かな市民生活の形成に寄与するものですが、その参加者は限定的であるため、より多くの市民に関心や興味をもってもらえるよう、市民ニーズを念頭に置いた公演や行事等の機会を提供します。また、多くの活動団体で後継者の確保・育成が課題となっているため、将来の活動の担い手となる子どもに対して、文化芸術に接する機会を拡充します。

博物館施設においては、来館者数が横ばいか減少傾向にあるため、市民や観光客に利用してもらえるよう、関心の高い企画展を催して情報発信に努める等、利用促進につながる取り組みを行います。また、本市の歴史を総合的に紹介する郷土資料館の整備を進めます。

## 取り組む事業

課題 コード	新規	事業名（小事業名）・事業概要	所属名	事業 年度	事業予算（単位：千円）		関連する 主な分野 横断課題
					（参考） R3当初	R4当初	
15①		文化財保存整備事業補助金 市内に所在する指定文化財及び国登録有形文化財の保存修理等にあたって所有者へ補助金を交付する。令和4年度は3件の文化財の保存修理費等に対して補助金を交付する。	文化政策課	R4-R5	15,651	9,389	⑧
		指定無形民俗文化財等保存継承事業補助金 伊勢市内で伝承されている指定無形民俗文化財等の連綿とした保存継承を支援するため、伝承団体が行う後継者育成・備品整備・記録作成・普及宣伝等の事業に対し補助金の交付を行う。令和4年度は指定無形民俗文化財18団体、未指定無形民俗文化財5団体に対して実施する。	文化政策課	R4-R5	3,400	2,900	③⑧
		文化財案内板設置事業 市内の旧跡等の文化財に対し、文化財案内板等を設置することにより、その所在を明らかにし、来訪者への周知を図る。 令和4年度は、既設案内板4件の英語翻訳および市HP掲載の英訳文読み取り用QRコード付きステッカーの貼付と史跡等文化財を周知するための案内板を1基設置。	文化政策課	R4-R5	3,903	692	⑧
		旧豊宮崎文庫整備活用事業 市が所管する国指定史跡「旧豊宮崎文庫」について、来訪者が利用しやすい環境を整備する目的で実施する。令和4年度は、旧豊宮崎文庫に関する講演会・史跡見学会、せんぐう館見学を開催する。	文化政策課	R4-R5	2,976	283	⑧
		賓日館保存事業 賓日館は市が所管する文化財（国の重要文化財）であり誘客施設として活用されているため、文化財の価値を守り、安全に公開活用するために、耐震補強工事を実施するための準備を行う。また、建物の維持管理のための修繕と賓日館に関する講演会・見学会を実施する。	文化政策課	R4-R5	13,519	1,731	⑧
		伊勢うどん魅力発信事業 「伊勢うどん」は、市民に手軽な郷土食として愛され、神宮へ長旅をしてきた参拝客の胃腸に優しいエネルギー源として、江戸時代から根づいた古い歴史を持っている。 「伊勢うどん」が国登録無形民俗文化財の候補リストに加わるための調査研究及び保護継承のための講演会等を実施する。	文化政策課	R4-R5	-	9,272	⑧
15① 15③		賓日館管理運営事業 国指定重要文化財である賓日館の適正な管理運営を行う。	二見 生活福祉課	R4-R5	9,181	9,166	⑧
15②		芸術祭開催事業 市の文化芸術の振興を図るため、「伊勢市芸術祭」としてさまざまな事業を開催する。年間を通じた文化芸術イベント「ISECOLLECTION」（いせ・これ）の3本柱のひとつ。 【内容】市民芸能祭、市美術展覧会等の開催	文化政策課	R4-R5	4,790	3,391	④⑧
		文化芸術鑑賞事業 市の文化芸術の振興を図るため、「文化公演事業」として、上質な音楽や演劇、また気軽に鑑賞できるイベント等を提供する。年間を通じた文化芸術イベント「ISE COLLECTION」（いせ・これ）の3本柱のひとつ。	文化政策課	R4-R5	3,211	3,362	⑧



課題 コード	新規	事業名（小事業名）・事業概要	所属名	事業 年度	事業予算（単位：千円）		関連する 主な分野 横断課題
					（参考） R3当初	R4当初	
15②		次世代のための文化芸術推進事業 伊勢うどんや蓮台寺柿等の伊勢の美味しい食べ物、民俗行事等の歴史文化をお題にした「短詩型文学祭」の作品公募、茶道・箏等の体験講座を行い、次代を担う小中学生に伊勢の魅力を伝え、創造力や感性を養う。年間を通じた文化芸術イベント「ISE COLLECTION」（いせ・これ）の3本柱のひとつ。	文化政策課	R4-R5	1,104	992	⑧
	●	アクティブ・アート推進事業 文化芸術分野のプロのクリエイターと連携した展示会や演奏会等を開催し、市民の文化芸術活動の活性化と、情報発信による観光誘客を図る。	文化政策課	R4-R5	—	4,000	⑧
15③		企画展開催経費 郷土資料コーナー（小俣総合支所内）の適切な運営管理を行う。 また、平成27年度より郷土資料コーナー以外で企画展を開催しており、令和4年度は、名勝宮川堤を紹介する企画展などを開催する予定である。	文化政策課	R4-R5	1,465	1,040	⑧
15関連		全国大会等参加激励事業 全国規模の芸術文化大会（合唱、吹奏楽、将棋等）に出場する者に激励金を交付する。	文化政策課	R4-R5	610	600	⑧
					59,810	46,818	



# 分野2 教育



## 施策1 学校教育

### 関連する主な分野横断課題

- ①人口減少・少子化への対応
- ③新しい地域のつながりづくり
- ④ダイバーシティ社会の実現
- ⑤デジタル技術の活用
- ⑥脱炭素社会の実現
- ⑦自然災害への備え
- ⑧「伊勢らしさ」の継承・魅力発信

### 中期基本計画

#### ○推進方針

心豊かでたくましい子どもの育成に努めます

#### ○施策における主要な課題

主要課題① 確かな学力と社会を形成する力の育成

主要課題② 豊かな心の育成

主要課題③ 安全で安心な教育環境づくり

#### ○施策の現況・課題・今後4年間の方向性

将来予測が困難な時代にあり、教育ニーズも多様化する中、主体的に判断し行動する「自立」の力と、他者の存在や個性を大切にする思いやりや協調性、コミュニケーション能力等の「共生」の力の育成が求められています。

このような中、本市では変化を前向きに受け止め、他者と共に支え合いながら、自らの夢や志を持って可能性に挑戦し、未来を切り拓こうとする「心豊かでたくましい子ども」の育成を目指します。

そのために、「確かな学力」、「豊かな心」、「健やかな体」を一体的に・調和的に育む教育を推進するとともに、それを実現できる安全で安心な教育環境を整備し、子どもたちの学校生活の満足度を高めます。

1人1台タブレット端末などICT機器の活用や授業改善を行いながら、個別最適な学びと協働的な学びを推進するとともに、体験学習を通して豊かな心を育み、食育や健康教育、体力の向上の取り組みを通してたくましく健やかに生きていくための身体の育成を図ります。また、一人ひとりに応じた支援や、いじめや不登校を生まない学習環境の整備とともに、家庭・地域・学校が連携・協働して防災教育に取り組みます。

ピーク時の50%以下である児童生徒数の減少がみられる中、子どもたちにとってより望ましい教育環境となるよう小中学校の適正規模化・適正配置に取り組みます。

## 取り組む事業

課題コード	新規	事業名（小事業名）・事業概要	所属名	事業年度	事業予算（単位：千円）		関連する主な分野横断課題
					（参考）R3当初	R4当初	
21①		未来ハチャレンジ！職場体験推進事業 中学2年生を対象として、学校、家庭、地域社会が一丸となって地域ぐるみで職場体験活動を行う。	学校教育課	R4-R5	1,388	1,249	③
		学力向上推進事業 児童生徒の学力を向上させるために、学力検査を市立全小中学校で実施し、きめ細かな指導に生かすとともに、研究指定校4校で教育課程一般について研究を進め、授業改善事例集を作成する。	学校教育課	R4-R5	10,529	9,977	⑤
		エンジョイイングリッシュ事業 ALTとの英語体験活動（児童対象）や校内研修会、中学生スピーチコンテストを開催する。小学校外国語の研究指定校（1校）を指定し、ALTを重点配置する。伊勢市立の学校に通う小中学生及び市内在住の小中学生を対象に、検定料の全額を年1回補助する。就学前における英語活動の充実をめざし、就学前英語活動支援事業を行う。	学校教育課	R4-R5	14,671	16,632	④
		ALT活動事業 小中学校1～3校ごとに外国語指導助手（ALT）を配置し、担当教諭とともに外国語活動・外国語等の指導にあたる。	学校教育課	R4-R5	74,608	78,168	④
		教育用コンピュータ管理経費（小学校・中学校） 小学校・中学校教育用及び校務用コンピュータの整備、維持管理を行う。	教育研究所	R4-R5	90,241	161,107	⑤
		ICT教育環境充実事業 新型コロナウイルス感染症対策として、密を避けた授業や学校行事を行うために必要なICT機器を整備する。	教育研究所	R4-R5	—	48,391 ※補正予算(1号)	⑤ 【コロナ】
		教科書等購入経費（小学校・中学校） 教師用「教科書」と「指導書」を購入する。	学校教育課	R4-R5	11,921	5,152	
21① 21② 21③		子ども輝き生き活き総合推進事業 「いじめ」・「不登校」などの早期発見・早期対応・未然防止のため「子どもの人間関係づくり」研究を行う。全小中学校において、教育心理検査を実施しその分析に基づき安心して過ごせる学級集団づくりのための取り組みを行う。また、非常勤講師を配置し研究体制の強化を図ると同時に、教職員のカウンセリングマインドの向上を図り、児童生徒が安心して学校生活を送れるよう環境を整備する。	教育研究所	R4-R5	44,940	42,026	
		カウンセリングルーム総合推進事業 教職経験者や臨床心理士を学校に派遣し、学校長と連携をとりながら学校経営に対する助言および、きめ細かな生徒指導体制の充実・強化の支援を図るなど、各学校の教育力を高める。また、児童生徒の教育、不登校等の問題に関する相談に対応し、問題の早期解消を支援する。緊急に支援を必要とする学校に緊急支援員を派遣する。	教育研究所	R4-R5	24,198	23,909	
		不登校対策子ども未来サポート総合推進事業 「子ども輝き生き活き総合推進事業」、「カウンセリングルーム総合推進事業」など、関連する他の事業と連携して、不登校児童生徒の社会的自立及び学校復帰、未然防止に総合的に取り組む。また、教職員対象の研修会だけでなく、保護者を対象とした懇談会を開催し、教職員の専門性を高めるとともに、保護者の支援や意識の向上を図る。	教育研究所	R4-R5	10,562	11,520	
21②		学校図書館活性化支援事業【22②で再掲】 学校図書館の環境整備と子どもたちの読書活動推進のために、学校図書館スタッフを市内各校に週1.5回程度派遣する。さらに市内小中学校統一した図書管理システムを導入することで読書活動の推進を行う。	学校教育課	R4-R5	31,096	26,650	⑤

課題 コード	新規	事業名（小事業名）・事業概要	所属名	事業 年度	事業予算（単位：千円）		関連する 主な分野 横断課題
					(参考) R3当初	R4当初	
21②		読書大好キッズプロジェクト事業【22②で再掲】 子どもたちの読書活動推進のために、平成29年度後期から実施の「読書ツアー（低学年版）」、平成30年度から実施の「読書ツアー（高学年版）」の充実を図る。令和4年度実施の準備として低学年用の印刷、高学年用の電子化を行う。	学校教育課	R4-R5	5,092	675	⑤
		学校行事開催事業 児童生徒が音楽、美術及び科学等に触れる機会を支援するため各種行事の開催を委託し、学校行事の充実を図る（科学創作展、教育美術展、文化芸術活動推進事業、伊勢まつり）。	学校教育課	R4-R5	4,397	4,397	④
		文化活動県外大会参加負担金 文化活動の促進を図るため、県外の大会に参加する学校へ支援を行う。	学校教育課	R4-R5	3,665	5,161	
		豊かな心を育む体験交流活動推進事業 自然や環境、文化、ボランティア等に関する体験、交流学習、創意工夫を生かした学習活動を通して児童生徒が自然を大切にすることを思いやる優しさ等豊かな心を育む。	学校教育課	R4-R5	4,542	4,542	
		非核・平和推進事業 広島平和記念式典に市立全10中学校から各校2名を派遣し、参加報告会を開催したり、報告作文集を発行したりして、中学生だけでなく、広く市民に核兵器の廃絶、平和の尊さと維持することの重要性を訴える。	学校教育課	R4-R5	1,073	1,073	
		人権教育研究委託経費 人権教育実践研究団体に、人権教育の研究や研修をより深く実践的に進めるため、実践研究や指導者向け研修会等の事業を委託する。	学校教育課	R4-R5	580	580	④
		人権教育推進一般経費 指導主事を各種人権教育研究大会等に参加させ、最新の教育情報や技法を身につけるなど、資質向上を図る。人権教育担当者会議に必要な研究費等を充て、研究体制の充実を図る。	学校教育課	R4-R5	196	137	④
		人権教育子ども輝きプラン総合推進事業 中学校区人権教育推進事業を市内5中学校区に委託し、小中が連携して人権教育を進める。子ども人権フォーラムを開催し、人権問題に対する互いの思いや願いを発表し合い交流する。人権学習を充実させるため、小中学校人権作文集「人権の芽」を作成し発行する。	学校教育課	R4-R5	2,001	1,777	④
		教育集会所人権教育事業 人権が真に尊重される社会の担い手の育成を目指し、教育集会所等において、子ども人権スクール事業を開催する。	学校教育課	R4-R5	329	289	④
		学校図書館充実経費（小学校・中学校） 児童・生徒が意欲的に読書活動に取り組めるようにするため、児童の多様な興味・関心に応えるよう学校図書館を充実させる。	学校教育課	R4-R5	15,703	14,735	
21② 21③		いじめ防止対策推進事業 平成25年にいじめ防止対策推進法が成立・施行され、伊勢市いじめ防止基本方針の策定を行った。地域の実情に合った実効性の高い取組となっているかどうかの点検、見直し等を行うための伊勢市いじめ問題対策連絡協議会を実施する。また、いじめ防止等の有効な対策を検討し、基本方針の点検、見直しを行うための伊勢市いじめ問題対策委員会を開催する。いじめ防止のための教職員対象の研修会を実施する。	学校教育課	R4-R5	874	601	

課題 コード	新規	事業名(小事業名)・事業概要	所属名	事業 年度	事業予算(単位:千円)		関連する 主な分野 横断課題
					(参考) R3当初	R4当初	
21③		通学安全対策事業 道路・交通事情等により通学に危険が生じる遠距離通学等児童生徒に対してスクールバス等を行うことで、安全な通学環境を整備する。 ・伊勢宮川中学校、二見浦小学校及びみなと小学校スクールバス運行経費 ・みなと小学校スクールタクシー運行経費 ・小学校遠距離等通学費支給事業	教育総務課/ 学校教育課	R4-R5	72,900	67,948	
		スクールカウンセラー活用事業 スクールカウンセラーを配置し、教育相談体制の充実を図る。	学校教育課	R4-R5	980	980	
		奨学金育英事業 社会に貢献する有用な人材を育成することを目的として、大学・高等学校等に在学する学生生徒(保護者が市内に住所を有すること)で、経済的理由により修学困難な者に対し、奨学金を支給する。	学校教育課	R4-R5	5,966	5,036	
		小中学校適正規模化・適正配置推進事業 学校の小規模化による課題を解消し、本市の子どもたちが確かな学力を身に付け、豊かな人間性と健やかな体の育成といった「生きる力」を育むことができるより望ましい教育環境の構築と、教育の質の充実を目的として策定した伊勢市立小中学校適正規模化・適正配置基本計画の推進を図る。	学校統合 推進室	R4-R5	754	684	①
		二見地区小中学校整備事業 伊勢市立小中学校適正規模化・適正配置基本計画に基づき、二見小学校と今一色小学校の統合校である二見浦小学校(H29.4開校)と二見中学校の整備を行う。(R5.4移転予定)	学校統合 推進室	R4	1,061,768	2,583,540	①⑥⑦
		小学校整備事業・中学校整備事業 児童・生徒が安全で快適な学校生活が送れるよう、小学校・中学校施設の整備を行う。	教育総務課	R4-R5	205,000	116,025	①⑥⑦
		要保護及び準要保護児童生徒援助事業(小学校・中学校) 経済的理由によって就学困難な児童・生徒について、学用品費等を給与するなど必要な援助を行い、義務教育を円滑に実施する。	学校教育課	R4-R5	101,930	108,090	
21関連		臨時特例奨学金育英事業 経済的理由による修学困難または新型コロナウイルス感染症の影響により経済的に困窮し学びの継続が困難な、大学・高等学校・高等専門学校・専修学校等に在籍する学生生徒に、給付型の奨学金を支給し、学生生徒の学が意欲を応援する。	学校教育課	R4-R5	21,091	21,091 ※補正予算(1号)	【コロナ】
		防災教育の推進(非予算化) 防災ノートの活用、県や市の防災教育推進支援事業などを通して、予測・回避・協働につながる力を育む防災教育に取り組む。	学校教育課	R4-R5	-	-	⑦
		学校教育支援事業 地域人材や学生を、学習支援員や教育支援ボランティアとしてさまざまな教育場面で活用する。	学校教育課	R4-R5	144,012	143,863	③
		修学旅行等引率事業 小中学校教員及び学習支援員の修学旅行・社会見学等の経費の一部(県費又は旅費で支給されない経費)を負担することで、引率した教職員の自費の負担をなくす。	学校教育課	R4-R5	1,489	1,489	
		教職員研修経費 教職員の資質向上を図るための研修会実施や研修会参加にかかる経費を負担する。	学校教育課	R4-R5	1,734	2,597	
		教職員健康管理事業 定期健康診断、ストレスチェックを実施し、心身の健康保持増進を図る。	学校教育課	R4-R5	5,336	5,436	



課題 コード	新規	事業名(小事業名)・事業概要	所属名	事業 年度	事業予算(単位:千円)		関連する 主な分野 横断課題
					(参考) R3当初	R4当初	
21関連		特別支援教育推進事業 発達障がいを含むすべての障がいのある幼児児童生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じ、適切な指導及び必要な支援を行うことができるよう特別支援教育の推進を図る。	学校教育課	R4-R5	555	515	④
		食育推進事業 子どもたちが、食に関する正しい知識を身につけ、望ましい食習慣を形成できるよう学校における食育推進を支援する。	学校教育課	R4-R5	999	664	
		部活動指導員配置事業 部活動指導員を配置し、部活動を担当する教員の負担軽減・支援並びに部活動の質的な向上を図る。	学校教育課	R4-R5	7,470	7,679	
		学校水泳民間プール施設活用事業 市内の一部の小学校の学校水泳を民間プール施設や民間の指導力を活用して実施する。	学校教育課	R4-R5	9,425	9,056	
		私立学校等振興助成事業 【伊勢市幼児教育育成補助金】私立幼稚園等の運営に対して補助金を交付する。 【伊勢市一時預かり事業(幼稚園型)補助金】通常の教育時間の前後や長期休業期間中などに預かり保育を行う園に対し補助する。 【伊勢市実費徴収に係る補足給付補助金】低所得世帯等を対象に、幼稚園の副食費相当額を補助する。	教育総務課	R4-R5	17,864	18,206	①
		教育研究研修推進経費 教職員等を対象とした研修講座等を開催し、教職員の資質向上をもって市全体の教育力向上を図る。社会科副読本、歴史教材など学習活動に生かせる教育資料を作成し、活用の推進を図る。	教育研究所	R4-R5	2,953	2,532	⑧
		教育研究所運営経費 教育研究所運営に伴う諸経費。	教育研究所	R4-R5	1,597	1,711	
		学校評議員設置経費(小学校・中学校) 学校評議員を設置し、校長が、学校評議員に学校運営に関して意見を聞く。	学校教育課	R4-R5	930	930	③
		小学校教材整備経費・中学校教材整備経費 子どもたちの確かな学力の育成を図るため、文部科学省策定の「教材整備指針」に基づく教材整備を図る。	学校教育課	R4-R5	24,028	22,807	
		特別支援教育就学奨励事業(小学校・中学校) 特別支援学級へ就学する児童・生徒の保護者の経済的負担を軽減し、特別支援教育の振興を図る。	学校教育課	R4-R5	5,890	6,872	
		幼稚園教材整備経費 幼稚園教育要領に基づいた幼児教育の実施にあたり、必要になる教材備品の購入や、破損した備品の修理を行い、教材消耗品を整備する。	教育総務課	R4-R5	679	480	
		幼稚園感染防止対策事業 幼稚園において消毒液やマスクなどの衛生用品や感染症対策として必要な備品等を購入し、新型コロナウイルス感染拡大の防止を図る。	教育総務課	R4-R5	1,000	2,760 ※補正予算(1号)	【コロナ】
		保育士・幼稚園教諭等処遇改善臨時特例事業 新型コロナウイルス感染症への対応と少子高齢化への対応が重なる最前線において働く、私立幼稚園教諭の処遇の改善のため、賃金の引き上げに必要な経費の補助を行う。	教育総務課	R4-R5	-	1,987 ※補正予算(1号)	① 【コロナ】
		学校歯科保健衛生指導事業 児童生徒の健やかな成長に資するため、学齢の課題にあわせた歯科保健衛生指導を行い、子どもたちが口の健康についての正しい知識をもち、適切な歯科保健行動を実践する力をつける取り組みを支援する。	学校教育課	R4-R5	1,832	1,668	

課題 コード	新規	事業名（小事業名）・事業概要	所属名	事業 年度	事業予算（単位：千円）		関連する 主な分野 横断課題
					（参考） R3当初	R4当初	
21関連		給食施設整備経費 耐用年数を過ぎた備品の更新、老朽化のため衛生 維持が困難になった施設の改修等を行う。・給食 室備品の更新	学校教育課	R4-R5	12,000	9,000	
		小学校体育活動推進事業・中学校体育活動推進事業 スポーツに興味をもつ子どもを増やし、子どもの 体力・運動能力の低下を抑制するため、小学生の 体育活動の充実を図る。また、中学校体育の充実 及び学校部活動の活性化を図り、ジュニア世代の スポーツ振興につなげる。	学校教育課	R4-R5	19,663	14,692	
					2,082,451	3,617,086	



# 分野2 教育



## 施策2 社会教育

### 関連する主な分野横断課題

- ①人口減少・少子化への対応
- ②超高齢社会への対応
- ③新しい地域のつながりづくり
- ⑤デジタル技術の活用
- ⑧「伊勢らしさ」の継承・魅力発信

### 中期基本計画

#### ○推進方針

生涯にわたり学習できる環境の充実を図ります

#### ○施策における主要な課題

主要課題①	学習機会と学習環境の充実
-------	--------------

主要課題②	地域・家庭の教育力の向上
-------	--------------

#### ○施策の現況・課題・今後4年間の方向性

人生100年時代を見据え、一人ひとりが豊かな人生を送ることのできる持続可能な社会を実現するため、全ての人が生涯にわたり、主体的に学び続けることのできる環境づくりが重要です。特に、学びを通じた住民相互のつながりを深めることで、地域の課題に向き合いながら暮らしの向上と社会の持続的発展に向けた「地域課題解決のための学び」の推進が求められています。

しかし、既存の学習講座への参加者は減少傾向にあり、また、家庭での教育に不安や悩みを持つ保護者の増加や地縁による団体が担っていた教育力の低下も指摘されています。

このため、魅力ある講座の開催等の学習機会の充実やICT等も活用した学習環境の充実、主体的な学びを支えるための図書館の整備、また、家庭教育をテーマにした講座の開催や地縁団体等との連携による地域学習機会の創出等に取り組みます。

## 取り組む事業

課題 コード	新規	事業名（小事業名）・事業概要	所属名	事業 年度	事業予算（単位：千円）		関連する 主な分野 横断課題
					（参考） R3当初	R4当初	
22①		生涯学習推進事業 一人ひとりが豊かな人生を送ることのできる持続可能な社会を実現するため、すべての人が生涯にわたり、主体的に学び続けることができるよう、さまざまなニーズに応じた学習の場を提供する。特に、令和4年度から、オンラインで受講できる講座の提供に取り組む。	社会教育課	R4-R5	2,414	2,743	①②③⑧
		図書整備経費 閲覧用図書、雑誌、視聴覚資料の購入経費及び電算管理システム登録経費。	社会教育課	R4-R5	26,553	24,369	①②⑧
		図書館運営経費 指定管理料、施設修繕費、図書館協議会・子ども読書活動推進会議開催経費、電算システム経費等。	社会教育課	R4-R5	150,476	144,263	①②⑧
		生涯学習センター施設維持管理経費 伊勢市生涯学習センター及び二見生涯学習センターの施設管理	社会教育課	R4-R5	96,116	95,374	①②
22②		放課後子ども教室運営事業 地域社会の中で、放課後等に子どもたちの安全で健やかな活動場所を確保し、様々な体験・活動を提供するため、放課後子ども教室を実施する。	社会教育課	R4-R5	2,576	2,193	①③
		ブックスタート支援事業 赤ちゃんと保護者に「絵本」と「絵本を楽しむ体験」をプレゼントする活動である。赤ちゃんと保護者が、絵本を介して、心ふれあう時間を持つきっかけを届ける。対象赤ちゃんに絵本2冊とアトバイス集が入ったブックスタートパックを図書館、1歳6か月児健診で配付する。	社会教育課	R4-R5	1,398	1,323	①
		学校図書館活性化支援事業【21②で再掲】 学校図書館の環境整備と子どもたちの読書活動推進のために、学校図書館スタッフを市内各校に週1.5回程度派遣する。さらに市内小中学校統一した図書管理システムを導入することで読書活動の推進を行う。	学校教育課	R4-R5	31,096	26,650	⑤
		読書大好きキッズプロジェクト事業【21②で再掲】 子どもたちの読書活動推進のために、平成29年度後期から実施の「読書ツアー（低学年版）」、平成30年度から実施の「読書ツアー（高学年用）」の充実を図る。令和4年度実施の準備として低学年用の印刷、高学年用の電子化を行う。	学校教育課	R4-R5	5,092	675	⑤
22関連		社会教育推進事業 ・社会教育委員の設置および会議の運営・伊勢市女性団体連絡協議会・飯田市連合婦人会との交流会事業	社会教育課	R4-R5	872	632	
		青少年健全育成推進事業 青少年の健全な育成を推進するため、伊勢市青少年育成市民会議を軸とする地域主導の青少年健全育成活動と、伊勢市青少年相談センターの非行防止活動を両輪に、青少年の健全な育成を推進する。	社会教育課	R4-R5	3,051	2,807	①
		飯田市交流会実施事業 伊勢市・飯田市の児童の代表が、児童会活動や学校内外の生活、そして住んでいる地域社会のことについて話し合い、友情と連帯の輪を強め、次代のリーダーとして両市の親睦を深める。	社会教育課	R4-R5	981	515	①⑧
		成人式開催事業 新成人のつどい（成人式）を開催する。新成人代表からなる実行委員会において、企画から当日の準備運営までを行う。	社会教育課	R4-R5	2,538	1,404	①
					323,163	302,948	

## 分野2 教育



### 施策3 スポーツ

#### 関連する主な分野横断課題

- ①人口減少・少子化への対応
- ②超高齢社会への対応
- ④ダイバーシティ社会の実現
- ⑦自然災害への備え

#### 中期基本計画

##### ○推進方針

ライフステージに合わせてスポーツを楽しめるまちを目指します

##### ○施策における主要な課題

主要課題① スポーツ活動の充実

主要課題② スポーツ関係団体の連携・強化

主要課題③ スポーツ施設の利便性の向上

##### ○施策の現況・課題・今後4年間の方向性

本市における週1回以上のスポーツ実施率は令和3年度で46.6%であり、国の56.4%、県の50.5%の実施率より低い状況にあります。

そのため、日頃からスポーツ（運動）に関心を持ち、生活の一部として定着するよう関係団体とも連携して、スポーツ活動の充実を図る必要があります。また、これらの活動の基盤となるスポーツ施設については、安全で快適に利用できるよう利便性の向上が求められています。

そこで、本市では「ライフステージに合わせてスポーツを楽しめるまち」を目標に掲げ、スポーツ推進委員やスポーツ関係団体等と連携し、だれもが気軽にスポーツに参加できる機会やスポーツに親しむきっかけづくりに取り組みます。特に地域スポーツの核となる総合型地域スポーツクラブの育成・強化を図り、身近なところでより参加しやすい環境づくりに努めます。

また、施設面では、利用状況や市民ニーズの把握に努め、スポーツ活動の充実や利用団体の活動を支える環境を整備します。

## 取り組む事業

課題 コード	新規	事業名（小事業名）・事業概要	所属名	事業 年度	事業予算（単位：千円）		関連する 主な分野 横断課題
					（参考） R3当初	R4当初	
23①		スポーツ推進委員事業 スポーツ基本法に基づき設置するスポーツ推進委員を支援し、地域のスポーツ振興を図る。	スポーツ課	R4-R5	4,075	3,685	
		生涯スポーツ推進事業 「ライフステージに合わせスポーツを楽しめるまち」を目標に、各種スポーツ大会や教室等を開催することで、市民がスポーツに親しむ機会を提供する。	スポーツ課	R4-R5	4,146	4,055	②
		学校体育施設開放事業 市内小中学校の体育施設の夜間・休日を一般開放することで、市民の身近な場所にスポーツ活動の場を提供し、体力の保持・増進、住民相互の交流及び生涯スポーツの振興を図る。	スポーツ課	R4-R5	9,225	6,999	②
		B & G海洋センター事業 水泳教室等を通じて、水に触れる機会の提供と泳力の向上を図るとともに、健全な子どもたちを育成する。 ・水泳教室の開催・研修会への参加 ・B&G財団及び近隣海洋センターとの情報交換	スポーツ課	R4-R5	1,089	1,606	
		スポーツ推進審議会開催事業 市の諮問に応じて、スポーツの推進に関することを審議する。	スポーツ課	R4-R5	529	583	
	●	インクルーシブスポーツ推進事業 障がいの有無を問わず誰もが自分のスタイルでスポーツを楽しめるインクルーシブスポーツを推進する。 ※インクルーシブスポーツ・共生社会の実現に向けて障がいの有無や程度に関わらず、多様な人々が共に実施できるスポーツ	スポーツ課	R4-R5	-	600	④
		全国大会等参加激励事業 地区予選等を勝ち抜いて全国大会に出場する選手等へ、激励金を支給する。	スポーツ課	R4-R5	6,865	5,788	
		スポーツ国際交流推進事業 スポーツを通し、子どもたちの国際交流を推進する。技術の向上だけでなく、諸外国に対する理解を深めるとともに、コミュニケーション能力の向上も期待する。	スポーツ課	R4-R5	500	500	④
	集客誘致大会開催事業 市民がレベルの高い大会を身近で観戦等できる機会につなげる。 また、全国規模の大会を開催することにより、県外等からの集客を図る。	スポーツ課	R4-R5	5,310	5,310		
23②		総合型地域スポーツクラブ育成事業 「いつでも」「どこでも」「いつまでも」、誰もが気軽にスポーツに親しむことができる環境を作ることで、市民の体力の維持・向上はもとより、健康づくりや仲間づくり、子どもたちの人間形成や地域コミュニティの強化を期待する。	スポーツ課	R4-R5	7,286	7,071	②
		スポーツ少年団育成事業 子どもたちの健全育成とスポーツ人口の一層の拡大を図ることを目的として、市内で活動するスポーツ少年団を支援する。	スポーツ課	R4-R5	2,314	2,258	①
		競技スポーツ推進事業 子どもから大人まで、スポーツ技術の向上や競技スポーツ人口の拡大を図るため、各種大会や教室を開催するほか、指導者や審判員の育成を図っている伊勢市スポーツ協会を支援する。	スポーツ課	R4-R5	4,868	4,571	
23③		体育施設整備事業 市民の健康増進や競技力の向上を図ることを目的として、体育施設の整備工事等を実施し、各施設の機能を向上・修復させることで安全性及び快適性を充実させる。	スポーツ課	R4-R5	97,857	19,200	⑦
					144,064	62,226	

# 分野3 環境



## 施策1 循環型社会

### 関連する主な分野横断課題

⑥脱炭素社会の実現

### 中期基本計画

#### ○推進方針

資源の有効活用及び循環型のまちづくりを進めます

#### ○施策における主要な課題

主要課題① 温室効果ガスの排出削減

主要課題② 3Rの推進

#### ○施策の現況・課題・今後4年間の方向性

地球温暖化により豪雨の頻発や異常高温など気候危機が顕在化するとともに、大量生産・大量消費型の社会構造により天然資源の枯渇や廃棄物処理に伴う環境の悪化が危惧されています。

温室効果ガスの排出の少ない環境にやさしい社会と、限られた資源・エネルギーを大切にする循環型社会を目指さなければなりません。また、今後、ごみ処理施設の更新が予定されていることから、さらなるごみの排出抑制や減量化が求められています。

脱炭素社会の実現に向け、再生可能エネルギーの導入促進や、電気自動車等の普及促進、省エネルギー・省資源型のライフスタイル・事業活動への転換等を進めます。また、ごみの排出抑制・減量化のため、“MOTTAINAI（もったいない）推進事業”により、食品ロスの削減、雑がみの再資源化、生ごみの水切りの推進、未利用資源の資源化等を進めます。

## 取り組む事業

課題 コード	新規	事業名（小事業名）・事業概要	所属名	事業 年度	事業予算（単位：千円）		関連する 主な分野 横断課題
					（参考） R3当初	R4当初	
31①		エコドライブ普及推進事業 環境にやさしい運転方法であるエコドライブの普及を図るため、市民・事業者に対して情報発信や講習会の開催等を行う。	環境課	R4-R5	346	328	⑥
31②		MOTTAINAI推進事業【33①で再掲】 ごみ処理基本計画に基づき、ごみ減量・資源化を進めるため、ごみの発生抑制（リデュース）と質の高い再生利用（リサイクル）を重点に置き、市民、地域組織、事業者、行政が主体的に、また連携して事業展開していく。	ごみ減量課	R4-R5	2,197	2,200	⑥
		廃棄物集積所設置補助金 ごみ集積所設備を設置、修繕する自治会等に対し、ごみ集積所補助金として世帯数に応じて定められた補助金限度額内で本体工事費及び環境整備費、修繕費を交付する。	ごみ減量課	R4-R5	9,329	5,847	⑥
		不法投棄防止対策推進事業 不法投棄は、美観はもとより水質、土壌への影響が危惧されているため、不法投棄の防止及び不法投棄された廃棄物の撤去及び適正処理を行う。	ごみ減量課	R4-R5	769	669	⑥
		再生資源回収推進事業 ごみ・廃棄物の減量化、資源の再生化、廃棄物に対する市民のリサイクル意識の高揚の促進を図るため、自治会・PTA等資源物の集団回収活動を行う団体に対して、回収量に応じ1kgあたり（※瓶については1本あたり）3円の再生資源回収事業奨励金を交付する。	ごみ減量課	R4-R5	5,900	5,588	⑥
		ごみ減量化容器設置補助金 生ごみの自家処理を促進し、ごみの減量化を図ることを目的に、生ごみ処理機等購入者に対し、補助金を交付している。	ごみ減量課	R4-R5	4,400	4,209	⑥
		再資源分別回収事業 燃えるごみ及び資源物の分別回収業務を円滑に行うための維持管理経費	ごみ減量課	R4-R5	647,324	615,615	⑥
31関連		きれいなまちづくり推進事業【33①33②で再掲】 伊勢市ポイ捨て及び路上喫煙の防止に関する条例（旧名：伊勢市を美しくする条例）の周知と市民の環境美化意識の高揚を図ることで、きれいなまちづくりを推進する。また、伊勢市環境会議に対し負担金を支出し、市民との協働及び地域とのつながりを強化する。	ごみ減量課	R4-R5	938	620	⑥
		じん芥収集車購入事業 使用不能に近い車両から、計画的に買い換えを行い、収集業務の効率を上げ、市民サービスの向上を図る。	ごみ減量課	R4-R5	5,078	7,255	⑥
					676,281	642,331	



# 分野3 環境



## 施策2 環境保全

### 中期基本計画

#### ○推進方針

豊かな自然を守り快適な生活環境と調和のとれたまちづくりを進めます

#### ○施策における主要な課題

主要課題① 自然環境・公益的機能の保全

主要課題② 快適で美しい住環境の保全

#### ○施策の現況・課題・今後4年間の方向性

本市は、緑豊かな山々や清流・宮川などの恵まれた自然環境を有する一方、市内の中心を流れる勢田川は、県内で最も汚れが目立つ水質となっています。勢田川の水質汚濁の主な原因が生活排水であることから、家庭における生活排水対策に取り組むことが必要不可欠であり、下水道整備や合併処理浄化槽の設置促進と合わせ、生活排水対策に係る啓発活動や勢田川七夕大そうじ等の取り組みを行い、市民意識の向上を図ります。また、二酸化炭素の吸収や生物多様性の保全等の公益的機能を有する森林・農地等の自然環境保全を進めます。

近年、空き地・空き家における雑草の繁茂や、墓地管理の問題、犬猫等のペット飼育マナー、公害・不法投棄・路上喫煙等による環境への悪影響についての相談が多く寄せられており、それぞれの状況に応じた対応を進め、快適な住環境を目指します。

## 取り組む事業

課題 コード	新規	事業名（小事業名）・事業概要	所属名	事業 年度	事業予算（単位：千円）		関連する 主な分野 横断課題
					（参考） R3当初	R4当初	
32①		生活排水対策啓発事業 公共用水域の水質保全等の啓発を図るため、市民と連携し生活排水対策意識の高揚、清掃活動などを行う。	環境課	R4-R5	370	360	
		合併処理浄化槽整備事業補助金 公共用水域の水質汚濁防止のため、国県と連携しながら合併浄化槽の普及促進・共同汚水処理施設の適正な管理を図る。	環境課	R4-R5	62,245	51,000	
32②	●	犬猫不妊去勢手術推進事業 犬、猫と人間の共生できる社会の構築を目指し、捨て犬、捨て猫の防止を図るため、飼い犬及び猫については、不妊去勢手術の実施を推進する。生活環境苦情の原因となっている飼い主がいない猫等については、自治会、保健所等と連携しTNR活動（捕獲し、不妊去勢手術を実施し、元の場所で解放する）を実施する。	環境課	R4-R5	—	3,130	
32関連		共同墓地整備事業補助金 共同墓地内のごみ集積所、水汲み場、通路等の共同利用施設の設置等の環境整備を実施した墓地管理自治会等に対して補助金を交付する。	環境課	R4-R5	3,511	2,894	
					66,126	57,384	



# 分野3 環境



## 施策3 環境教育

### 関連する主な分野横断課題

⑥脱炭素社会の実現

### 中期基本計画

#### ○推進方針

環境を守り育てる文化の醸成を図ります

#### ○施策における主要な課題

主要課題① 環境教育・環境学習の充実

主要課題② 環境保全活動の促進

#### ○施策の現況・課題・今後4年間の方向性

今日の環境問題は、地球温暖化、海洋プラスチックごみ、森林破壊、希少生物の絶滅など、さまざまな問題が浮上し、深刻さを増しています。

持続可能な社会づくりを実現するためには、一人ひとりに環境を守る意識が定着し、自らが考え行動できるような、環境文化の根づいたまちを目指すことが重要です。

幼少期における教育や実践体験が、将来にわたる環境意識の形成に重要な役割を果たすことから、事業者・大学等との連携による小学校等での環境教育や、雑がみ分別チャレンジ等の体験プログラムの充実を図り、生涯を通じて環境に配慮した行動を実践できる人材を育成します。

また、環境フェアや出前講座等を通じてあらゆる世代における環境意識の向上を図るとともに、地域・事業者等と連携して環境保全活動を進め、身近な環境改善の取り組みを広げていきます。

## 取り組む事業

課題 コード	新規	事業名（小事業名）・事業概要	所属名	事業 年度	事業予算（単位：千円）		関連する 主な分野 横断課題
					（参考） R3当初	R4当初	
33①		環境フェア等開催事業 環境に関する展示や体験を通して、楽しみながら、市民の環境意識の向上や環境施策への理解と協力を得ることを目的として「環境フェア」を開催する。	環境課	R4-R5	1,234	1,183	⑥
		環境教育推進事業 環境教育推進のために民間事業者、地元大学と連携し、市内小中学校での出前授業の開催や、イベントでの啓発を行う。	環境課	R4-R5	300	300	
		MOTTAINAI推進事業【31②で再掲】 ごみ処理基本計画に基づき、ごみ減量・資源化を進めるため、ごみの発生抑制（リデュース）と質の高い再生利用（リサイクル）を重点に置き、市民、地域組織、事業者、行政が主体的に、また連携して事業展開していく。	ごみ減量課	R4-R5	2,197	2,200	⑥
33① 33②		きれいなまちづくり推進事業【31関連で再掲】 伊勢市ポイ捨て及び路上喫煙の防止に関する条例（旧名：伊勢市を美しくする条例）の周知と市民の環境美化意識の高揚を図ることで、きれいなまちづくりを推進する。また、伊勢市環境会議に対し負担金を支出し、市民との協働及び地域とのつながりを強化する。	ごみ減量課	R4-R5	938	620	⑥
					4,669	4,303	

# 分野4 医療・健康・福祉



## 施策1 医療・健康

### 関連する主な分野横断課題

- ①人口減少・少子化への対応
- ②超高齢社会への対応

### 中期基本計画

#### ○推進方針

誰もがいつまでも健康で安心して暮らせるまちづくりを進めます

#### ○施策における主要な課題

主要課題① 主体的な健康づくりの推進

主要課題② 妊娠期から子育て期への切れ目ない支援の充実

主要課題③ 地域医療体制の整備

#### ○施策の現況・課題・今後4年間の方向性

本市の平均寿命、健康寿命は延伸の傾向にありますが、健康寿命の伸びが平均寿命の伸びを下回っています。いつまでも心身ともに健康的で自立した期間を延ばすため、市民自らが主体的に健康づくりに取り組むことが重要です。ライフステージに応じた健康づくりへの支援や知識の普及啓発を行うとともに、生活習慣病の発症予防や重症化予防を推進します。

母子保健においては、核家族化やライフスタイルの多様化により妊娠や子育てに不安を感じる人が増加しています。妊産婦が安心して子どもを産み育てられるよう、妊娠期から子育て期における切れ目のない支援を実施するため、各種母子保健サービスの充実を図るとともに、母子健康手帳交付時のサポートプラン作成など、一人ひとりに応じた支援を実施します。

高齢化や人口減少といった社会構造の変化や感染症のまん延などにより、医療を取り巻く環境が大きく変わりつつあります。それらの環境の変化に対応しながら地域医療体制を確保するため、関係機関や近隣市町と連携を図り、適正な受診の啓発や救急医療体制の維持確保、不採算医療分野への支援等に取り組みます。また、市立伊勢総合病院については、市民の健康増進と生活の質の向上を目指し、地域の中核病院としての役割を果たしていきます。

## 取り組む事業

課題 コード	新規	事業名（小事業名）・事業概要	所属名	事業 年度	事業予算（単位：千円）		関連する 主な分野 横断課題
					（参考） R3当初	R4当初	
41①		健康増進事業 第2期伊勢市健康づくり指針（伊勢市健康増進計画）に基づき、健康の日、健康文化週間を中心に『身体活動・運動』、『食・栄養』、『休養・心の健康』、『歯』、『たばこ』、『アルコール』などの生活習慣について、健康増進行動に資する啓発事業を行う。	健康課	R4-R5	1,149	1,530	②
		食生活改善推進事業 地域の中で適切な食生活について正しい情報や知識の普及・啓発の役割を担う食生活改善推進員の活動への支援を行う。	健康課	R4-R5	865	809	
		成人健康診査事業 健康増進法に基づき生活習慣病の早期発見を目的に、骨粗しょう症、肝炎ウイルス検診及び保険未加入者への健康診査を実施する。	健康課	R4-R5	12,057	11,110	②
		がん検診事業 日本人の死因第1位であるがんを早期発見し、早期治療につなげることを目的とし、市内の医療機関（個別検診）及び検診バス（集団検診）による各種がん検診を実施する。あわせて、がん検診の啓発及び受診促進への取り組みを強化する。また、若年者のがん自宅療養者へ在宅療養支援サービス費の助成を行う。	健康課	R4-R5	251,228	228,054	②
		歯周疾患検診事業 中高年の歯周病予防と口腔機能の維持・向上歯周病等の早期発見、早期治療により歯の健康管理意識を高め歯の喪失を防ぐ。30、35、40～50、55、60、65、70歳（17年齢）の市民を対象に問診及び歯周組織検査を行う。	健康課	R4-R5	5,974	5,973	②
		成人保健指導事業 保健指導が必要な市民に対し家庭訪問や健康相談を実施し、生活習慣病等を予防する。	健康課	R4-R5	918	911	②
		健幸ポイント事業【45②で再掲】 ウォーキングを通じて、健康づくり無関心層（生活習慣病予防に必要な運動量に満たない者を含む）を含めた市民が、自ら健康づくりを行うきっかけを作ることにより、広く健康寿命の延伸（介護予防）を図る。 令和2年度から取り組みを行った卒業者へ、運動継続を目的に支援を行う。	福祉生活 相談センター	R4	12,965	6,144	②
		地域介護予防活動支援事業【45②で再掲】 地域住民組織等の主体による集いの場の創出支援及び集いの場等に行くための移動支援を併せて行うことにより、利用者及び支援者双方の介護予防や閉じこもり防止、生きがいづくりを推進する。また、医療専門職の介入による介護予防に特化した集いの場の創出を継続的に支援し、そこで活動するリーダーを育成する。	福祉生活 相談センター	R4-R5	2,279	1,675	②
		認知症施策事業【45②・45③で再掲】 認知症の早期発見、早期治療をすすめ、地域で安心した生活を送り続けることができるよう、認知症の正しい理解を深め、家族や周囲が対応を行うことができるよう支援体制を構築する。認知症初期集中支援チームにおいて早期対応・早期治療を行う体制の充実を図る。認知症地域支援推進員が地域で取り組みを推進する。	福祉生活 相談センター	R4-R5	8,188	8,052	②

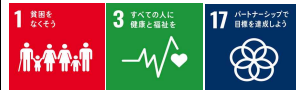
課題 コード	新規	事業名(小事業名)・事業概要	所属名	事業 年度	事業予算(単位:千円)		関連する 主な分野 横断課題
					(参考) R3当初	R4当初	
41②		未熟児養育医療事業 入院医療費が必要な未熟児に対して、医療の給付を行う。	健康課	R4-R5	6,014	6,014	①
		保健福祉拠点施設整備事業【42①・44関連で再掲】 妊娠出産期から高齢期まで、切れ目のない相談支援の充実及び子育て支援の充実を図るため、市内のどこからでもアクセスしやすい駅前にこれらの機能を併せ持った拠点を整備し、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる地域共生社会の実現を目指すための、内装工事費等。	福祉総務課	R4-R5	—	514,400	①②
	●	保健福祉拠点施設入居に係る賃借料及び管理費・共益費。	福祉総務課	R4-R5	—	53,215	①②
		妊娠出産支援事業【44①で再掲】 安心して妊娠・出産・子育てができるよう、ママ☆ほっとテラス(子育て世代包括支援センター)を拠点に、母子保健コーディネーターや助産師などが中心となって妊娠期からの切れ目のない支援を行う。	健康課	R4-R5	15,320	15,578	①
		母子健康手帳交付事業【44①で再掲】 妊娠の届出により、妊娠、出産、育児に関する一貫した健康管理の記録となる母子健康手帳を交付する。妊婦にやさしい環境づくりの一環として、「マタニティマーク」の普及・啓発を図っている。	健康課	R4-R5	260	291	①
		妊産婦・乳児健康診査事業【44①で再掲】 妊婦健康診査を14回、産婦健康診査を2回、乳児健康診査を3回(1か月児、4か月児、10か月児)実施し、妊産婦や乳児の疾病や虐待などの異常の早期発見、早期対応により、各期に応じた母子の健康づくりを支援する。	健康課	R4-R5	109,106	108,085	①
		幼児健康診査事業【44①で再掲】 身体発育、精神発達の面で重要な時期である1歳6か月時と3歳6か月時に健康診査を実施し、疾病や障害などの早期発見と早期治療を目指す。また、深刻化する児童虐待を防止するため、相談機能の充実を図り、児童虐待の徴候を早期発見し、育児不安等の解消と児童虐待の防止に努める。	健康課	R4-R5	6,485	7,750	①
		歯科健康診査事業【44①で再掲】 妊婦および子育て世代の保護者、幼児のための歯科健康診査(個別・集団)を行う。また、幼児期からの口腔衛生意識を高め、正しい口腔清掃の生活習慣を身につけることを目的に、幼児の歯科健康診査の際にフッ化物塗布やブラッシング指導も行う。	健康課	R4-R5	4,226	4,177	①
		新生児聴覚検査助成事業【44①で再掲】 子どもの健やかな発育を支援していくために、生まれつきの難聴児の早期発見、早期支援に向けて新生児期に聴覚検査を実施する。	健康課	R4-R5	2,190	2,160	①
		乳幼児保健指導事業【44①で再掲】 乳幼児の疾病異常の早期発見及び健康の保持増進に努めるとともに母子ともに健全育成を図り、育児上の悩み等への適切な助言や、保護者が自信を持って育児が出来るように、専門職による相談や教室を開催する。	健康課	R4-R5	3,072	2,551	①
	新生児等訪問指導事業【44①で再掲】 不安の多い新生児期や発達の遅れ等のある乳幼児を対象に、安心して育児ができるよう各家庭を訪問し保健指導を実施する。	健康課	R4-R5	5,457	7,535	①	

課題 コード	新規	事業名(小事業名)・事業概要	所属名	事業 年度	事業予算(単位:千円)		関連する 主な分野 横断課題
					(参考) R3当初	R4当初	
41③		看護学校等事業充実費補助金 地域における看護師・准看護師の育成確保を図るため、養成機関が実施する事業に対して補助金を交付し、看護師・准看護師の養成を支援する。	健康課	R4-R5	2,149	2,000	
		健康・医療電話相談事業 健康や医療をはじめ、介護、育児、メンタルヘルスなどの心と体のさまざまな相談に答える24時間無休体制の無料電話相談サービスを実施する。	健康課	R4-R5	9,935	11,942	
		一次救急医療事業 ・一次救急医療体制の円滑な運営及び救急医療知識の普及等を伊勢地区医師会に委託し、市民の休日夜間の診療不安の軽減を図る。 ・市内公共施設へのAED設置及び市民等が参加するイベントへ無料でAEDの貸し出しを行う。	健康課	R4-R5	4,088	4,058	
		病院群輪番制病院運営費補助金 休日・夜間における重症救急患者に対応するため、地域内の2総合病院が輪番制により確保する二次救急医療体制の維持に必要な運営費の一部を助成する。	健康課	R4-R5	34,668	34,597	
		連携リハビリテーション医学講座設置事業 藤田医科大学との協定により、伊勢市とその周辺の住民に健康で安心できる生活を提供する医療体制(主に回復期リハビリテーション)に関する研究・教育を目的とした講座を設置し、地域医療体制の充実を図る。	健康課	R4-R5	24,000	24,000	
		公的病院支援事業補助金 小児医療等の不採算医療分野を担う公的病院に、その運営経費の一部を助成することにより、地域医療体制の確保を図り、市民への安心・安全な医療の提供につなげる。	健康課	R4-R5	30,000	35,000	
		医科診療所運営事業 夜間や休日などに救急医療が必要な市民に応急的な医療を行うため、休日・夜間応急診療所を開設し、一次救急医療を確保する。	健康課	R4-R5	118,090	113,011	
		歯科診療所運営事業 休日に救急医療が必要な市民に応急的な医療を行うため、休日・夜間応急診療所(歯科)を開設し、一次救急医療を確保する。	健康課	R4-R5	9,108	8,736	
		検査センター運営事業 新型コロナウイルス感染症の早期発見と感染拡大防止を図るため、伊勢地区検査センターを設置し、新型コロナウイルス感染症の疑いがある軽症者に対してPCR検査を行う。	健康課	R4-R5	28,558	26,604	【コロナ】
41関連		在宅支援連携推進事業【45①で再掲】 伊勢地区における在宅医療・介護連携支援センターの運営を伊勢地区医師会に委託(玉城町、度会町、南伊勢町と共同設置)し、在宅医療・介護・保健・福祉の関係機関の連携強化やネットワークづくりを図ることにより、地域包括ケアシステムを推進する。	福祉生活 相談センター	R4-R5	12,110	12,137	②
		こども医療費支給事業【44関連で再掲】 15歳年度末までの子どもの受給資格者に対し、健康保険が適用される医療費の自己負担相当額を助成する。	医療保険課	R4-R5	306,526	304,477	
	障害者医療費支給事業 身体障害者手帳1級~4級、療育手帳A1~B1の受給資格者に対し、健康保険が適用される医療費の自己負担相当額を助成する。また、精神障害者保健福祉手帳1級の交付を受けている受給資格者に対し、通院にかかる健康保険が適用される医療費の自己負担相当額を助成する。	医療保険課	R4-R5	248,293	244,990		



課題 コード	新規	事業名(小事業名)・事業概要	所属名	事業 年度	事業予算(単位:千円)		関連する 主な分野 横断課題
					(参考) R3当初	R4当初	
41関連		65歳以上障害者医療費支給事業 後期高齢者医療被保険者で障害者医療費の受給資格者に対し、健康保険が適用される医療費の自己負担相当額を助成する。	医療保険課	R4-R5	180,000	170,000	
		一人親家庭等医療費支給事業【44関連で再掲】 18歳年度末までの子どもを養育する母(父)子家庭の母(父)及びその子ども並びに父母のいない18歳年度末までの子どもの受給資格者に対し、健康保険が適用される医療費の自己負担相当額を助成する。	医療保険課	R4-R5	70,999	68,627	
		寡婦医療費支給事業 寡婦(60歳~69歳の女子で、配偶者と死別し、その時に20歳未満の者を扶養していた者。ただし、現在、婚姻している者を除く。)の受給資格者に対し、健康保険が適用される医療費の自己負担相当額の一部を助成する。	医療保険課	R4-R5	188	188	
		骨髄移植ドナー支援事業 骨髄等の提供者(ドナー)及びその者を雇用する事業所等に対して、経済的な支援として助成金を交付し、負担の軽減を図り、ドナー登録及び骨髄等の移植の推進に寄与する。	健康課	R4-R5	450	450	
		予防接種事業 伝染のおそれがある疾病の発生及びまん延を予防するため、医療機関での個別接種による定期予防接種を行う。	健康課	R4-R5	380,386	371,271	
		新型コロナウイルスワクチン接種事業 対象者に対し、速やかに接種券や案内を送付し、また、その実施体制を確保し、ワクチン接種を実施する。	健康課	R4	1,121,113	137,970 ※補正予算(3号)	【コロナ】
		時間外・休日医療従事者派遣支援事業 新型コロナウイルスワクチン接種の実施により、集団接種における医療従事者の確保が課題となっており、医療機関に対して支援することで、医療従事者を確保することを目的とする。	健康課	R4	69,787	15,010 ※補正予算(3号)	【コロナ】
		不妊不育治療費助成事業 不妊不育治療を行っている夫婦(事実婚を含む)に対し医療費の一部を助成する。	健康課	R4-R5	14,004	14,004	①
		自宅待機者生活応援サービス事業 新型コロナウイルス感染症に関する濃厚接触者等で、保健所から自宅待機を要請された者に対し、食糧や日用品を詰め合わせた「自宅生活応援パック」を届けるとともに、日常生活上で困っていることの相談を受け、必要なサービス等の利用調整を行う。	福祉総務課	R4-R5	28,558	2,859	【コロナ】
					3,140,763	2,587,945	

# 分野4 医療・健康・福祉



## 施策2 地域福祉

### 関連する主な分野横断課題

- ①人口減少・少子化への対応
- ②超高齢社会への対応
- ③新しい地域のつながりづくり
- ④ダイバーシティ社会の実現
- ⑤デジタル技術の活用

### 中期基本計画

#### ○推進方針

地域共生社会の実現

#### ○施策における主要な課題

主要課題① みんなの課題を丸ごと受け止めるしくみづくり

主要課題② みんなが参加できる共生の場づくり

主要課題③ 地域でつながるひとづくり

#### ○施策の現況・課題・今後4年間の方向性

人口減少、少子化、高齢化、核家族化の進展、価値観や生活様式の多様化など、地域社会を取り巻く環境が大きく変化し、地域社会での結びつきが希薄となってきています。ひきこもり、生活困窮など社会から孤立し、SOSの声を上げられないケースや、「制度の狭間」に陥っているケースが増加しています。

行政や福祉関係者だけでなく、住民や地域、ボランティア、民間事業者など、幅広い支援の仕組みが必要です。制度・分野ごとの縦割りや支え手・受け手という関係を超え、誰もが役割を持ち、地域の中で相互に支え合う関係を構築し、人・分野・世代を超えて地域の皆が活躍できる「地域共生社会」の実現が求められています。

重層的なセーフティネットを構築し、必要な時に必要な支援が届けられる環境づくりのため、総合相談支援体制を充実させるとともに、住民が身近な地域で気軽に相談できる体制の整備等を進めます。

全ての人が地域の構成員として社会に参加できるよう、地域全体で居場所づくり・支え合う体制づくりを進めます。また、地域において、支える側、支えられる側を固定することなく、積極的に地域づくりに関われる人、つながる機能を確保するため、地域を支える人材やグループの育成・支援を進めます。



## 取り組む事業

課題 コード	新規	事業名（小事業名）・事業概要	所属名	事業 年度	事業予算（単位：千円）		関連する 主な分野 横断課題
					（参考） R3当初	R4当初	
42①		保健福祉拠点施設整備事業【41②・44関連で再掲】 妊娠出産期から高齢期まで、切れ目のない相談支援の充実及び子育て支援の充実を図るため、市内のどこからでもアクセスしやすい駅前にこれらの機能を併せ持った拠点を整備し、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる地域共生社会の実現を目指すための、内装工事費等。	福祉総務課	R4-R5	-	514,400	①②
	●	保健福祉拠点施設運営経費【41②・44関連で再掲】 保健福祉拠点施設入居に係る賃借料及び管理費・共益費。	福祉総務課	R4-R5	-	53,215	①②
		障害者地域生活支援事業【43①で再掲】 障がいのある人が、自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう、日常生活用具給付事業、移動支援事業、日中一時支援事業などを実施する。	高齢・障がい福祉課/ 福祉生活相談センター	R4-R5	184,417	164,761	④
		地域包括ケア事業【45①で再掲】 高齢者が地域において尊厳のある生活を維持し安心して生活を営めるよう、専門的な視点から高齢者虐待防止と権利擁護の啓発を行うとともに、関係機関のネットワークを構築し、地域包括ケアシステムの推進を図る。高齢者の総合相談に専門職が対応し、高齢者虐待や困難事例への対応および地域包括支援センターの後方支援を行う。	福祉生活相談センター	R4-R5	9,299	9,289	②
		地域包括支援センター運営事業【45①で再掲】 市民の保健医療の向上および福祉の増進を包括的に支援する地域包括ケアの推進を目的に、地域包括支援センターを6か所設置し、包括的支援事業、第1号介護予防支援事業を一体的に実施する。センターの運営を社会福祉法人、医療法人等に委託する。	福祉生活相談センター	R4-R5	164,000	170,130	②
42① 42② 42③		小地域活動推進事業 高齢者・障がい者・子ども・生活困窮等の属性に関わらず、包括的に相談を受け止め、課題解決に迅速に対応し、複雑・複合化した事例等の課題の解きほぐしや関係機関間の役割分担を図り、各支援機関が円滑に連携し支援できる体制を一体的に構築する。全ての人が地域、暮らし、生きがいを共に創り、高め合うことができる「地域共生社会」の実現を目指す。	福祉生活相談センター	R4-R5	94,982	95,775	②③
		地域共助の基盤づくり事業 地域における効果的な支援体制を構築するため、支援を行うべき対象者像やそのニーズ、それらに対応する社会資源の状況などの実態を把握し、既存制度では対応が困難なものに対応するため、地域サービスの創出・推進を図る。	福祉生活相談センター	R4-R5	8,000	8,000	③
42②		離宮の湯管理運営事業 地域住民の福祉の充実及び公衆衛生の向上を目的に、平成17年4月から営業を開始した。また、平成19年4月からは民間のノウハウを生かすために「指定管理者制度」を導入し、管理運営を行っている。毎月6回程度のかわり湯を実施するなど、利用拡大に努め、市民の憩いの場としてサービスの提供を図る。	小保生活福祉課	R4-R5	15,554	16,969	②
42③		再犯防止推進事業 再犯防止の推進に向け、伊勢市再犯防止推進計画に基づき、関係部署と連携しながら取組みを進めて行く。また関連する「社会を明るくする運動」についても引き続き、関係団体と協力しながら推進していく。	福祉総務課	R4-R5	1,880	2,232	

課題 コード	新規	事業名(小事業名)・事業概要	所属名	事業 年度	事業予算(単位:千円)		関連する 主な分野 横断課題
					(参考) R3当初	R4当初	
42関連	●	生活困窮者自立支援事業 生活困窮する方の経済的及び社会的自立を図るため、当事者の抱える多様で複合的な生活課題について、様々な社会資源の活用と、当事者の主体的な取り組みによる解決を促し、包括的に支援を提供する。	生活支援課	R4-R5	38,994	37,901	
		生活困窮者自立支援金支給事業 新型コロナウイルス感染症の影響の長期化により、貸付限度額に達している等、特例貸付を利用できない困窮世帯に対して、「新型コロナウイルス感染症自立支援金」を支給する。	生活支援課	R4	-	18,000	【コロナ】
		生活困窮者自立支援金支給事務費 新型コロナウイルス感染症の影響の長期化により、貸付限度額に達している等、特例貸付を利用できない困窮世帯に対して、「新型コロナウイルス感染症自立支援金」を支給する事業に係る事務費。	生活支援課	R4	-	1,978	【コロナ】
		福祉サービス事業所等安定運営支援事業 安定的な福祉サービスの提供の継続及び利用者負担の増加の防止を図るため、現に伊勢市内で事業を実施しており、原油価格や物価高騰の影響を受けている福祉サービス事業所等に対し、支援金を支給する。	介護保険課/ 高齢・障がい 福祉課/ 子育て応援課	R4	-	88,770 ※補正予算(3号)	
		子どもの学習支援等事業 子どもの基礎学力の向上、学習意欲や学習習慣の定着等を図るため、学習機会の充実を図り、子どもの居場所を兼ねて個別指導型の学習塾を実施する。【44関連】の「学習サポート事業」とも連携を図り、事業を実施。	生活支援課	R4-R5	7,648	7,781	
		生活保護運営経費 生活保護業務において生活保護受給者世帯へ訪問を行い、調査・状況把握を行っている。システム更新に伴い、この訪問調査に業務用タブレット端末を携帯し、訪問調査の効率化、調査員による調査方法の標準化を図る。	生活支援課	R4-R5	46,258	25,719	⑤
		● 家計急変世帯相談支援事業 新型コロナウイルス感染症の影響による休業又は失業等により家計が急変した方の生活の困りごとや悩みごとの相談に応じ、必要な支援が受けられるよう関係機関へつなぐ。	福祉生活 相談センター	R4	-	3,462 ※補正予算(1号)	【コロナ】
					571,032	1,218,382	

# 分野4 医療・健康・福祉



## 施策3 障がい福祉

### 関連する主な分野横断課題

- ②超高齢社会への対応
- ④ダイバーシティ社会の実現
- ⑦自然災害への備え

### 中期基本計画

#### ○推進方針

誰もが自分らしく暮らせるまちづくりを進めます

#### ○施策における主要な課題

主要課題① 日常の自立した暮らしへの支援

主要課題② ひとにやさしいまちづくりの推進

#### ○施策の現況・課題・今後4年間の方向性

障害者の権利に関する条約の批准に向けた法整備など、近年、障がいのある人に関する法律や制度が大きく変化する中で、障がいのある人が地域で主体的に生活するためには、行政だけではなく、市民・事業者等、地域の理解と協力が重要となってきています。また、障がいの重度化や高齢化の進展等により、障がい福祉のニーズはますます複雑化・多様化しています。

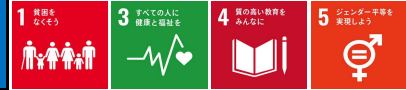
障がいのある人が、住み慣れた地域で安心して自立した社会生活を送るため、日常的な生活支援サービスの充実や緊急時・「親なき後」等の尽きない不安を解消する仕組みの整備が求められています。また、障がいの有無によって分け隔てられることなく互いを尊重し合う共生社会の実現のため、障がいに対する正しい知識の普及や、配慮が必要なことへの理解を深める取り組みが必要です。

障害福祉サービス等の提供体制の確保に努めるとともに、相談機能、緊急対応機能などの地域生活支援拠点等の機能の充実を図ります。また、共生社会の理念の普及のため、啓発や情報発信を行うとともに、人権教育・福祉教育を進めます。

# 取り組む事業

課題 コード	新規	事業名（小事業名）・事業概要	所属名	事業 年度	事業予算（単位：千円）		関連する 主な分野 横断課題
					(参考) R3当初	R4当初	
43①		成年後見サポートセンター運営事業【45①で再掲】 成年後見制度の利用促進に関する法律及び成年後見制度利用促進基本計画に基づき、成年後見制度の利用促進及び中核機関として、成年後見サポートセンターを設置運営し、制度の利用促進と円滑な制度運用を推進する。	福祉生活 相談センター	R4-R5	11,623	11,979	②④
		障害者地域生活支援事業【42①で再掲】 障がいのある人が、自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう、日常生活用具給付事業、移動支援事業、日中一時支援事業などを実施する。	高齢・障がい 福祉課/ 福祉生活 相談センター	R4-R5	184,417	164,761	④
		障害者外出支援事業 重度の障がいのある人の社会参加の機会の確保のため、利用したタクシー（リフト付き）料金の一部や機能訓練のため通所する交通費の一部を助成する。	高齢・障がい 福祉課	R4-R5	13,794	13,145	
		障害者生活環境等整備事業 障がいのある人の生活の質を高め、地域生活を支援するため、紙おむつ等支給、訪問理美容サービスにより、生活環境等を整備する。	高齢・障がい 福祉課	R4-R5	415	316	
		障害者福祉運営対策経費 重度身体障害者デイサービスセンターや障がい者就労支援施設（ひまわり）を運営し、日中活動サービスを提供することで、障がいのある人が生きがいを持って活動できるまちづくりを目指す。また、市内の障害者団体に対し、その活動経費を助成し、会員の自立更生を図る。	高齢・障がい 福祉課	R4-R5	13,686	14,098	
		● 障害者共同生活援助施設整備事業補助金 市内に障害者共同生活援助施設（グループホーム）を創設する社会福祉法人に対し、施設整備に要する経費の一部を補助し、整備促進を図る。	高齢・障がい 福祉課	R4-R5	-	15,000	
43① 43②		意思疎通支援等事業 手話通訳者や要約筆記通訳者の派遣、手話奉仕員の養成などにより、障がいのある人の意思疎通等の円滑化を図る。また、平成28年4月から施行した伊勢市手話言語条例に基づき、手話の普及や手話を使いやすい環境整備を図るための施策を推進する。	高齢・障がい 福祉課	R4-R5	13,214	10,193	
43②		障がい者サポーター事業 「障がい」について知る機会がなかったり、障がいのある人と接する機会がない市民や企業等に、多様な障がいの特性について学び、障がいのある人が困っていることや障がいのある人への必要な配慮などの理解と「ちょっとした配慮」を行うことの意識づくりを進め、「だれもが自分らしく暮らせる自立と共生のまち いせ」の実現を目指す。	高齢・障がい 福祉課	R4-R5	8,924	7,683	
		避難行動要支援者対策事業【45③で再掲】 避難行動要支援者に同意書を送付し、同意を得た人を防災ささえあい名簿に登録し、民生委員や自治会などの避難支援等関係者と名簿を共有することにより、災害に備えた地域づくりを推進する。また、災害時の避難支援等を実効性のあるものとするため個別避難計画作成の推進を図る。	高齢・障がい 福祉課	R4-R5	8,930	9,293	⑦
43関連		介護・障がいサービス事業所支援事業【45③で再掲】 新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するため、感染防止対策を実施する介護・障がいサービス事業所に対し、その費用の一部を助成することで、施設の負担軽減を図る。 また、感染者の発生した事業所に対し、緊急に必要なとなる衛生用品等を支給し、事業所における感染拡大の防止を図る。	介護保険課/ 高齢・障がい 福祉課	R4	-	39,470 ※補正予算(1号)	② 【コロナ】
					255,003	285,938	

# 分野4 医療・健康・福祉



## 施策4 子育て支援

### 関連する主な分野横断課題

- ①人口減少・少子化への対応
- ②超高齢社会への対応
- ⑤デジタル技術の活用

### 中期基本計画

#### ○推進方針

つながりで子どもの笑顔と健やかな育ちを実現するまちづくりを進めます

#### ○施策における主要な課題

主要課題① 乳幼児期の支援

主要課題② 学童期の支援

主要課題③ 妊娠期から思春期を通しての支援

#### ○施策の現況・課題・今後4年間の方向性

少子化が進む一方で、核家族化、共働き世帯の増加、地域コミュニティの希薄化などにより、児童虐待に関する相談や子育てに悩みや不安を抱える保護者は増加しています。

未来の担い手である子どもを生き育てやすい環境を整えるため、行政や学校、地域コミュニティをはじめ、地域社会全体で子どもの成長を見守りながら、妊娠期から思春期まで、年齢・ライフステージに応じた子育て支援サービスや相談支援体制の充実を図ることが必要です。

多様な保育サービスの充実や地域の子育て支援体制強化等の乳幼児期支援、放課後児童対策等の学童期支援、こども医療費助成制度や児童虐待防止への支援、児童発達支援体制の充実等の妊娠期から思春期を通じた支援を行い、地域全体で切れ目のない支援に取り組めます。



## 取り組む事業

課題 コード	新規	事業名（小事業名）・事業概要	所属名	事業 年度	事業予算（単位：千円）		関連する 主な分野 横断課題
					（参考） R3当初	R4当初	
44①		妊娠出産支援事業【41②で再掲】 安心して妊娠・出産・子育てができるよう、ママ☆ほっとテラス（子育て世代包括支援センター）を拠点に、母子保健コーディネーターや助産師などが中心となって妊娠期からの切れ目ない支援を行う。	健康課	R4-R5	15,320	15,578	①
		母子健康手帳交付事業【41②で再掲】 妊娠の届出により、妊娠、出産、育児に関する一貫した健康管理の記録となる母子健康手帳を交付する。妊婦にやさしい環境づくりの一環として、「マタニティマーク」の普及・啓発を図っている。	健康課	R4-R5	260	291	①
		妊産婦・乳児健康診査事業【41②で再掲】 妊婦健康診査を14回、産婦健康診査を2回、乳児健康診査を3回（1か月児、4か月児、10か月児）実施し、妊産婦や乳児の疾病や虐待などの異常の早期発見、早期対応により、各期に応じた母子の健康づくりを支援する。	健康課	R4-R5	109,106	108,085	①
		幼児健康診査事業【41②で再掲】 身体発育、精神発達の面で重要な時期である1歳6か月時と3歳6か月時に健康診査を実施し、疾病や障害などの早期発見と早期治療を目指す。また、深刻化する児童虐待を防止するため、相談機能の充実を図り、児童虐待の徴候を早期発見し、育児不安等の解消と児童虐待の防止に努める。	健康課	R4-R5	6,485	7,750	①
		歯科健康診査事業【41②で再掲】 妊婦および子育て世代の保護者、幼児のための歯科健康診査（個別・集団）を行う。また、幼児期からの口腔衛生意識を高め、正しい口腔清掃の生活習慣を身につけることを目的に、幼児の歯科健康診査の際にフッ化物塗布やブラッシング指導も行う。	健康課	R4-R5	4,226	4,177	①
		新生児聴覚検査助成事業【41②で再掲】 子どもの健やかな発育を支援していくために、生まれつきの難聴児の早期発見、早期支援に向けて新生児期に聴覚検査を実施する。	健康課	R4-R5	2,190	2,160	①
		乳幼児保健指導事業【41②で再掲】 乳幼児の疾病異常の早期発見及び健康の保持増進に努めるとともに母子ともに健全育成を図り、育児上の悩み等への適切な助言や、保護者が自信を持って育児が出来るように、専門職による相談や教室を開催する。	健康課	R4-R5	3,072	2,551	①
		新生児等訪問指導事業【41②で再掲】 不安の多い新生児期や発達の遅れ等のある乳幼児を対象に、安心して育児ができるよう各家庭を訪問し保健指導を実施する。	健康課	R4-R5	5,457	7,535	①
		児童送迎バス負担金 へん地にある保育所の児童送迎にかかる負担を軽減し、保育所送迎に対する地域格差を解消するとともに保育所経営の安定化を図る。	保育課	R4-R5	2,000	2,000	①
		スマート保育（ICT）事業 保育所・認定こども園等における業務のICT化を推進することにより、保護者の利便性の向上を図るとともに、保育士の業務負担の軽減を図り、保育士が働きやすい環境を整備する。	保育課	R4-R5	9,463	5,097	①⑤
	保育士確保事業 保育士確保に向けて、伊勢市内の私立保育所・認定こども園等と合同で、新卒保育士または潜在保育士の就職を支援する相談会などを実施する。また、保育士の業務負担を軽減し、離職を防ぐための職員等を雇上げる私立保育所・認定こども園等に対し補助する。	保育課	R4-R5	43,393	44,179	①	

課題 コード	新規	事業名(小事業名)・事業概要	所属名	事業 年度	事業予算(単位:千円)		関連する 主な分野 横断課題
					(参考) R3当初	R4当初	
44①		医療的ケア児童保育支援事業 日常生活を営むために医療を要する状態にある障がい児(医療的ケア児)が、保育所・認定こども園等の利用を希望する場合に、受入が可能となるよう体制を整える。	保育課	R4-R5	6,842	6,854	①
		子育て支援ショートステイ事業 病気、出産、育児不安等の理由により、保護者が家庭で一時的に養育が困難となった児童を乳児院又は児童養護施設で養育する。また、経済的理由等により、緊急一時的に保護が必要となった母子を母子生活支援施設で保護する。	子育て応援課	R4-R5	546	397	①
		親子3人乗り自転車購入補助事業 多子世帯における保育園や幼稚園への送り迎えや外出時の利便性の向上、また、子育て世代への経済的負担を軽減するため、対象となる自転車を新たに購入する場合に、その購入費の一部を補助する。	子育て応援課	R4-R5	1,298	654	①
		民間保育施設特別保育事業 共働き家庭の増加、核家族化の進行等に対応し、就労と育児の両立支援を総合的に推進するために、地域の需要を踏まえて、延長保育、一時保育を実施する私立保育所・認定こども園等に対し、必要となる経費を補助する。	保育課	R4-R5	6,551	8,406	①
		民間保育施設運営補助事業 公立保育施設と同水準の保育内容を確保するとともに、提供する保育の資質向上を図り、子どもを安心して育てられる環境を整備し、安定した運営を維持するため、私立保育所・認定こども園等に対し運営に係る経費を補助する。	保育課	R4-R5	64,504	66,925	①
		民間保育施設特別支援保育等充実事業 保育施設等での集団保育が可能で、かつ特別な保育を必要とする児童を受け入れている私立保育所・認定こども園で、基準を超えての保育士配置に必要な経費の補助を行う。 また食物アレルギー等があり給食に特別な配慮が必要な児童への安全な給食を提供するため、私立保育所・認定こども園等における調理員の加配、代替食材、研修等に係る費用の補助を行う。	保育課	R4-R5	55,065	65,611	①
		民間保育施設低年齢児保育充実事業 年度途中の児童の受け入れを容易にし、待機児童の発生を防ぐため、低年齢児にかかる保育士を加配する私立保育所・認定こども園等に対し、人件費を補助する。	保育課	R4-R5	64,263	62,304	①
		民間保育所等施設整備事業 社会福祉法人、学校法人等が設置する私立保育所・認定こども園等の新築・改築・大規模修繕等の施設整備に要する経費の一部を補助する。	保育課	R4-R5	7,500	117,661	①
		0歳児見守り支援事業 0歳児家庭を対象に、こども家庭相談センター職員が訪問し赤ちゃん用品等を届けることで、子どもと保護者の見守りを実施する。また、支援が必要な家庭には、必要なサービスにつなげ継続した支援を行い、児童虐待の防止を図る。	子育て応援課	R4-R5	-	1,866	①
		市立保育所特別保育事業 共働き家庭の増加、核家族化の進行等に対応し、就労と育児の両立支援を総合的に推進するために、地域の需要を踏まえて、公立保育所・認定こども園において延長保育、休日保育、一時保育、地域の子育て支援を実施する。	保育課	R4-R5	28,460	34,941	①

課題 コード	新規	事業名(小事業名)・事業概要	所属名	事業 年度	事業予算(単位:千円)		関連する 主な分野 横断課題
					(参考) R3当初	R4当初	
44①		特別支援保育事業 保育施設等での集団保育が可能で、かつ特別な保育を必要とする児童について、公立保育所・認定こども園で受入れ、健常な児童とともに保育を行うため、当該児童が入所する公立保育所等に保育士を加配する。	保育課	R4-R5	100,107	105,405	①
		地域子育て支援センター事業 【地域子育て支援センター事業】地域の子育て支援機能の充実を図るため、児童の健やかな育ちを促進することを目的として、子育て家庭の交流の場の提供、子育てに関する講座の開催等の支援等を実施する。 【利用者支援事業】子育て家庭の個々のニーズを把握し、相談内容に応じた子育て支援情報の提供、関係機関への仲介を行う。	保育課	R4-R5	73,593	86,960	①
		市立保育所施設整備事業 公立保育所の施設改修等を行い、安全かつ快適な児童の保育環境を整える。	保育課	R4-R5	9,500	14,800	①
		二見地区統合園整備事業 津波浸水の危険性があることから、二見町内の3保育所(二見浦保育園・五峰保育園・高城保育園)を統合し、高台へ移転する。なお、高城保育園は園児数の減少により統合に先立ち令和2年度末で閉園。	保育課	R4	291,676	458,791	①
44① 44②		病児・病後児保育事業 児童が病気あるいは病気回復期にあるために集団保育が困難である間、当該児童を専用スペースで保育することにより、保護者の子育てと就労の両立を支援する。	子育て応援課	R4-R5	18,007	18,632	①
		ファミリーサポートセンター事業 子育ての手助けができる人と、子育ての手助けが必要な人を会員登録し、依頼に応じて子育ての手助けができる会員を紹介する。これにより、仕事と子育ての両立を実現する等、安心して子どもを育てられる環境づくりを進める。	子育て応援課	R4-R5	11,074	10,248	①
44②		放課後児童対策事業 保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校児童に対し、授業の終了後等に適切な遊び及び生活の場を与えて、家庭、地域等との連携の下、発達段階に応じた主体的な遊びや生活が可能となるよう、児童の自主性、社会性及び創造性の向上、基本的な生活習慣の確立等を図り、児童の健全な育成を支援する。	子育て応援課	R4-R5	378,637	386,665	①
44③		養育支援訪問事業 養育支援が特に必要であると判断した家庭に対し、子育て経験者等の訪問支援員が家庭訪問し、育児不安や養育環境の維持・改善等のための相談及び支援を行う。	子育て応援課	R4-R5	2,883	2,933	①
		学習サポート事業 子どもの学力や学習意欲の向上を図るため、集合型学習支援を行うとともに、学習塾の利用に係る費用の一部を補助する。 【42関連】の「子どもの学習支援事業」とも連携を図り、事業を実施。	子育て応援課	R4-R5	9,646	23,873	①
		こども家庭相談センター事業 子ども家庭総合支援拠点として、18歳未満の児童(家庭養育等)・女性(DV等)に関する相談に対し、子ども家庭支援ネットワーク(要保護児童対策地域協議会)の連携強化及び専門性の強化を図ることにより、児童虐待の未然防止、早期発見・早期対応を行う。	子育て応援課	R4-R5	29,262	13,740	①



課題 コード	新規	事業名(小事業名)・事業概要	所属名	事業 年度	事業予算(単位:千円)		関連する 主な分野 横断課題
					(参考) R3当初	R4当初	
44③		社会的養護自立支援事業 児童養護施設を退所し、又は里親への委託を解除される児童が就職や大学等への進学の際に、安定した生活を開始できるよう自立を支援する給付金を支給する。また、児童相談所等と連携し里親制度の普及啓発を図る。	子育て応援課	R4-R5	1,862	1,515	①
		ひとり親家庭支援事業 ひとり親家庭に対して、生活や就労等の総合的な支援を行い、ひとり親家庭の生活の安定と向上を図り、児童の健全育成に努める。	子育て応援課	R4-R5	28,936	26,020	①
	●	ひとり親家庭養育費確保サポート事業 養育費の取り決めや受け取りを支援し、養育費を確保するために必要な費用を一部補助することを通じて、ひとり親の自立支援を推進する。	子育て応援課	R4-R5	-	818	①
		民間児童館運営事業補助金 民間児童館(明照児童館)に来館する児童が、安全に、創造的な遊び活動を体験することができるよう、その運営費を補助する。	子育て応援課	R4-R5	11,190	11,190	①
44関連		保健福祉拠点施設整備事業【41②・42①で再掲】 妊娠出産期から高齢期まで、切れ目のない相談支援の充実及び子育て支援の充実を図るため、市内のどこからでもアクセスしやすい駅前にこれらの機能を併せ持った拠点を整備し、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる地域共生社会の実現を目指すための、内装工事費等。	福祉総務課	R4-R5	-	514,400	①②
	●	保健福祉拠点施設運営経費【41②・42①で再掲】 保健福祉拠点施設入居に係る賃借料及び管理費・共益費。	福祉総務課	R4-R5	-	53,215	①②
		子育て世帯生活支援特別給付金支給事業 新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中で、食料等の物価高騰等に直面する低所得の子育て世帯に対し、その実情を踏まえた生活の支援を行う観点から、子育て世帯生活支援特別給付金を支給する。	福祉総務課	R4	-	125,000 ※補正予算(2号)	【コロナ】
		子育て世帯生活支援特別給付金支給事務費 新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中で、食料等の物価高騰等に直面する低所得の子育て世帯に対し、その実情を踏まえた生活の支援を行う観点から、子育て世帯生活支援特別給付金を支給する事業に係る事務費。	福祉総務課	R4	-	8,513 ※補正予算(2号)	【コロナ】
		こども医療費支給事業【41関連で再掲】 15歳年度末までの子どもの受給資格者に対し、健康保険が適用される医療費の自己負担相当額を助成する。	医療保険課	R4-R5	306,526	304,477	
		一人親家庭等医療費支給事業【41関連で再掲】 18歳年度末までの子どもを養育する母(父)子家庭の母(父)及びその子ども並びに父母のいない18歳年度末までの子どもの受給資格者に対し、健康保険が適用される医療費の自己負担相当額を助成する。	医療保険課	R4-R5	70,999	68,627	
		こども発達支援事業 発達障がい児の支援体制を整備する。	こども発達支援室	R4-R5	7,986	7,457	
		保育所等感染防止対策事業 保育所等の継続的な感染拡大防止にむけて、衛生用品や備品購入等にかかる経費の拡充を行う。また、職員が感染症対策の徹底を図りながら事業を実施していくため、私立保育所等の必要な経費を支援し、衛生管理の徹底と感染防止対策の継続的な環境整備を行う。	保育課	R4-R5	18,000	17,850 ※補正予算(1号)	【コロナ】

課題 コード	新規	事業名（小事業名）・事業概要	所属名	事業 年度	事業予算（単位：千円）		関連する 主な分野 横断課題
					（参考） R3当初	R4当初	
44関連		子育て支援施設等感染防止対策事業（保育課） 地域子ども・子育て支援事業を行う施設等の継続的な感染拡大防止にむけて、マスク・消毒液等の衛生用品や備品購入等にかかる経費の拡充を行う。また、民間施設に対し、職員が感染症対策の徹底を図りながら事業を実施していくため必要な経費を支援し、衛生管理の徹底と感染防止対策の継続的な環境整備を行う。	保育課	R4-R5	—	5,850 ※補正予算(1号)	【コロナ】
		子育て支援施設等感染防止対策事業（子育て応援課） 子育て支援施設等において消毒液やマスクなどの衛生用品や感染症対策として必要な備品等を購入する経費を負担する。	子育て応援課	R4-R5	—	19,300 ※補正予算(1号)	【コロナ】
		保育士・幼稚園教諭等処遇改善臨時特例事業 新型コロナウイルス感染症への対応と少子化への対応が重なる最前線において働く、保育士・幼稚園教諭等の処遇の改善のため、賃上げ効果が継続される取組を行うことを前提として、令和4年2月から収入を引き上げるための措置を実施する。	保育課	R4-R5	—	43,983 ※補正予算(1号)	【コロナ】
		放課後児童支援員等処遇改善臨時特例事業 新型コロナウイルス感染症の最前線で働く放課後児童支援員等の処遇改善のため、収入を引き上げるための措置を講じたクラブへ補助を行う。	子育て応援課	R4-R5	—	9,966 ※補正予算(1号)	【コロナ】
					1,805,885	2,905,250	

# 分野4 医療・健康・福祉



## 施策5 高齢者福祉

### 関連する主な分野横断課題

- ②超高齢社会への対応
- ④ダイバーシティ社会の実現
- ⑦自然災害への備え

### 中期基本計画

#### ○推進方針

高齢者がいきいきと暮らせるまちづくりを進めます

#### ○施策における主要な課題

主要課題① 地域包括ケアシステムの強化

主要課題② 介護予防の推進といきいきと暮らせる環境づくり

主要課題③ 安心して住み続けられる地域づくり

#### ○施策の現況・課題・今後4年間の方向性

令和7年には、高齢化率は33%、市民の3人に1人が高齢者となり、要介護認定者数も増加することが見込まれます。また、核家族化が進み、地域コミュニティも脆弱(ぜいじゃく)化していることから、家庭や地域で高齢者を支えることが困難となってきています。

住み慣れた地域でいつまでも自分らしく暮らすことができるよう、医療・介護・介護予防・認知症対策・生活支援などを一体的に提供する「地域包括ケアシステム」の強化が求められていることから、地域包括支援センターの機能強化や在宅医療と介護の連携強化等を進めます。

高齢者が介護が必要な状態になることなく、いきいきと人生を送ることができるよう、生きがい・健康づくり、介護予防として、老人クラブ等の活動支援や就労・ボランティア活動等の社会参加の促進、生活習慣病予防に関する啓発等を行います。

また、高齢者が安心して暮らせるまちづくりのため、高齢者に優しい環境づくりや地域における支え合いの仕組みづくりの促進のため、バリアフリーのまちづくりや災害時・緊急時の支え合い体制づくり等を進めます。

## 取り組む事業

課題 コード	新規	事業名（小事業名）・事業概要	所属名	事業 年度	事業予算（単位：千円）		関連する 主な分野 横断課題
					（参考） R3当初	R4当初	
45①		<p>地域包括ケア事業【42①で再掲】</p> <p>高齢者が地域において尊厳のある生活を維持し安心して生活を営めるよう、専門的な視点から高齢者虐待防止と権利擁護の啓発を行うとともに、関係機関のネットワークを構築し、地域包括ケアシステムの推進を図る。高齢者の総合相談に専門職が対応し、高齢者虐待や困難事例への対応および地域包括支援センターの後方支援を行う。</p>	福祉生活 相談センター	R4-R5	9,299	9,289	②
		<p>成年後見サポートセンター運営事業【43①で再掲】</p> <p>成年後見制度の利用促進に関する法律及び成年後見制度利用促進基本計画に基づき、成年後見制度の利用促進及び中核機関として、成年後見サポートセンターを設置運営し、制度の利用促進と円滑な制度運用を推進する。</p>	福祉生活 相談センター	R4-R5	11,623	11,979	②④
		<p>在宅支援連携推進事業【41③で再掲】</p> <p>伊勢地区における在宅医療・介護連携支援センターの運営を伊勢地区医師会に委託（玉城町、度会町、南伊勢町と共同設置）し、在宅医療・介護・保健・福祉の関係機関の連携強化やネットワークづくりを図ることにより、地域包括ケアシステムを推進する。</p>	福祉生活 相談センター	R4-R5	12,110	12,137	②
		<p>地域包括支援センター運営事業【42①で再掲】</p> <p>市民の保健医療の向上および福祉の増進を包括的に支援する地域包括ケアの推進を目的に、地域包括支援センターを6か所設置し、包括的支援事業、第1号介護予防支援事業を一体的に実施する。センターの運営を社会福祉法人、医療法人等に委託する。</p>	福祉生活 相談センター	R4-R5	164,000	170,130	②
		<p>地域ケア会議推進事業</p> <p>個別ケースを通じてケアマネジャー等と専門多職種が協働の上、ケアプラン検討や参加者の専門的能力の向上、地域の社会資源の把握・開発や市の政策形成に繋げることを目的とする。 また、厚生労働大臣が定める回数以上の訪問介護（生活援助中心型）を計画するケアプランについて、検討を行い、介護サービスの質の向上を図る。</p>	介護保険課/ 福祉生活 相談センター	R4-R5	2,873	3,024	②
45②		<p>健幸ポイント事業【41①で再掲】</p> <p>ウォーキングを通じて、健康づくり無関心層（生活習慣病予防に必要な運動量に満たない者を含む）を含めた市民が、自ら健康づくりを行うきっかけを作ることにより、広く健康寿命の延伸（介護予防）を図る。 令和2年度から取り組みを行った卒業者へ、運動継続を目的に支援を行う。</p>	福祉生活 相談センター	R4	12,965	6,144	②
		<p>高齢者外出支援モデル事業</p> <p>タクシー事業者への運行委託により、既存の公共交通網の利用促進を含めた後期高齢者の外出支援に必要な方策を検証する。</p>	福祉生活 相談センター	R4	5,830	4,860	②
		<p>介護予防・生活支援サービス事業</p> <p>介護サービス事業者や地域住民等の多様な主体により、要支援者や総合事業対象者個々の状態に応じたサービスや支援を行う事業（介護サービス事業者による訪問型・通所型サービス、民間・地域住民組織等の担い手が行う生活援助や介護予防等を目的とした集いの場に対する支援）</p>	介護保険課/ 福祉生活相談 センター	R4-R5	245,382	257,691	②

課題 コード	新規	事業名(小事業名)・事業概要	所属名	事業 年度	事業予算(単位:千円)		関連する 主な分野 横断課題
					(参考) R3当初	R4当初	
45②		地域介護予防活動支援事業【41①で再掲】 地域住民組織等の主体による集いの場の創出支援及び集いの場等に行くための移動支援を併せて行うことにより、利用者及び支援者双方の介護予防や閉じこもり防止、生きがいづくりを推進する。また、医療専門職の介入による介護予防に特化した集いの場の創出を継続的に支援し、そこで活動するリーダーを育成する。	福祉生活 相談センター	R4-R5	2,279	1,675	②
45② 45③		認知症施策事業【41①で再掲】 認知症の早期発見、早期治療をすすめ、地域で安心した生活を送り続けることができるよう、認知症の正しい理解を深め、家族や周囲が対応を行うことができるよう支援体制を構築する。認知症初期集中支援チームにおいて早期対応・早期治療を行う体制の充実を図る。認知症地域支援推進員が地域で取り組みを推進する。	福祉生活 相談センター	R4-R5	8,188	8,052	②
45③		福祉有償運送運営支援事業 要介護者や身体障がい者などの移動困難者に対し福祉有償運送を行うNPO法人等に対して輸送用車両の購入経費や運転者として必要な講習の受講に要した経費の一部を補助する。また、「道路運送法施行規則」第51条の8に規定する運営協議会の運営に係る経費を負担する。	介護保険課	R4-R5	310	310	②
		生活支援体制整備事業 地域の課題やニーズの把握・解決を地域住民と共に解決するため生活支援コーディネーターを配置する。(第1層1名、第2層7名) また、地域の支え合い体制の担い手を養成するため、生活支援サポーター養成講座を開催するとともに、伊勢市くらし応援サービスに従事できるよう従事者養成研修を開催する。	福祉生活相談 センター/ 介護保険課	R4-R5	42,601	42,457	②
		高齢者リフト付タクシー利用支援事業 寝たきり高齢者等が、外出する際に利用する移送用車両(リフト付タクシー等)について料金助成を行うことにより、寝たきり高齢者等の外出を支援し、心身の健康保持増進を図る。	高齢・障がい 福祉課	R4-R5	31,557	31,594	②
		訪問理美容サービス事業 老衰・心身の障がい及び傷病等の理由により、理容所や美容所に向くことが困難な高齢者に対して、自宅で理美容サービスが受給できることにより、高齢者の心身のリフレッシュを図ることができ、在宅生活の向上を図る。	高齢・障がい 福祉課	R4-R5	100	80	②
		高齢者電動アシスト自転車購入補助事業 電動アシスト自転車の購入費を一部補助することにより、日常生活における高齢者の移動手段を確保し、地域の活性化及び社会参加の促進及び心身の健康増進、介護予防の促進を図る。	高齢・障がい 福祉課	R4-R5	3,126	7,674	②
		緊急通報体制等整備事業 虚弱な一人暮らし高齢者や重度身体障がいのある方に対し、急病等の緊急時に迅速かつ適切に対処できる体制を整備し、一人暮らし高齢者等の日常生活の安全確保を図るとともに、在宅生活継続のための支援を行う。	高齢・障がい 福祉課	R4-R5	4,752	4,634	②
		高齢者バス運賃助成事業 満75歳以上の高齢者がバス会社が運行する一般乗合用のバス(乗合バス)及び伊勢市や地域が運営するコミュニティバスに乗車する際に、運賃の一部を助成することで、高齢者の外出の機会の拡大を図り、社会参加の促進及び心身の健康保持増進を図る。	高齢・障がい 福祉課	R4-R5	29,713	22,926	②
		老人福祉センター運営事業 高齢者を対象とした高齢者教室を実施し、利用者の社会参加及び文化活動の促進を図る。また、老人クラブや高齢者サークルへ活動の場を提供し、高齢者の交流、情報収集の拠点となっている。	高齢・障がい 福祉課	R4-R5	7,021	7,021	②



課題 コード	新規	事業名(小事業名)・事業概要	所属名	事業 年度	事業予算(単位:千円)		関連する 主な分野 横断課題
					(参考) R3当初	R4当初	
45③		老人クラブ補助金 伊勢市老人クラブ連合会及び各地区単位老人クラブにおける老人クラブ活動等に対し補助金を交付する。	高齢・障がい 福祉課	R4-R5	10,494	10,083	②
		敬老祝品贈呈事業 多年にわたり、社会の進展に寄与してきた高齢者の方々に対して長寿を祝福し、感謝の意を表して9月に88歳、100歳、最高齢者へ敬老祝品を贈呈し、長寿を祝う。	高齢・障がい 福祉課	R4-R5	3,519	4,033	②
		救急医療情報キット配備事業 ひとり暮らしの高齢者等の救急対策として、救急隊員や病院関係者等に医療情報等を迅速・的確に伝え、適切な救急活動に役立てる。	高齢・障がい 福祉課	R4-R5	437	464	②
		老人福祉施設等整備事業補助金 第9次老人福祉計画・第8期介護保険事業計画に基づき、高齢者が可能な限り住み慣れた地域での生活が継続できるように、事業所が行う施設整備等にかかる経費に対し補助を行う。	介護保険課	R4-R5	-	1,272	②
		社会福祉法人等利用者負担支援事業 社会福祉法人等が、要介護認定者であり低所得で特に生計が困難である者に対して利用者負担額を軽減する場合に、当該社会福祉法人に対して助成を行うことにより、介護保険サービスの利用促進を図る。 また、介護保険で訪問介護を利用する低所得の障がい者に対し利用者負担額の軽減を行い、訪問介護の継続的な利用の促進を図る。	介護保険課	R4-R5	1,032	1,032	②
		生活管理指導事業 基本的な生活習慣が欠如している等、社会適応能力が困難な高齢者に対して、日常生活に対する指導・支援を行う。	高齢・障がい 福祉課	R4-R5	245	238	②
		避難行動要支援者対策事業【43③で再掲】 避難行動要支援者に同意書を送付し、同意を得た人を防災ささえあい名簿に登録し、民生委員や自治会などの避難支援等関係者と名簿を共有することにより、災害に備えた地域づくりを推進する。 また、災害時の避難支援等を実効性のあるものとするため個別避難計画作成の推進を図る。	高齢・障がい 福祉課	R4-R5	8,930	9,293	②⑦
		食の自立支援事業 65歳以上のひとり暮らし又は高齢者のみの世帯で、定期的な安否確認が必要で食事の確保が困難な高齢者に対し、安否確認を行うとともに平日の週3回を限度として栄養バランスのとれた食事を提供し、日常生活の支援を行う。	高齢・障がい 福祉課	R4-R5	3,901	3,901	②
		成年後見制度利用支援事業 成年後見制度の利用が必要であるにも関わらず、配偶者や四親等内の親族がいない等の理由により申立ができない65歳以上の高齢者について、市長の権限による市長申立を行うとともに、必要経費を助成する。また、生活保護受給者またはそれに準ずる状態の者については、成年後見人等に対する報酬について助成する。	福祉生活 相談センター	R4-R5	3,674	3,673	②
		介護相談員派遣事業 介護サービス利用者の日常的な不満、疑問などを受け付け、問題の発見や提起、解決策の提案等を通じて、苦情が発生することを未然に防ぎ、改善の途を探るため、希望があった事業所へ介護相談員を派遣し、介護サービスの質的向上を図る。	介護保険課	R4-R5	4,511	4,952	②
	家族介護交流事業 要介護者を在宅で介護する家族を対象に介護者相互の交流会を開催し、介護から一時的に開放することで心身の元気回復(リフレッシュ)を図る。	介護保険課	R4-R5	333	333	②	

課題 コード	新規	事業名(小事業名)・事業概要	所属名	事業 年度	事業予算(単位:千円)		関連する 主な分野 横断課題
					(参考) R3当初	R4当初	
45③		介護用品支給事業 在宅で寝たきりの高齢者や認知症の高齢者を抱える家族に対し、介護保険の給付対象外となる介護に必要な紙オムツ等に要する経費の一部として利用券を交付することにより、家族の身体的・精神的・経済的負担の軽減を図る。対象は伊勢市に住所を有し、要介護4または5の認定を受け、かつ、在宅で介護を受ける者のうち市民税非課税世帯に該当する者。	介護保険課	R4-R5	29,740	29,740	②
		住宅改修支援事業 要介護(要支援)の認定を受けた高齢者で、居宅介護支援の提供を受けていない者に対して、申請に必要な理由書の作成等の支援を行った事業者に対して助成(1件あたり2千円)を行うことにより、適正な住宅改修の利用を促す。	介護保険課	R4-R5	600	600	②
		介護・障がいサービス事業所支援事業【43関連で再掲】 新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するため、感染防止対策を実施する介護・障がいサービス事業所に対し、その費用の一部を助成することで、施設の負担軽減を図る。 また、感染者の発生した事業所に対し、緊急に必要な衛生用品等を支給し、事業所における感染拡大の防止を図る。	介護保険課/ 高齢・障がい 福祉課	R4	-	39,470 ※補正予算(1号)	② 【コロナ】
	●	老人福祉施設等感染防止対策事業補助金 新型コロナウイルスの感染拡大を防止しつつ、家族との面会を再開・推進するために必要な家族面会室の整備に要する費用を支援する。	介護保険課	R4-R5	-	3,500 ※補正予算(1号)	② 【コロナ】
45関連		介護予防ケアマネジメント事業 介護予防・日常生活支援総合事業を利用するためのケアマネジメントに係るサービス費	介護保険課	R4-R5	30,302	31,817	②
		介護給付費等費用適正化事業 介護保険給付適正化を目的に、介護給付費通知書等の送付やケアプラン点検等を行う。	介護保険課	R4-R5	4,409	5,300	②
		介護サービス事業者指導監査事業 利用者に適切なサービスが提供されるよう、事業者の指導・監査を実施し、介護サービスの質の確保を行う。	介護保険課	R4-R5	623	562	②
		介護未経験者等研修支援事業 三重県地域医療介護総合確保基金を活用し、介護に従事する人材の確保及び介護職員の資質の向上を図るため、介護職員初任者研修又は生活援助従事者研修を受講し、市内の介護保険サービス事業所等に介護職員として勤務する者に対し、研修受講費用の一部を助成する。	介護保険課	R4-R5	500	500	②
					696,979	752,440	





# 分野5 防災・防犯・消防



## 施策1 防災・減災

### 関連する主な分野横断課題

- ⑤ デジタル技術の活用
- ⑦ 自然災害への備え

### 中期基本計画

#### ○推進方針

市民の防災意識を高め、災害に備える地域づくりを推進します

#### ○施策における主要な課題

主要課題① 地域防災力の向上

主要課題② 避難体制の強化

主要課題③ 避難所等の環境整備

#### ○施策の現況・課題・今後4年間の方向性

南海トラフ地震や風水害などの自然災害から「命を守る」ためには行政等による「公助」以外に、個人で災害に備える「自助」、地域における「共助」が重要です。

現在、多くの地域において、過去の災害を教訓に自治会を中心とした自主防災組織の結成やまちづくり協議会での防災への取り組みが進められていますが、地域によっては災害リスクの違いから、防災意識の格差が生じています。また、隊員の高齢化や次世代の担い手不足、地域コミュニティの希薄化も進んでおり、人材の確保や育成が課題となっています。

各地域で防災講習会を開催し、備蓄や家具固定、適切な避難行動等の周知・啓発を行うことにより、個人の防災意識・知識の向上を促します。また、市全域において各地域の防災力の向上及び避難体制の強化を図るため、伊勢市防災大学の開催や災害時に地域が重大な役目を担う避難所運営のマニュアル作成及び地区防災計画の策定等に取り組みます。

また、避難所等においては、過去の大規模災害においても避難生活環境の厳しい状況が浮き彫りになったほか、各所から送られてきた支援物資が集積所で滞り、避難者に届かないなど、物資の供給体制に対する課題が明確となりました。

これらを受け、避難生活施設の環境改善として災害用トイレ等の整備を実施するほか、災害時の物資供給に対する課題を整理し、備蓄物資及び支援物資の調達及び供給体制の構築に取り組みます。

## 取り組む事業

課題 コード	新規	事業名（小事業名）・事業概要	所属名	事業 年度	事業予算（単位：千円）		関連する 主な分野 横断課題
					（参考） R3当初	R4当初	
51①		<p>自主防災隊資機材購入事業</p> <p>地域防災の活性化を図るため、新規防災隊へ災害発生時に活用できる資機材を配備する。 ・発電機、簡易トイレセット、ヘルメット、トランシーバー等</p>	危機管理課	R4-R5	960	960	⑦
		<p>自主防災隊補助事業</p> <p>自主防災隊及び自治区に対し、防災施設及び資機材、備蓄食料品等の充実のための補助を行う。 ・自主防災隊 防災資機材、備蓄食料品等の購入、訓練助成 ・自治区 街頭消火器、防災資機材庫等</p>	危機管理課	R4-R5	20,500	16,000	⑦
51②		<p>地域防災力向上支援事業</p> <p>災害からの被害を軽減するため、平常時から自治会等への啓発、自主防災隊の育成・強化を図り、災害に強いまちづくりを目指す。（市民防災意識普及啓発事業、自主防災リーダー育成事業、地域防災マップ作成、高齢者等宅家具固定事業、防災コーディネーター制度、伊勢市防災大学の開催）</p>	危機管理課	R4-R5	15,364	15,319	⑦
51③		<p>災害対応デジタル推進事業</p> <p>● 避難所環境の向上のため、避難所（避難生活施設）にWi-Fi環境の整備、拡充を図る。</p>	危機管理課	R4-R5	—	21,000	⑤⑦
		<p>備蓄物資整備事業</p> <p>市の防災倉庫に備蓄する物資・資機材等を、計画的に購入・更新する。</p>	危機管理課	R4-R5	27,200	31,000	⑦
		<p>避難所等整備事業</p> <p>避難生活時の災害関連死を防止するため、避難所環境の改善を目的とした災害用トイレ等を整備する。</p>	防災施設 整備課	R4-R5	325,646	95,100	⑦
					389,670	179,379	

## 施策2 防犯

### 中期基本計画

#### ○推進方針

市民の防犯意識を高め、犯罪被害防止対策を推進します

#### ○施策における主要な課題

主要課題①	防犯意識の醸成
-------	---------

主要課題②	地域防犯体制の充実
-------	-----------

主要課題③	防犯環境の整備
-------	---------

#### ○施策の現況・課題・今後4年間の方向性

現在、刑法犯認知件数は減少傾向にあるものの特殊詐欺被害は継続的に発生しています。これらは、市民の高齢化、情報化等の社会環境や生活様式の変化、地域社会における連帯意識の希薄化等が要因と考えられます。

犯罪防止を図るため、自主防犯団体や関係機関と連携し、効果的な広報活動や講習会の開催等、市民の防犯意識を醸成する取り組みを推進します。

地域の防犯体制の中心となっている自主防犯団体においては、会員が高齢化している状況がみられることから、女性や次世代等の担い手確保や人材育成等の体制強化を図りながら、パトロールや啓発等の活動充実を促進します。

また、自治会が設置する防犯灯及び防犯カメラの一部を補助し、犯罪が起こらない環境づくりに取り組みます。

## 取り組む事業

課題 コード	新規	事業名（小事業名）・事業概要	所属名	事業 年度	事業予算（単位：千円）		関連する 主な分野 横断課題
					（参考） R3当初	R4当初	
52① 52②		<p>防犯活動推進事業</p> <p>「伊勢市防犯活動の推進に関する条例」に基づき市民の防犯意識の高揚と自主防犯活動の推進を図り、安全で安心できる市民生活を確保するため、各団体、警察、伊勢度会地区生活安全協会等と連携し防犯活動に取り組む。</p>	危機管理課	R4-R5	13,178	12,400	
52③		<p>防犯カメラ設置推進事業</p> <p>自治会が設置する防犯カメラについて「伊勢市防犯カメラ設置補助金交付要綱」及び「伊勢市防犯カメラ電気料助成金交付要綱」に基づき補助を行う。</p>	危機管理課	R4-R5	5,565	5,195	
		<p>防犯灯補助金</p> <p>自治会が設置、維持管理する防犯灯について「伊勢市防犯灯整備事業補助金交付要綱」及び「伊勢市防犯灯維持管理経費助成金交付要綱」に基づき補助を行う。</p>	危機管理課	R4-R5	31,937	23,126	
52関連		<p>犯罪被害者等支援事業</p> <p>「伊勢市犯罪被害者等支援条例」に基づき犯罪行為に遭った被害者及びその家族、遺族が受けた被害の早期回復及び軽減を図るため、経済的、精神的な支援を行う。また、その他各種支援活動を行い、社会全体の被害者支援意識の高揚に資するとともに、支援活動を通じて地域の安全に寄与する。</p>	危機管理課	R4-R5	1,451	1,332	
					52,131	42,053	

# 分野5 防災・防犯・消防



## 施策3 消防・救急

### 関連する主な分野横断課題

- ⑤ デジタル技術の活用
- ⑦ 自然災害への備え

### 中期基本計画

#### ○推進方針

火災などの災害から市民を守る消防・救急体制の整備を推進します

#### ○施策における主要な課題

主要課題① 消防体制の充実

主要課題② 救急体制の充実

主要課題③ 火災予防対策の推進

#### ○施策の現況・課題・今後4年間の方向性

令和3年中において当消防本部における火災件数は41件で、このうち延焼した建物火災は3件でした。また、救急件数は7,705件、救助件数は78件でした。このほか近年は全国的に局地的な豪雨による災害が多発しており、本市においても起こりうる災害であると考えています。

消防機関は被害を軽減することが目的であり、「消防体制」「救急体制」の充実強化が常時必要であると考えています。災害に迅速、万全に対応していくためには各種資機材の整備、維持に努めるとともに、各種訓練や研修による職員の育成を推進し、消防力の強化を図ります。

市民に対しては、社会復帰を目標とした救命率の向上のため、迅速な119番通報と応急手当の重要性の理解、火災を発生させない予防対策を目的とした啓発を行います。

消防団については、人口減少の中においても、地域住民の理解と協力により高い水準で団員を確保することができています。今後においても入団の促進に努め消防力の充実強化を図ります。

## 取り組む事業

課題 コード	新規	事業名（小事業名）・事業概要	所属名	事業 年度	事業予算（単位：千円）		関連する 主な分野 横断課題
					（参考） R3当初	R4当初	
53①		各種資機材購入経費（常備消防費） 最良の状態で消防活動が行えるよう、各種資機材を整備することを目的とした事業です。	消防総務課	R4-R5	11,500	16,000	⑤⑦
		各種資機材購入経費（非常備消防費） 最良の状態で消防団活動が行えるよう、各種資機材を整備することを目的とした事業です。	消防総務課	R4-R5	2,200	2,860	⑦
		消防署庁舎改修経費 消防署庁舎の改修や補修を行い、災害時における拠点として機能維持し、また、長寿命化を目的とした事業です。	消防総務課	R4-R5	—	6,000	⑦
		消防自動車購入事業 安心・安全な社会の推進を目指し、円滑な消防活動を行なうことを目的として消防車両を更新する事業です。	消防総務課	R4-R5	—	4,921	⑦
		小型動力ポンプ付積載車購入事業 安心・安全な社会の推進を目指し、円滑な消防団活動を行なうことを目的として小型動力ポンプ付積載車を更新する事業です。	消防総務課	R4-R5	34,652	19,761	⑦
		消防水利施設整備経費 消防水利を適切に維持管理し、また、長寿命化を図る事を目的とした事業です。	消防総務課	R4-R5	14,000	14,000	⑦
		消火栓新設負担金 消防水利不足地域（箇所）に消火栓を新設し、火災発生時の迅速・的確な活動に備えるための事業です。	消防総務課	R4-R5	8,000	8,000	⑦
		消防団車庫改修事業 消防団車庫の改修や補修を行い、災害時における拠点として機能維持また、長寿命化を目的とした事業です。	消防総務課	R4-R5	3,000	3,000	⑦
53②		応急手当普及啓発事業 AEDの普及により、取り扱い要領をはじめ応急手当法の普及を図ります。これにより、誰でも成りうるであろうバイスタンダー（現場に居合わせた者）の積極的な行動を促し、救命率の向上を目指す事業です。	消防総務課	R4-R5	2,056	1,467	⑦
		救急車購入事業 安心・安全な社会の推進を目指し、円滑な救急活動を行なうことを目的として高規格救急自動車を更新する事業です。	消防総務課	R4-R5	38,803	38,132	⑦
53③		火災予防啓発立入検査（非予算化） 火災予防啓発及び防火管理体制の是正指導を図り、市民の安全、安心を確保するための事業です。	予防課	R4-R5	—	—	⑦
					114,211	114,141	

# 分野5 防災・防犯・消防



## 施策4 交通安全

### 関連する主な分野横断課題

- ①人口減少・少子化への対応
- ②超高齢社会への対応

### 中期基本計画

#### ○推進方針

交通安全意識の高揚を図り、交通事故抑止を推進します

#### ○施策における主要な課題

主要課題① 教育活動の推進

主要課題② 広報・啓発活動の推進

主要課題③ 交通安全ボランティアの育成

#### ○施策の現況・課題・今後4年間の方向性

市内の交通人身事故発生件数は減少傾向にありますが、交通事故は市民にとって身近な危険であり、関心が高い事柄です。全国的には、交通事故死者における高齢者の割合は5割以上となっており、また、登下校中の子どもを巻き込むなどの痛ましい事故も発生しています。

高齢者や子どもなどの交通弱者を交通事故から守るため、歩行者、自転車利用者、自動車運転者等のそれぞれに適した交通安全教育と広報啓発活動を関係機関・団体と協力して推進していきます。

一方、街頭指導活動等を効果的に実施するためには、民間ボランティア団体の活動と協力が必要不可欠ですが、高齢化に伴い担い手の確保が課題となっております。将来において継続的に活動していくため、人材の確保に努めるとともに、ICTなども活用しながら交通安全の啓発を行い、組織の活性化を進め、交通事故抑止につなげていきます。

## 取り組む事業

課題 コード	新規	事業名（小事業名）・事業概要	所属名	事業 年度	事業予算（単位：千円）		関連する 主な分野 横断課題
					（参考） R3当初	R4当初	
54① 54②		交通安全活動団体推進事業 交通安全活動を推進している交通安全活動推進団体(小学校・保育所・幼稚園・認定こども園単位)の活動の充実を図るため交付金を交付する。	交通政策課	R4-R5	2,117	1,800	①
54① 54② 54③		交通安全啓発事業 平成17年11月1日に施行された伊勢市交通安全条例の趣旨に沿って、伊勢市における交通事故の撲滅を図るため、重点目標を「交通死亡事故抑止対策の推進」として、各種交通安全啓発事業を行う。 ○伊勢市交通安全都市推進協議会負担金及び伊勢・度会地区交通安全対策協議会負担金。	交通政策課	R4-R5	2,978	3,152	①②
54関連		交通事故防止対策事業 高齢運転者のペダルの踏み間違いによる交通事故防止及び交通事故の被害の軽減を図るため、高齢運転者が使用する自動車に後付け急発進等抑制装置を取り付けた際の、取り付け費用の一部を補助する。	交通政策課	R4-R5	—	500	②
					5,095	5,452	



# 分野6 産業・経済



## 施策1 農林水産業

### 関連する主な分野横断課題

- ⑤ デジタル技術の活用
- ⑥ 脱炭素社会の実現
- ⑦ 自然災害への備え

### 中期基本計画

#### ○推進方針

地元産物の魅力を生かし、持続可能な農林水産業を振興します

#### ○施策における主要な課題

主要課題① 未来につなぐひとづくり

主要課題② 地元産物の魅力づくり

主要課題③ 地域を支える環境整備

#### ○施策の現況・課題・今後4年間の方向性

本市の農林水産業は、高齢化、所得の低迷、生産資材の高騰による経営の悪化などにより、就業者の減少が続いています。また、農業用排水機場や漁港などの生産基盤となる施設の老朽化が進んでいる状況です。

このような状況の中、農業においては、地域間競争に勝てる農産物の生産や加工・販売を推進するとともに、農地の集積・集約を進めるなど、生産の効率化を図り、多様な担い手の活躍を支援していきます。また、老朽化した排水機場の長寿命化や排水路等の改修を図ることで安定した生産活動ができる基盤整備を進めます。

林業においては、本来の森林の持つ水源のかん養などの多面的機能が発揮できるように、計画的な森林管理を進めるとともに、地域材による公共建築物等の木材利用を促進します。

漁業においては、水産物の安定供給を図るため、漁港や海岸施設の保全対策を進めるとともに、水産資源の確保のために関係団体が実施する、種苗放流への支援を行います。

また、農林水産業における地元産物の魅力を高めるとともに、輸送に伴う環境負荷低減にも寄与することができる地産地消を推進し、関係団体と連携しながら持続可能な農林水産業の振興につなげていきます。

## 取り組む事業

課題コード	新規	事業名（小事業名）・事業概要	所属名	事業年度	事業予算（単位：千円）		関連する主な分野横断課題
					（参考）R3当初	R4当初	
61①		<p>担い手支援事業</p> <p>新規就農者や担い手の環境整備を金銭的に支援することにより、地域農業の振興を図る。</p> <p>①農業経営基盤強化資金（スーパーL）利子補給補助金 ②農業近代化資金（中核農業者育成）利子補給補助金 ③農業次世代人材投資資金（経営開始資金）④新規就農者支援事業補助金 ⑤経営継承・発展等支援事業 ⑥経営発展支援事業</p>	農林水産課	R4-R5	28,898	25,662	
		<p>農業体験学習事業</p> <p>食育の一環として、児童に食の大切さや地元の食材、食を育む農業の大切さを知ってもらうため、学校に食育体験の機会を提供する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水稲（田植え・稲刈り）</li> <li>・青ねぎ（収穫・出荷施設見学）</li> <li>・横輪いも（収穫）</li> <li>・蓮台寺柿（収穫・出荷施設見学）</li> <li>・花（フラワーアレンジメント）</li> </ul>	農林水産課	R4-R5	1,799	1,758	
		<p>水産教室実施事業</p> <p>市内の小学生を対象に水産教室を開催し、漁村・漁業に対する興味を高揚し、将来の就職先として認識してもらう。</p> <p>また、市民交流課と連携し料理教室を開催し、市民に漁業を理解していただくと共に魚食普及と地元水産物のPRを行う。</p>	農林水産課	R4-R5	270	270	
61① 61②		<p>農業振興事業</p> <p>農業者等が行う農村振興に資する取組みや、生産者自らが主体となって行う先進的または地域の特色ある農産物づくりに関する取組みを支援することで地域農業及び地域の活性化を図る。</p> <p>また、農業の近代化のための施策を総合的かつ計画的に推進するため、農業振興地域整備計画及び農村振興基本計画の見直しを行う。</p>	農林水産課	R4-R5	4,392	6,662	
61① 61③		<p>農地中間管理事業</p> <p>農地中間管理機構より事業推進に係る事務委託を受け、機構を通じた農地の貸付等の事務を行う。</p> <p>また、農地中間管理機構を活用して、担い手にまとまった農地を貸し付けた地域や農地集積・集約化に協力する農地の出し手に対し、協力金を交付する。</p>	農林水産課	R4-R5	1,196	1,210	
61②		<p>経営所得安定対策推進事業</p> <p>経営所得安定対策等推進事業費補助金を活用し、転作等を円滑に推進する。現場確認等の業務は伊勢市農業再生協議会への補助金交付により推進活動の支援を行う。</p> <p>また、農業経営収入保険への加入を支援するため、農業者が農業経営収入保険に加入するに当たり負担する保険料等の一部に対して補助金を交付する。</p>	農林水産課	R4-R5	7,827	7,424	
		<p>6次産業化推進事業</p> <p>市内産の農水産物を使用した新たな加工品の開発や販売などに係る必要な経費に対して、補助金を交付する。</p>	農林水産課	R4-R5	550	1,750	
		<p>農産物ブランド化推進事業</p> <p>市が振興を進めている農作物（青ねぎ、いちご、トマト、かぼちゃ、蓮台寺柿、横輪いも）について、ブランド化を推進しようとする取組みに対して支援を行う。</p> <p>「おかげ横丁」において、全国から訪れる観光客に向けて、市内産農産物のPRを行う。</p>	農林水産課	R4-R5	1,883	1,841	

課題 コード	新規	事業名（小事業名）・事業概要	所属名	事業 年度	事業予算（単位：千円）		関連する 主な分野 横断課題
					(参考) R3当初	R4当初	
61②		<p>地産地消推進事業</p> <p>地産地消の推進を図り、伊勢市の農林水産業の振興に寄与する。</p> <p>①「地産地消の店」認定制度の展開 ②農産物等消費推進事業補助金 ③市内産農産物を学校給食へ提供することにより、児童生徒の食育及び地産地消の推進を行う。（学校給食負担金）</p> <p>④朝食メニューコンクールを軸とした地産地消の推進 ⑤認定店と行う地産地消の推進</p>	農林水産課	R4-R5	2,203	1,722	⑥
61③		<p>遊休農地活用事業</p> <p>遊休農地を解消・活用するために必要な草刈や耕起などに係る経費に対して補助金を交付する。</p>	農林水産課	R4-R5	1,000	800	
		<p>多面的機能支払交付金事業</p> <p>農業用排水路の泥上げ・農道の草刈・集落の景観形成等、農業の多面的機能の維持・発揮のための地域活動や営農活動に対して支援を行う。</p>	農林水産課	R4-R5	129,485	128,179	
		<p>土地改良事業補助金</p> <p>土地改良区等の実施する事業に対して補助金を交付し、農業・農村の基盤整備や農業経営の安定を図る。</p>	農林水産課	R4-R5	19,718	16,439	
		<p>県営事業等負担金</p> <p>パイプラインの更新整備及び給水栓整備を行うことにより、安定した水供給と維持管理の省力化及び生産性向上を図る県営事業に対し負担金を支出する。</p>	農林水産課	R4-R5	51,063	90,107	
		<p>農道整備事業</p> <p>農道を整備することにより、農耕車や一般車両の安全な運行を図る。</p>	農林水産課	R4-R5	20,000	4,600	
		<p>農業用排水路整備事業</p> <p>農業用排水路を整備することで、排水路の機能回復を図り湛水を防ぐ。</p>	農林水産課	R4-R5	68,500	54,779	⑦
		<p>農村地域防災減災事業</p> <p>地震等による災害の影響の大きい施設の整備に向けた取り組みを推進する。</p>	農林水産課	R4-R5	16,898	17,558	⑦
		<p>獣害防止事業</p> <p>近年増加傾向にある有害獣出没に伴う農林作物及び生活環境被害の軽減を図るため、伊勢地区猟友会に有害獣捕獲を委託する。</p> <p>また、有害獣から農作物や農村地域の生活環境を守るために行う伊勢市鳥獣被害防止対策協議会事業の経費の一部を負担する。</p>	農林水産課	R4-R5	10,588	10,895	⑤
		<p>森林整備事業</p> <p>海岸部沿線の松枯れ防除等を行い、防風保安林の適正な管理を図る。</p>	農林水産課	R4-R5	14,009	15,800	
		<p>森林経営管理事業</p> <p>森林所有者の経営意欲の低下や所有者不明森林の増加等が懸念される中で、森林の適切な経営管理の取組みを推進する。</p>	農林水産課	R4-R5	25,425	32,946	⑥⑦
	<p>水産物供給基盤機能保全事業</p> <p>効率的・効果的な漁港施設の更新を図るため、施設の保全工事を実施する。</p>	農林水産課	R4-R5	69,500	89,000		
	<p>水田等環境改善事業</p> <p>農作物被害の軽減及び農業の生産性向上並びに農業者の所得の安定を図るために、市内の農業者が行うスクミリンゴガイ（ジャンボタニシ）防除事業に係る経費に対して補助金を交付する。</p>	農林水産課	R4	7,000	3,000		

課題 コード	新規	事業名（小事業名）・事業概要	所属名	事業 年度	事業予算（単位：千円）		関連する 主な分野 横断課題
					（参考） R3当初	R4当初	
61③	●	農地中間管理機構関連農地整備事業 磯町西部において、農地中間管理機構を通じた貸借関係に基づき、ほ場整備を行うことで、担い手への農地集積・集約化、高収益作物の生産拡大等、安定的かつ継続性のある地域営農につなげる。	農林水産課	R4-R5	—	26,700	
61関連		排水機等補修事業 県営排水対策特別事業及び県営ほ場整備事業等で設置された排水機場の補修・更新を行う。	農林水産課	R4-R5	42,285	56,760	⑦
		排水機維持管理経費（機能更新） 県営湛水防除事業及び県営排水対策特別事業等で整備された排水機場の長寿命化対策を実施する。また、大雨時に敷地又は周辺が冠水する排水機場に運転支援システムを導入する。	農林水産課	R4-R5	15,000	72,445	⑤⑦
		種苗放流事業補助金 伊勢湾・宮川各漁業協同組合が実施する貝類・クルマエビ・アユ等の種苗放流事業に対して支援する。	農林水産課	R4-R5	1,683	1,683	
					541,172	669,990	

# 分野6 産業・経済



## 施策2 商工業

### 関連する主な分野横断課題

- ①人口減少・少子化への対応
- ⑤デジタル技術の活用

### 中期基本計画

#### ○推進方針

中小企業・小規模事業者の発展を促します

#### ○施策における主要な課題

主要課題① 中小企業の支援

主要課題② 商店街等の振興

主要課題③ 創業の支援

#### ○施策の現況・課題・今後4年間の方向性

市内の中小企業者は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による外出自粛や時短要請等により売上高が大幅に減少しています。長引くコロナ禍に対応するため、経営の改善・強化への取り組みや新しい生活様式を踏まえた事業活動への転換等を図る必要があります。また、中心市街地の商店街では、伊勢市駅前の再開発や各商店街における賑わいの創出活動により活性化の兆しが広がりつつありますが、いまだかつての賑わいには至っていません。商店街の活性化を図るためには、市民ニーズに対応した魅力ある商店街づくりを進めるとともに、空き店舗の解消が必要です。

このような状況下において、商工団体、商店街連合会等の関係機関と連携し、中小企業者による自社の課題解決や経営力の向上等を図る事業活動、また、魅力ある商店街づくりや空店舗対策を支援します。

また、新たな需要や雇用の創出を生み出す創業を促進するため、商工団体や金融機関等の創業支援機関と連携し、創業しやすい環境づくりを推進します。



## 取り組む事業

課題 コード	新規	事業名（小事業名）・事業概要	所属名	事業 年度	事業予算（単位：千円）		関連する 主な分野 横断課題
					（参考） R3当初	R4当初	
62①		小規模事業資金保証料補給補助金 商工業の振興を図るため、三重県小規模事業資金融資制度要綱に基づき、三重県信用保証協会の保証を得て、小規模事業資金の融資を受けた者に対し、その返済状況に応じた保証料の補給補助を行う。	商工労政課	R4-R5	1,000	56	
		経営改善普及事業 伊勢中小企業相談所（伊勢商工会議所内）及び伊勢小俣町商工会が中小企業者に対して行う経営指導事業に要する経費に対して補助金を交付する。また、中小企業者への相談や指導の充実化を図るため、中小企業者が抱えている課題を専門的・実践的な指導、助言を行う専門家を派遣する経費に対して補助金を交付する。	商工労政課	R4-R5	20,000	20,000	
		経営力向上支援事業 中小企業者の経営に係る負担を軽減し、持続的発展を促し地域経済の活性化を図るため、対象となる融資を受けた場合にその融資に係る利子の一部を補助及び経営を向上させるために実施する取り組みに係る経費の一部を補助する。	商工労政課	R4-R5	32,000	19,000	
		住宅・店舗リフォーム等促進事業補助金 市内の商業及び建設関連産業の振興を促進し、地域経済の活性化を図るため、市内に主たる事業所を有する建設業者等により店舗の新築工事又は、住宅・店舗のリフォーム・増改築を行う者に対し、その工事費の一部を補助する。	商工労政課	R4-R5	18,000	18,000	
		地域産品販売促進事業 食材や特産品等の伊勢の地域資源を広く発信し、認知度の向上及び販路拡大を図るため、首都圏等において物産展等を実施する。また、伊勢の特産品等の販路拡大を図るため、商談会等に出展する事業者への支援を行う。さらに、海外情報の提供、引合斡旋、貿易投資相談業務を行う、日本貿易振興機構に対し分担金を支出することで、関係業界の貿易振興を図る。	商工労政課	R4-R5	2,842	4,285	
		商業活性化推進事業 地域住民や観光客のニーズに応えた商業環境の整備等を図るため、市内の商業団体等が自主的また継続的に実施する事業に対して補助金を交付することにより、市内商業の活性化を図る。また、中心市街地における居住人口の減少、商店街等の賑わいの創出や回遊性の促進などの課題の解決並びに地域資源の利活用に向けて、地域外の人材を誘致し地域活動に従事してもらうことで地域力の維持・強化に取り組み、地域の活性化を図る。	商工労政課	R4-R5	20,850	20,850	
		ものづくり推進事業 中小製造事業者の新技术・新商品の開発に対する補助、伝統工芸品産業の振興に対する補助を行う。	商工労政課	R4-R5	3,036	3,029	
		伊勢のお店応援商品券事業 新型コロナウイルス感染症の影響を受ける事業者を支援するため、プレミアム付き商品券を発行し、地域における消費を喚起することで市内経済の回復を図る。また、商品券の一部を電子化することで接触機会を軽減し決済における利便性を向上する。	商工労政課	R4	—	307,000 ※補正予算(1号)	⑤ 【コロナ】
		伊勢市版地域経済復活支援金 まん延防止等重点措置の適用による経済活動の停滞等の影響により、売上が減少した事業者の事業継続を支援するため、三重県地域経済復活支援金を受給した中小企業者へ支援金を交付する。	商工労政課	R4	—	234,273 ※補正予算(1号)	【コロナ】

課題 コード	新規	事業名(小事業名)・事業概要	所属名	事業 年度	事業予算(単位:千円)		関連する 主な分野 横断課題
					(参考) R3当初	R4当初	
62①	●	<p>EC販路開拓支援事業</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により人流が低下する中、市内事業者が消費者向けのEC(ネット通販)において販路を開拓・拡大することを支援するため、ECサイト開設・出店・改修補助金、(公社)伊勢市観光協会ECサイトの改修、市内事業者のECサイトを一堂に集めるポータルサイトの構築を行う。</p>	商工労政課	R4	—	29,584 ※補正予算(1号)	⑤ 【コロナ】
		<p>産業支援センター管理運営経費</p> <p>伊勢市産業支援センターの施設の管理運営と、企業訪問による課題解決、起業家育成、人材育成セミナーの開催、伝統工芸の振興などの各種支援業務を、指定管理者に委託する。また、産学官等で構成する産業支援センター運営協議会において、当センターの活動成果を分析し、産業戦略のあり方や当センターの運営方針等を指定管理者に提案する。</p>	商工労政課	R4-R5	47,887	45,098	
62②		<p>商店街等振興対策事業</p> <p>地域のコミュニティ機能の担い手としての役割が期待されている商店街等の活性化及び中心市街地の活性化を図るため、伊勢まちづくり株式会社と協働し、商店街等の空店舗対策事業、活性化対策事業、PR支援事業及びAIカメラを活用した通行量調査実証実験事業を実施する。</p>	商工労政課	R4-R5	16,300	14,319	⑤
62③		<p>創業支援事業</p> <p>創業支援事業計画に基づき、市内に創業や本社移転を促進することで地域経済の再生や発展を促すため、創業支援事業者が行う事業に要する経費の一部を補助、新たに市内に事業所を設置し創業等を行う者の創業・移転に必要な経費の一部、また、対象となる創業関連融資制度の融資を受けた場合に、その融資に係る利子の一部や信用保証協会の保証料を補助する。</p>	商工労政課	R4-R5	25,487	24,705	①
					187,402	740,199	

# 分野6 産業・経済



## 施策3 観光

### 関連する主な分野横断課題

- ③新しい地域のつながりづくり
- ④ダイバーシティ社会の実現
- ⑤デジタル技術の活用
- ⑦自然災害への備え
- ⑧「伊勢らしさ」の継承・魅力発信

### 中期基本計画

#### ○推進方針

多様な主体を受け入れ、賑わいがあふれるまちを目指します

#### ○施策における主要な課題

主要課題① 新たな交流を生み出すための魅力ある地域資源の発掘・磨き上げ

主要課題② さまざまな人達に届く情報発信

主要課題③ 満足度を高めるための受入環境・受入基盤整備

#### ○施策の現況・課題・今後4年間の方向性

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、本市の観光客数が減少し、滞在時間、消費単価についても減少したことで、観光消費額は大幅に減少しました。また、コロナ禍の旅行需要として「安全・安心」の価値が大きく高まっており、観光客・住民双方が、安全安心に訪れ、迎え入れるための環境の整備を進めていく必要があります。

このような状況から、新しい生活様式を取り入れながら、滞在時間の延伸や観光目的地等の分散、周遊促進を見据えた魅力ある地域資源の発掘、磨き上げ、旅行商品化等を進めるとともに、重点取組地域に対する観光PR、欧米を中心としたインバウンド誘客、多様な価値観に応じた適時適切な情報発信を行います。また、感染予防対策、バリアフリー観光の推進、多言語対応等の受入基盤の整備を進めます。



## 取り組む事業

課題 コード	新規	事業名（小事業名）・事業概要	所属名	事業 年度	事業予算（単位：千円）		関連する 主な分野 横断課題
					（参考） R3当初	R4当初	
63①		お伊勢さんマラソン開催負担金 全国から約1万人のランナーが集まる「中日三重お伊勢さんマラソン」を開催し、当市への誘客行事として位置づけ、市の活性化を図る。参加者一人ひとりが、健康づくりや競技力向上をめざし、本大会に参加することによって、スポーツの普及、観光振興を図る。	観光振興課	R4-R5	22,000	20,000	⑧
		花火大会開催負担金 全国から約23万人の観客が集まる、日本三大競技花火大会の一つである本大会は、全国各地で活躍の花火師が、日頃の研鑽の技を競う大会である。本大会を通して、花火師・観光客・市民が出会い、交流し、伊勢志摩地域の盛り上げ、地域の活性化を図ることを目的とする。	観光振興課	R4-R5	45,000	45,000	⑧
63① 63②		ターゲット戦略推進事業 取り組みごとにターゲットを定め、効果的・効率的な方法を採用入れながら、伊勢への来訪を促進できるような情報発信や旅行商品の造成等を行う。 新型コロナウイルス感染症経済対策事業として令和2年度に実施し、令和3年度においても予算を繰り越して実施しているクリエイターズ・ワーケーション促進事業を、新たにターゲット戦略推進事業として計上し、継続実施する。	観光誘客課	R4-R5	55,217	51,798	⑧
		外国人観光客誘致推進事業 外国人観光客誘致事業として、参加協議会と連携した誘客宣伝を行うとともに、伊勢市単体としての取組も行い、外国人観光客の誘致を図る。	観光誘客課	R4-R5	21,837	20,516	⑧
		伊勢の魅力・文化発信事業 市内のメインとなる観光エリアやスポット以外の情報の画像を活用した発信や、伊勢の文化・芸術を高解像度の画像を用いてオンラインで発信することでアフターコロナも見据えた旅行の促進と認知度向上を図る。	観光誘客課	R4-R5	-	9,800 ※補正予算(1号)	⑧ 【コロナ】
63① 63③		二見ビーチ活性化事業 二見海水浴場（施設）管理と二見ビーチの活性化に繋がるイベント等の実施	観光振興課	R4-R5	10,532	8,576	⑧
		観光地域力の検証事業 伊勢市内の主な観光施設を訪れた観光客の実態等を「量」と「質」の両面で調査を行い、その結果を分析、考察し、市民、市内観光関連事業者等に発信する。また、令和4年度から令和7年度を計画期間とする「伊勢市観光振興基本計画」の検証を行うことを目的とする。	観光振興課	R4-R5	12,790	4,679	⑧
63②		旅客誘致推進事業 観光PRキャラクターの活用やPRキャラバン、販促物の制作等で伊勢への旅客誘致を推進する。	観光誘客課	R4-R5	4,114	3,392	⑧
63③		スポーツ・MICE誘致推進事業 市内の集客施設を利用してスポーツ合宿や集大会等を実施する主催者等に対し、市内の宿泊施設への延べ宿泊者数に応じた補助金を交付する。	観光振興課	R4-R5	20,100	18,000	⑧
		案内所管理運営経費 宇治山田駅・伊勢市駅・外宮前・宇治浦田・二見浦観光案内所および伊勢市駅手荷物預かり所を運営する。	観光振興課	R4-R5	34,758	45,707	⑧
		観光協会負担金 （公社）伊勢市観光協会の財政基盤を安定させ、公益社団法人ならではの独自性豊かな事業が実施できるよう、事務局人件費の一部を負担する。	観光振興課	R4-R5	5,976	5,942	⑧

課題 コード	新規	事業名(小事業名)・事業概要	所属名	事業 年度	事業予算(単位:千円)		関連する 主な分野 横断課題
					(参考) R3当初	R4当初	
63③		観光客受入基盤整備事業 観光客の受入れ基盤を整備し、維持・向上させる。	観光振興課	R4-R5	7,763	7,868	⑧
		観光客受入環境創出事業 恒例行事として定着している事業等について、(公社)伊勢市観光協会と連携し実施する。また多様化する観光客のニーズを捉え、観光客受入を効果的・効率的に行うための受入体制・事業の充実を図る。	観光振興課	R4-R5	9,416	9,695	⑧
	●	安全安心な観光地づくり推進事業 観光危機管理や受入環境整備の面から、さまざまな人が安全に安心して伊勢の観光を楽しめる環境を整え、訪れる人だけでなく住む人も満足ができる、持続可能な観光地づくりを行う。	観光振興課	R4-R5	-	15,059	③⑤⑦⑧
		バリアフリー観光推進事業 観光地としての伊勢の魅力を高めるため、サービス体制の強化とバリアフリー情報の発信、バリアフリーな滞在環境の創出に取り組む。	観光振興課	R4-R5	879	1,468	④⑧
	●	リモート案内システム等導入事業 観光案内所における観光案内サービス機能に、新たな生活様式における旅行ニーズへ対応する「非接触(リモート)」型観光案内システムの導入を行い、観光客受入環境の更なる向上を図る。	観光振興課	R4-R5	-	17,500 ※補正予算(1号)	⑤⑧ 【コロナ】
63関連		観光人材育成事業 研修や交流活動を通じ、市内観光ガイド団体の観光案内の向上、観光関連事業者など伊勢の観光に携わる方々のおもてなし力の向上、次世代の人材育成を行う。	観光振興課	R4-R5	661	523	③⑧
		広域連携事業 広域ならではのスケールメリットが発揮できる事業について近隣市町や三重県、歴史的なつながりのある地域等、関係各所との連携を行う。	観光誘客課	R4-R5	3,494	3,647	⑧
		伊勢志摩広域観光活性化事業 伊勢志摩地域が一体となって観光の動向及びニーズを的確に捉えた誘客宣伝活動を行うとともに、伊勢志摩観光振興プランを遂行するため、公益社団法人伊勢志摩観光コンベンション機構に参画し、伊勢志摩地域への誘客のための様々な観光事業を展開する。	観光誘客課	R4-R5	17,672	16,800	⑧
		民俗伝統行事継承事業 「お木曳行事」、「お白石持行事」の保存継承及び神宮を核とした伊勢の情報発信を行う。	観光振興課	R4-R5	40,250	37,100	③⑧
	●	旅行消費拡大事業 新型コロナウイルス感染症の影響により、観光消費が落ち込んでいるため、対象宿泊施設を利用した観光客に買い物クーポン(金券)が当たるスクラッチくじを配布することで、伊勢志摩地域内の宿泊施設や土産物店等の利用を増進させ、地域内観光産業の支援と観光消費の促進を図る。	観光誘客課	R4-R5	-	30,000 ※補正予算(1号)	⑧ 【コロナ】
					312,459	373,070	

# 分野6 産業・経済



## 施策4 就労・雇用

### 関連する主な分野横断課題

- ①人口減少・少子化への対応
- ②超高齢社会への対応

### 中期基本計画

#### ○推進方針

働きたい人が働ける、必要な人材が確保できる環境づくりを進めます

#### ○施策における主要な課題

主要課題① 就労のための知識・資格の取得支援

主要課題② 企業の雇用機会の確保支援

主要課題③ 企業立地の促進

#### ○施策の現況・課題・今後4年間の方向性

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、伊勢公共職業安定所管内における令和2年度の平均有効求人倍率は1.07となり、平成29年度から令和元年度の平均値1.66から大きく落ち込みました。一方で、労働力人口が減少する中、新卒者の就職率は比較的堅調に推移しており、企業によっては若者の人材確保に苦慮しています。

今後、さらなる雇用情勢の悪化も懸念され、早期に求職者を就労につなげる取り組みや働く場である市内企業の確保が求められます。また、技術がありながらも知名度が低い中小企業が若者を確保するため、若者に向けてその魅力を伝える取り組みが必要です。

就労・雇用対策については、市、伊勢公共職業安定所、近隣市町、商工団体などの官民が連携し、取り組むことが何よりも重要です。その上で、セミナーなどを通じ求職者の能力向上に資する支援を行うとともに、奨励制度を活用した市内企業の流出防止や市外からの誘致に組み込み、安定した雇用の確保に努めます。

また、若者の人材確保に向けて、地元企業の求人情報や企業概要をPRする情報発信支援や若者と企業が接する機会の提供を行います。

## 取り組む事業

課題 コード	新規	事業名（小事業名）・事業概要	所属名	事業 年度	事業予算（単位：千円）		関連する 主な分野 横断課題
					（参考） R3当初	R4当初	
64①		若年求職者等支援事業 若年者の中には職業的な自立が困難な方が多数存在しており、その要因は多岐に及ぶ。これらの若年求職者・無業者に対し、それぞれの個別ケースに合わせた支援を実施することで、安定した就職の実現を目指す。	商工労政課	R4-R5	4,383	4,383	
64① 64②		雇用就労支援事業 就職・再就職を目指す女性や障がい者の雇用・就労を支援するため、知識・ノウハウ等を提供するセミナー等を行う。また、若者の地元定着を図るため、企業と若者等が接する機会を提供する。雇用の安定を図るため、就職や就業に有利な資格の取得に要する経費の一部を補助する。	商工労政課	R4-R5	5,518	4,337	①
64②		雇用対策一般事業 労働力確保・雇用に関する調査等に取り組む伊勢地区中小企業労働対策協議会へ負担金を支出する。	商工労政課	R4-R5	453	555	
64③		企業立地推進事業 三重県及び関係機関等との連携の下、市内既存企業の設備投資・市外流出抑制及び市外からの企業誘致のため、企業訪問等を行い情報収集及びネットワークの構築を図る。	商工労政課	R4-R5	4,375	1,831	①
		工場等誘致奨励事業 市内への新たな工場等の立地を促進するため、用地取得、設備投資、雇用の奨励制度を講じ、雇用の創出、税収の増加、産業振興等、地域の活性化を図る。	商工労政課	R4-R5	48,033	77,379	①
64関連		中小企業退職金共済制度奨励補助金 中小企業の従業員の福祉の増進と雇用の安定を図るため、退職金制度の掛金の一部助成を行う。	商工労政課	R4-R5	2,112	1,668	
		伊勢地域勤労者福祉サービスセンター補助金 中小企業等の福利厚生を充実させるため、一般社団法人伊勢地域勤労者福祉サービスセンターに対し助成を行う。	商工労政課	R4-R5	13,284	13,284	
		勤労者ふれあい事業 福祉フェスティバル（同時開催 伊勢市環境フェア）を開催し、模擬店、地元企業展等を実施する予定である。	商工労政課	R4-R5	1,010	1,000	
		高齢者労働能力活用事業費補助金 高齢者の就労対策の一環として設立された公益社団法人伊勢市シルバー人材センターに対して補助することで、シルバー会員の就業を支援するとともに、「福祉の受け手から担い手」への体制づくりを支援する。	商工労政課	R4-R5	18,476	18,443	②
					97,644	122,880	

# 分野6 産業・経済



## 施策5 消費者行政

関連する主な分野横断課題

②超高齢社会への対応

### 中期基本計画

#### ○推進方針

消費者が安心・安全に暮らせるまちをつくります

#### ○施策における主要な課題

主要課題① 消費者教育・啓発の推進

主要課題② 相談体制の維持・強化

#### ○施策の現況・課題・今後4年間の方向性

市消費生活センターに寄せられる相談内容は、年々複雑化・高度化し、相談件数も増加傾向にあります。一般的な契約トラブルだけでなく、架空請求や振り込め詐欺、偽サイトなど、消費者を狙った詐欺の手口も巧妙化しています。

消費者が契約トラブルや詐欺被害に遭わないためには、消費者自らが正しい知識を持ち、被害を未然に防ぐことができるように、消費者教育を進める必要があります。また、年々増加し複雑化・高度化する相談に対応するため、相談員の専門知識の向上や相談体制の維持・強化を図る必要があります。

消費者が安心・安全に暮らせるように被害の未然防止、拡大防止を図るため、広報紙、SNS等を活用した情報発信、市内各所での啓発活動、市内学校や老人クラブ等を対象とした出前講座を実施して消費者教育を推進するとともに、国等が実施する消費生活に関する研修や勉強会等に相談員を参加させるなど、相談体制の維持・強化を図ります。

### 取り組む事業

主要課題	新規	事業名（小事業名）・事業概要	所属名	事業年度	事業予算（単位：千円）		関連する主な分野横断課題
					（参考）R3当初	R4当初	
65① 65②		消費生活センター運営事業 消費生活相談業務の複雑化、高度化が進む中、市民が安心して暮らせるよう、引き続き消費生活センターを運営し、消費者被害を未然に防ぐための啓発、消費者教育に努める。また消費生活相談員を雇用することにより、専門的なアドバイスを迅速に行なうことができる。	商工労政課	R4-R5	8,681	11,099	②
					8,681	11,099	





# 分野7 都市基盤



## 施策1 土地利用

### 関連する主な分野横断課題

- ①人口減少・少子化への対応
- ⑦自然災害への備え

### 中期基本計画

#### ○推進方針

よりよいまちとしての土地利用を進めます

#### ○施策における主要な課題

主要課題① 秩序ある土地利用の推進

主要課題② 集約型都市構造の推進

主要課題③ 地籍調査の推進

#### ○施策の現況・課題・今後4年間の方向性

土地利用については、人口減少や中心部と郊外部の地価差を背景として大規模集客施設や戸建て住宅の郊外への立地が進み、多種多様な用途が混在している状況です。このことから、都市計画の制度を活用し、適正な土地利用の誘導を図ります。

また、集約型都市構造の推進については、人口減少や少子高齢化が進行する中、持続可能な都市経営の実現が課題となっています。このため、医療・福祉施設、商業施設などの都市機能増進施設や居住地がまとまって立地し、住民が公共交通によりこれらの都市機能にアクセスできる都市構造への転換を図ります。また、集約型都市構造を目指す上で中心市街地の活性化は不可欠であることから、新たな居住空間及び都市機能の拠点を生み出す伊勢市駅前の再開発事業を支援・促進することで、中心市街地の賑わいを創出します。

地籍調査については、巨大地震の発生の懸念や集中豪雨の多発化など災害リスクが高まっているなか、令和3年度末時点で本市全域の進捗率は9.3%と遅れています。地籍調査は、土地に関する最も基礎的な情報で事前防災や被災後の迅速な復旧復興のほか、民間開発やインフラ整備の円滑化等に不可欠であることから、国の方針に基づき事業連携による優先実施地域を設定し推進します。



## 取り組む事業

課題 コード	新規	事業名（小事業名）・事業概要	所属名	事業 年度	事業予算（単位：千円）		関連する 主な分野 横断課題
					（参考） R3当初	R4当初	
71①		伊勢市土地利用基本方針の推進（非予算化） 土地の自然的条件や土地利用の動向を考慮して、住環境の保護、商業・工業等都市機能の維持増進、美観風致の維持、公害の防止など快適な都市環境を形成するため、用途地域や特定用途制限地域など9種類の地域地区を定め、秩序あるまちづくりを行う。	都市計画課	R4-R5	-	-	①
71②		中心市街地活性化整備事業 伊勢市駅周辺の道路や駐輪場の整備を行い、住環境の向上と中心市街地の賑わいを創出し、活性化を図る。	基盤整備課	R4-R5	25,185	117,900	①
		中心市街地再生事業 伊勢市駅周辺に賑わいを創出し、中心市街地の活性化を図るため、民間事業者が実施する市街地再開発事業に対して、補助金等による支援を実施する。	都市計画課	R4-R5	111,476	580,423	①
		中心市街地都市機能再生促進事業 中心市街地の活性化を図るとともに雇用の促進に資することを目的とした「伊勢市中心市街地都市機能再生促進条例」に基づき奨励金の交付を行う。	都市計画課	R4-R5	6,637	6,519	①
		立地適正化計画推進事業 令和2年6月の法改正により、災害に強いまちづくりを進めるため、災害リスクを踏まえた誘導区域を再設定するなど伊勢市立地適正化計画の改定を行う。	都市計画課	R4	7,612	5,093	①
71③		地籍調査推進事業 災害後の迅速な復旧・復興、社会資本整備、土地取引の円滑化等のため、国土調査法に基づき地籍調査を行う。	用地課	R4-R5	36,868	33,585	⑦
					187,778	743,520	

# 分野7 都市基盤



## 施策2 道路・公園

関連する主な分野横断課題

⑦自然災害への備え

### 中期基本計画

#### ○推進方針

幹線道路の整備及び生活道路、公園施設を良好に保全します

#### ○施策における主要な課題

主要課題① 幹線道路の効率的な整備

主要課題② 通学路の安全対策

主要課題③ 橋梁長寿命化の推進

主要課題④ 公園施設長寿命化の推進

#### ○施策の現況・課題・今後4年間の方向性

道路は、市民生活の向上や都市の発展に直結するインフラとして、重要な役割を担っています。本市においての道路の現況は、神宮周辺や市街地の中心部の幹線道路及び生活道路での渋滞も発生するなど課題も生じており、地域住民が安全で安心して通行できる道路整備が必要です。しかしながら、その整備は、膨大な費用と整備期間を要することから、計画的・効率的に進める必要があります。このため、幹線道路については、都市計画道路を中心に整備を進め、また、生活道路については、狭あい箇所の改善など安全性や利便性の向上に向け整備を進めます。特に通学路の安全対策については、学校・公安委員会・自治会・各道路管理者が連携し、対策箇所の整備を進めます。

既存の橋梁については、整備から90年以上が経過している施設もあり、橋梁長寿命化の推進に向け、計画的かつ効率的な更新修繕を行い安全性を確保します。その他舗装等施設については、日常の点検による損傷の未然防止に加え、トンネルなど老朽化した施設について計画的かつ効率的な更新修繕を行い、安全性を確保します。

公園については、市民の憩いやコミュニティの場であるとともに、スポーツやレクリエーション活動の場であり、子どもたちの遊び場として多くの利用があることから、市民と協働で公園管理を行っています。また、災害時には一時的な避難空間となり、災害拠点となるなど公共空地として必要な施設ともなっています。

既存の公園内には、耐用年数を経過し老朽化した施設も多くあることから、計画的かつ効率的に更新整備を行い、安全性を確保するため公園施設長寿命化を推進します。また、本市は神宮宮域を中心とした自然環境が整い、郊外地には、田畑を有する緑豊かなまちですが、市街地には緑が少ない状況となっています。これらのことから、都市公園などの緑を保全し、引き続き市民と協働で公園管理を進めていきます。

## 取り組む事業

課題コード	新規	事業名（小事業名）・事業概要	所属名	事業年度	事業予算（単位：千円）		関連する主な分野横断課題
					（参考）R3当初	R4当初	
72①		<p>道路改良事業</p> <p>市民生活に密着した道路の拡幅等改良を行うことにより、道路機能の改善、生活環境基盤の整備を進める。</p>	基盤整備課	R4-R5	287,128	197,700	
		<p>一之木5丁目16号線整備事業</p> <p>本路線を整備し、当該地域と周辺の幹線道路とのネットワークを形成させることにより、渋滞緩和や救急車両のアクセス機能の向上を図るものである。</p>	基盤整備課	R4-R5	112,013	61,992	
		<p>高向小俣線ほか1線整備事業</p> <p>現在の宮川橋は、老朽化が著しい状況であるが、橋梁の設置位置の問題から架替えが困難である。そのため、代替機能を持つ高向小俣線ほか1線の整備が必要である。</p>	基盤整備課	R4-R5	342,212	360,957	
72②		<p>通学路整備事業</p> <p>小中学校の通学路における通学路交通安全プログラムでの要対策箇所をはじめ、通学路の対策を重点的に実施することで危険箇所の解消を図り、安全安心な歩行空間を確保する。</p>	基盤整備課	R4-R5	40,044	65,000	
	●	<p>通学路維持補修経費</p> <p>児童生徒が安全に通学できるように通学路の安全確保を図るため、防護柵等の整備、路面標示等の設置を行う。</p>	維持課	R4-R5	-	13,897	
72③		<p>橋梁長寿命化事業</p> <p>道路交通の安全性を確保する上で、これまでの破損してから修繕するという事後的な対応から、計画的かつ予防的な対応に転換し、コスト削減を図るため、橋梁長寿命化事業を実施する。</p>	基盤整備課	R4-R5	134,750	197,260	
72④		<p>公園長寿命化事業</p> <p>安全・安心を確保しつつ、重点的・効率的な維持管理や更新の投資を行っていくため、公園施設の長寿命化事業を行う。</p>	基盤整備課	R4-R5	10,000	58,950	
72関連		<p>道路維持補修経費</p> <p>道路交通の安全性を確保する上で、現状の実態を把握し、異常または損傷を早期に発見するとともに、対策の要否の判断を行い、計画的な修繕を実施する事により、道路施設の長寿命化及びそれに伴うコスト削減を図る。</p>	基盤整備課	R4-R5	197,440	180,000	
		<p>道路舗装事業</p> <p>老朽化及び破損した市道等を舗装することにより、道路機能の回復、通行の安全確保、生活基盤及び生活環境の向上を図る。</p>	維持課	R4-R5	43,100	47,000	
		<p>道路側溝等改良事業</p> <p>道路機能や排水機能の回復及び生活環境の向上を図るため、老朽化した道路側溝の改良や排水処理のための側溝新設を行う。</p>	維持課	R4-R5	353,000	291,700	
		<p>交通安全施設整備事業</p> <p>交通事故防止・交通安全環境の確保のため、道路反射鏡・道路照明灯・防護柵・区画線等の新規設置工事を行う。</p>	維持課	R4-R5	21,600	27,000	
		<p>県営事業地元負担金</p> <p>県土木関係建設事業に伴う地元負担金（街路事業）</p> <p>【事業内容】 外宮常磐線、外宮度会橋線、本町宮川堤線、御幸道路：電線共同溝 豊川浦田線、外宮度会橋線：街路事業</p>	監理課	R4-R5	86,000	65,000	⑦

課題 コード	新規	事業名（小事業名）・事業概要	所属名	事業 年度	事業予算（単位：千円）		関連する 主な分野 横断課題
					（参考） R3当初	R4当初	
72関連	●	岡本吹上線改良事業 電線類を地中化し、都市景観の向上及び歩道の安全性の向上を図るための整備を行う。	基盤整備課	R4-R5	—	11,700	
		宮川河川敷公園整備事業 宮川の高水敷を利用し、スポーツ施設や多目的広場等を整備する。	基盤整備課	R4-R5	5,000	5,000	
		公園整備事業 地域住民や来訪者が集う憩いやコミュニティ活動の場、子どもの遊び場として公園を整備する。	基盤整備課	R4-R5	59,246	12,000	
	●	集まれこどもたち公園整備事業 社会的需要がある公園に遊具を充実させ、地域住民や来訪者が集える憩いや子どもの遊び場を整備する。	基盤整備課	R4-R5	—	69,530	
					1,691,533	1,664,686	

# 分野7 都市基盤



## 施策3 交通

### 関連する主な分野横断課題

- ② 超高齢社会への対応
- ⑤ デジタル技術の活用
- ⑦ 自然災害への備え

### 中期基本計画

#### ○推進方針

移動しやすい交通環境の整備を推進します

#### ○施策における主要な課題

主要課題①	地域公共交通の充実
主要課題②	交通渋滞対策の推進
主要課題③	港湾施設の整備促進

#### ○施策の現況・課題・今後4年間の方向性

本市における交通は2面性を有しており、1つ目は病院、買物、通学といった生活に必要な移動手段としての生活交通、2つ目は年間約800万人が訪れる伊勢神宮等への移動手段としての観光交通であり、各々が別々の課題を有し、対策が必要な状況です。

生活交通については、高齢化が進行し、市民の公共交通に対するニーズも多様化する中、生活に必要な移動手段を確保するとともに利便性を向上することが求められています。

また、観光交通については、観光地間のシームレスな移動手段を確保するとともに、観光シーズン等において発生する交通渋滞への対策が求められています。

このことから、民間の路線バスが撤退した地域や地形的に移動が困難な地域における移動手段を確保するため、おかげバスや乗合タクシー運行を行うとともに、バスの利用方法の周知や公共交通の重要性に係る意識啓発、交通ICカードやバスロケーションシステムの利便性向上等、利用促進に取り組めます。

また、市営駐車場・臨時駐車場の運営やパーク&バスライドに加え、これまで以上に国土交通省や三重県と連携しながら、内宮周辺だけでなく市内全域で交通需要マネジメント（TDM）を行います。

宇治山田港は本市の唯一の港湾であり、周辺地域の建設資材供給の基地や海苔の養殖、採貝等の漁業等が盛んに行われています。

しかしながら、近年の集中豪雨及び台風による影響で土砂等が宇治山田港湾入口へ堆積することにより、安全な船舶航行ができなくなる状態が危惧されます。

このことから、航路及び泊地の浚渫（しゅんせつ）等を管理者に求め、船舶の安全航行に支障が生じないよう取り組めます。

## 取り組む事業

課題 コード	新規	事業名（小事業名）・事業概要	所属名	事業 年度	事業予算（単位：千円）		関連する 主な分野 横断課題
					（参考） R3当初	R4当初	
73①		コミュニティバス運行事業 自らの移動手段を持たない交通弱者（高齢者等）に対し移動手段を確保するとともに、公共交通の利便性の向上を図るため、市内において6路線で定時運行、4路線で予約制のコミュニティバスを運行する。また、まちづくり協議会が運営する地域住民の生活に必要な交通手段を確保するための乗合タクシー運行事業に対する支援を行う。	交通政策課	R4-R5	145,908	136,674	②
		路線バス運行維持事業 市民の身近な交通手段である路線バスが赤字によって路線廃止に追い込まれるため、経常損益分の補填を行い路線を維持する。	交通政策課	R4-R5	5,944	6,231	②
		自主運行バス運行事業 沼木地区において、車など自ら移動手段を持たない住民が買い物、通院などの市民生活を行う上で必要な公共交通を確保するため、市が運行主体となり、「自家用有償旅客運送」（道路運送法第79条）の登録を受け、白ナンバーでの運行を行う。	交通政策課	R4-R5	9,400	9,172	②
73②		駐車場管理運営経費（観光交通対策事業） 神宮周辺の渋滞解消緩和のため、市営宇治駐車場運営を行い、交通対策を実施するとともに、神宮周辺の交通需要予測を行い、短期・中期的な展望を整理する。	交通政策課	R4-R5	554,749	510,346	⑤
73③		県営事業地元負担金 県土木関係建設事業に伴う地元負担金（港湾海岸事業）【事業内容】宇治山田港（大湊工区）護岸改良事業	監理課	R4-R5	16,000	21,600	⑦
					732,001	684,023	

# 分野7 都市基盤



## 施策4 河川・排水

### 関連する主な分野横断課題

- ⑥脱炭素社会の実現
- ⑦自然災害への備え

### 中期基本計画

#### ○推進方針

河川・排水施設を良好に保全します

#### ○施策における主要な課題

主要課題① 河川・排水路の整備

主要課題② 河川・排水路の堆積土砂の撤去

主要課題③ ポンプ場の更新及び延命化の推進

#### ○施策の現況・課題・今後4年間の方向性

近年、気候変動の影響により大雨の頻度や強度が増加し、気象災害が頻発化・激甚化しており、本市においても浸水被害が発生しています。

浸水被害の軽減を図るためには、河川・排水路の整備や適正な維持管理が必要であることから、河川護岸等の整備を計画的に進めるとともに、河川や排水路の堆積土砂の撤去を推進します。

また、雨水ポンプ場については、耐用年数を経過した施設もあることから、必要時に稼働できるよう計画的かつ効率的なポンプ場の更新及び延命化を推進し、治水に対する安全性の確保に取り組みます。



## 取り組む事業

課題 コード	新規	事業名（小事業名）・事業概要	所属名	事業 年度	事業予算（単位：千円）		関連する 主な分野 横断課題
					（参考） R3当初	R4当初	
74①		河川改良事業 護岸の高さ不足や流下能力の不足等による浸水被害が危惧される河川において、河川拡幅や護岸改良等を行うことにより浸水被害や災害の軽減・防止を図る。	基盤整備課	R4-R5	9,900	35,400	⑥⑦
		排水施設整備事業 豪雨時の急激な増水による浸水被害を軽減・防止するため、排水路の整備を進める。	基盤整備課	R4-R5	102,300	103,400	⑥⑦
74②		河川維持補修経費 河川を維持管理していく上で生じる補修及び小規模な工事を行う。また、河川内に堆積した土砂の撤去を行う。	維持課	R4-R5	52,700	50,900	⑦
		排水路維持補修経費 排水路の排水機能が良好な状態に保たれるよう、堆積土砂の撤去や補修を行う。	維持課	R4-R5	109,208	147,840	⑦
74③		排水機場維持管理経費（ポンプ場機能更新） 老朽化する都市ポンプ場の機能診断に基づき長期補修計画を策定し、予防保全の考え方で機能更新を行うことにより効率的かつ効果的な維持管理を行う。	維持課	R4-R5	129,000	99,000	⑦
					403,108	436,540	

# 分野7 都市基盤



## 施策5 住宅

### 関連する主な分野横断課題

- ①人口減少・少子化への対応
- ⑦自然災害への備え
- ⑧「伊勢らしさ」の継承・魅力発信

### 中期基本計画

#### ○推進方針

市民が住んでいたいと感じる住環境の整備を推進します

#### ○施策における主要な課題

主要課題①	市営住宅の長寿命化
主要課題②	空家等対策の推進
主要課題③	木造住宅耐震化
主要課題④	良好な景観形成

#### ○施策の現況・課題・今後4年間の方向性

住宅については、将来にわたって安心して住み続けられる良好な環境の整備と保全が課題となっています。

市営住宅については、老朽化が進んでいることから、効率的な管理をしながら、長寿命化を図っていきます。

空家等対策については、管理不全な空家の増加により地域住民の生活環境の悪化が危惧されることから、自治会をはじめ、地域との連携を図りながら、空家所有者等の適正管理を促し安全・安心の確保を図るとともに、空家バンク制度等により空家の流通・活用の促進を図ります。

耐震性のない木造住宅については、地震等による倒壊のおそれがあることから、耐震診断や補強設計を支援することにより耐震化を推進するとともに、居住の見込みがない場合は除却を促すなど、地震等による被害を最小限とするための取り組みを進めていきます。

良好な景観形成については、少子高齢化や市街地の空洞化が進むことにより、本市固有の歴史的景観や豊かな自然など地域やまちの個性が失われようとしています。このようなことから景観に配慮した建物への補助金による支援や、コンクールの開催などによる意識の向上を行い、良好な景観を次世代に継承していきます。

## 取り組む事業

課題 コード	新規	事業名（小事業名）・事業概要	所属名	事業 年度	事業予算（単位：千円）		関連する 主な分野 横断課題
					（参考） R3当初	R4当初	
75①		住宅等改修事業 入居者が住みよい環境を整備し、市営住宅を良好な状態維持するため、老朽化した市営住宅及び附帯設備の全面的な改修等を行う。	住宅政策課	R4-R5	38,511	21,312	
		住宅等整備事業 社会資本整備総合交付金制度に基づき、令和3年度から令和5年度までの3年間を計画期間とし、国の助成を受けて市営住宅の整備を行い、住宅の機能向上及び高齢者等が安心して生活できる住まいづくりを推進する。また、平成25年度に策定した市営住宅等長寿命化計画に基づき、効率的な維持管理及び改修工事を行う。	住宅政策課	R4-R5	44,476	47,012	
75②		空家等対策事業 伊勢市空家等対策計画に基づき、空家の適正管理についての周知啓発や、空家バンク制度等による空家の有効活用と移住の促進、周辺の住環境に悪影響を与える危険な空家の除却補助など、空家等に関する対策を総合的かつ計画的に実施することで、地域住民の住環境の保全を図る。	住宅政策課	R4-R5	17,828	13,894	①
75③		住宅・建築物耐震改修等促進事業 倒壊の危険性の高い木造住宅の耐震化を促進するため、無料耐震診断を実施し、耐震補強設計策定や耐震補強工事に要する費用の一部を助成する。また、防災対策上重要または市民の生命の安全を確保する上で重要と考えられる民間建築物の耐震化支援を行う。	住宅政策課	R4-R5	65,635	64,724	⑦
75④		景観形成推進事業 伊勢市景観形成推進事業補助金交付要綱の助成基準に適合した事業に補助金を交付し、良好な景観形成の推進を図る。また、コンクールを通じた作品巡回展示による意識啓発により、将来を担う子ども達への一層の景観意識向上を図る。	都市計画課	R4-R5	11,279	11,284	⑧
75関連		被災住宅復旧事業 大雨による災害により、居住している住宅が床上浸水の被害を受けた者に対する復旧に係る工事費用の一部補助を行う。	住宅政策課	R4-R5	2,000	1,000	⑦
					179,729	159,226	

# 分野7 都市基盤



## 施策6 水道

### 関連する主な分野横断課題

⑦自然災害への備え

### 中期基本計画

#### ○推進方針

安全で安心な水を未来へつなげます

#### ○施策における主要な課題

主要課題①	【強靱（きょうじん）】 災害に強いしなやかな水道の構築
主要課題②	【持続】 健全で持続可能な水道経営
主要課題③	【安全】 安全で安心できる水道水の供給

#### ○施策の現況・課題・今後4年間の方向性

水道は人々の暮らしの中で重要なライフラインとしての役割を果たしていることから、強靱（きょうじん）な水道を構築し安全で安心な水を供給し続けることが求められています。

現在、人口減少や節水型機器の普及などにより水需要が減少している状況の中で、将来予想される地震等災害への備えとして、令和3年度末時点で193.5kmある耐震管路の延伸や施設の耐震化、さらに耐用年数が経過した施設の老朽化対策に取り組むことが必要です。

このため、人口減少等社会情勢の変化に対応した施設能力と規模を見定めた更新・再編・統廃合などの老朽化対策と耐震化を計画的に行い、また、水質の監視・管理体制をさらに充実させることにより、災害に強く安全・安心で持続可能な水道経営を目指します。

## 取り組む事業

課題 コード	新規	事業名（小事業名）・事業概要	所属名	事業 年度	事業予算（単位：千円）		関連する 主な分野 横断課題
					（参考） R3当初	R4当初	
76①		基幹配水管敷設及び敷設替事業 災害時に、避難所や病院等の重要拠点への給水を確保するため、耐震性能を備えた水道管路へ敷設替えを行う。	上水道課	R4-R5	222,454	227,391	⑦
		施設耐震化事業 耐震診断を実施し、耐震性が無いと確認された基幹施設について計画的に耐震化を行う。	上水道課	R4-R5	21,462	43,148	⑦
76②		水源地施設事業 安定供給を図るため、水源地施設の改良・更新を行う。	上水道課	R4-R5	25,800	78,400	
		送配水管敷設及び敷設替事業 送水管と配水管を分離するため、水道管路の敷設を行う。	上水道課	R4-R5	145,405	13,484	
		支障管敷設替事業 下水道建設工事等に支障となるため、水道管路の敷設替えを行う。	上水道課	R4-R5	416,471	341,086	
		施設統廃合事業 水道施設の更新時期に合わせ、ダウンサイジングと効率化を図りながら水道施設の統廃合を行う。	上水道課	R4-R5	198,524	264,283	
		老朽管更新事業 伊勢市独自の更新基準に基づき、老朽管の更新を行う。	上水道課	R4-R5	354,240	604,351	
76③		水源地維持管理事業 水源地等を効率的に運転し、健全な維持管理及び安定給水を行う。	上水道課	R4-R5	850,566	834,827	
		配水及び給水施設維持管理事業 配水及び給水施設等を効率的に運転し、健全な維持管理及び安定給水を行う。	上水道課	R4-R5	395,017	359,009	
					2,629,939	2,765,979	

# 分野7 都市基盤



## 施策7 下水道

### 関連する主な分野横断課題

⑦自然災害への備え

### 中期基本計画

#### ○推進方針

快適な生活環境づくりと安心して暮らせるまちづくりを推進します

#### ○施策における主要な課題

主要課題① 快適な生活環境の整備

主要課題② 市街地の浸水被害の軽減

主要課題③ 施設の更新と防災対策

#### ○施策の現況・課題・今後4年間の方向性

下水道は公共用水域の水質保全、浸水被害の軽減のため重要な都市基盤施設として大きな役割を果たしています。

下水道による生活排水の処理については、下水道を利用できる区域の人口が7万人を超えたものの、いまだ利用できない区域が残っています。快適できれいな生活環境を守るため、未普及区域を解消するとともに処理区域内の下水道への接続を促進します。

雨水事業は毎年のように発生する集中豪雨、特に平成29年台風第21号により甚大な被害を受けました。浸水被害をさらに軽減するため、排水路の整備や雨水排水ポンプの増設を計画的に進めます。

また、経年劣化する施設や設備を適正に維持管理するため、更新・改築を計画的に進め、将来予想される地震等災害への備えとしてマンホール浮上防止、施設の耐水化など防災・減災対策を進めます。

## 取り組む事業

課題 コード	新規	事業名（小事業名）・事業概要	所属名	事業 年度	事業予算（単位：千円）		関連する 主な分野 横断課題
					（参考） R3当初	R4当初	
77①		流域関連公共下水道（污水）事業 宮川流域下水道区域内の汚水処理の普及による生活環境の改善、公共用水域の水質保全を図るため、下水道整備を行う。	下水道建設課	R4-R5	2,766,838	2,462,762	
		宇治・中村特定環境保全公共下水道（污水）事業 宇治・中村地区内の汚水処理の普及による生活環境の改善、公共用水域の水質保全を図るため、下水道整備を行う。	下水道建設課	R4-R5	18,752	9,752	
77②		雨水管渠敷設事業 勢田川流域等浸水対策実行計画等に基づき、雨水管渠の整備を行う。	下水道建設課	R4-R5	48,000	4,000	⑦
		ポンプ場築造事業 勢田川流域等浸水対策実行計画等に基づき、ポンプ施設の増設を行う。	下水道建設課	R4-R5	14,000	340,400	⑦
77③		下水管渠更新事業 液状化によるマンホール浮上防止対策及び老朽化したマンホールポンプ等の更新を行う。	下水道建設課 下水道施設 管理課	R4-R5	57,000	91,000	⑦
		処理場更新事業 五十鈴川中村浄化センターの改築・更新を計画的に行う。	下水道施設 管理課	R4-R5	10,000	10,000	
		雨水管渠更新事業 下水道ストックマネジメント計画等に基づき、老朽化対策が必要な雨水管渠の改築・更新を計画的に行う。	下水道施設 管理課	R4-R5	20,000	10,000	
		ポンプ場更新事業 下水道ストックマネジメント計画等に基づき、老朽化対策が必要なポンプ場及び地震に対する耐震性が不足しているポンプ場の改築・更新を計画的に行う。	下水道建設課 下水道施設 管理課	R4-R5	368,404	303,527	⑦
					3,302,994	3,231,441	





# 分野8 市役所運営



## 施策1 行財政運営

### 関連する主な分野横断課題

- ①人口減少・少子化への対応
- ⑤デジタル技術の活用
- ⑧「伊勢らしさ」の継承・魅力発信

### 中期基本計画

#### ○推進方針

適時・適切に情報発信するとともに、持続可能な行財政運営を進めます

#### ○施策における主要な課題

主要課題① 総合計画に基づく効率的、効果的な行財政運営

主要課題② 行政のデジタル化

主要課題③ 市政情報の適時・適切な発信

#### ○施策の現況・課題・今後4年間の方向性

本市の財政状況については、おおむね堅調な状態を維持していますが、高齢化の進展に伴う社会保障費の増大、また、地方交付税の合併に伴う有利な財政措置が終了するなど、今後は厳しい財政状況が予想されます。

また、新型コロナウイルス感染症による社会環境の変化に伴い、これまでの行政サービスや事業の見直しが求められています。

持続可能で時代に即した行財政運営を図るため、公共施設マネジメントの推進や行政サービスのデジタル化、近隣市町との連携強化、「今」の市民ニーズに対応した事業への見直し等を行うとともに、健全な財政運営を図ります。

また、従来の広報媒体に加え、SNSや各種メディア等、それぞれの媒体を活用しながら、適時・適切な情報発信に努めるなど、市民とのコミュニケーションの強化を図ります。

## 取り組む事業

課題 コード	新規	事業名（小事業名）・事業概要	所属名	事業 年度	事業予算（単位：千円）		関連する 主な分野 横断課題
					（参考） R3当初	R4当初	
81①		総合計画推進事業 第3次伊勢市総合計画・中期基本計画の進行管理を行う。	企画調整課	R4-R5	745	1,443	
		ふるさと応援寄附推進事業 ふるさと応援寄附金の受入を行う。また、ふるさと応援寄附金獲得のためのPRを行う。	企画調整課	R4-R5	160,121	216,118	
		地方版総合戦略推進事業 第2期伊勢市まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づく取組の進行管理を行う。	企画調整課	R4-R5	351	351	
		行財政改革推進事業 行政サービスの生産性の向上や市民満足度の向上を目指し、時代にふさわしい行財政運営を行うことを目的として策定した行財政改革プランに基づき、効率的・効果的な行財政運営を行うことで、行財政改革を推進する。	企画調整課	R4-R5	306	122	
		公共施設マネジメント事業 公共施設等の総合的かつ計画的な管理を行い、財政負担を軽減・平準化するとともに、公共施設の最適な配置の実現し、時代に即したまちづくりを行う。	資産経営課	R4-R5	618	8,200	
81②		デジタル活用推進事業 行政のデジタル化を推進することで、関係者の利便性向上及び庁内業務の簡素化・効率化を図り、市民サービスの向上に努めるとともに、市民のデジタルリテラシー向上に取り組む。 また、市全体における各分野のデジタル化を推進し、地域課題解決を行うスマートシティの実現に向けて取り組む。	デジタル政策課	R4-R5	40,420	34,003	⑤
		住民情報システム管理経費 住民基本台帳、市税（住民税、固定資産税等）、国民健康保険などのデータを管理し、住民票などの発行、市税の計算など住民サービスの根幹を成すシステムの安定稼働等を行う。	デジタル政策課	R4-R5	139,672	305,106	⑤
		行政情報システム管理経費 行政情報システム（文書管理、財務会計、出退勤、人事給与などの行政内部事務の根幹を成すシステム）及びネットワークシステム等の安定稼働を行う。	デジタル政策課	R4-R5	155,910	199,517	⑤
		ITセキュリティ対策事業 市が保有している個人情報などの情報資産を保護するための、セキュリティ対策を行う。	デジタル政策課	R4-R5	29,262	153,926	⑤
		キャッシュレス決済対応レジ導入事業 多くの市民が利用する各種証明書発行に係る窓口 ● にキャッシュレス決済を先行導入し、市民と職員の接触機会低減や利便性向上、職員の事務効率化を図る。その利用状況を把握することで、今後の取組を検討する。	デジタル政策課	R4-R5	—	12,360 ※補正予算(1号)	⑤ 【コロナ】
	電子申告運用事業 電子申告の推進により、納税者の利便性の向上及び職員の事務効率化を図るため、システム改修を行い、全国の自治体が共同で運営する地方税ポータルシステムと連携する。	課税課	R4-R5	6,404	10,444	⑤	

課題 コード	新規	事業名(小事業名)・事業概要	所属名	事業 年度	事業予算(単位:千円)		関連する 主な分野 横断課題
					(参考) R3当初	R4当初	
81③		広報いせ発行事業 「広報いせ」を毎月2回(1日号・15日号 ※1・5月については、「新春合併号・5月合併号」とし、1回のみ)発行し、市政方針や事業計画・各種制度の概要、行事予定、市民活動情報などを広く市民に広報し、市政に対する理解と協力を求めるとともに、市民参画意識の高揚を図りまちづくりへの参画等を促す。	広報広聴課	R4-R5	32,168	32,004	
		CATV広報いせ放送事業 ケーブルテレビ(行政放送)で放送する情報番組の制作、放送スケジュール管理及び放送業務	広報広聴課	R4-R5	17,490	16,401	
		インターネット情報発信事業 伊勢市ホームページの運用保守管理にかかる経費	広報広聴課	R4-R5	5,043	5,043	⑤
		シティプロモーション推進事業 市の地域資源・魅力の市内外での認知度向上及びシビックプライド(伊勢市への誇りと愛着)の醸成を図るための取組を行う。	企画調整課	R4-R5	32,004	6,250	①⑧
81関連		定住自立圏構想推進事業 伊勢志摩定住自立圏の中心市として、構成市町と連携・協力し、「第2次伊勢志摩定住自立圏共生ビジョン」に定めた取組を行う。	企画調整課	R4-R5	610	463	
		宮川流域連携事業負担金 宮川流域の豊かな自然や歴史、文化等を保全・再生しながら地域の活性化を図る、宮川流域ルネッサンス協議会への負担金。	企画調整課	R4-R5	200	100	
		情報調査経費 日常の業務の円滑化に資することを目的とした情報収集を行う。 また、市民の実態・実感等に関する調査を行う。	企画調整課	R4-R5	5,859	2,494	
					627,183	1,004,345	

# 分野8 市役所運営

16 平和と公正を  
すべての人に



## 施策2 行政組織力

### 中期基本計画

#### ○推進方針

職員のプロ意識を向上させ、行政全体の組織力強化を推進します

#### ○施策における主要な課題

主要課題① 信頼される職員・組織づくり

主要課題② 危機管理体制の強化

#### ○施策の現況・課題・今後4年間の方向性

少子高齢化の進行による人口減少や人口構造の変化、多様化・高度化する市民ニーズなど、社会情勢は急速に変化しています。また、地方分権の一層の推進による国・県からの権限移譲により、市役所が果たすべき役割はますます大きくなっています。

地域の実態を踏まえ、市民の立場に立って政策を企画・立案できる、また、市民との信頼関係を構築し、説明責任を果たしつつ政策を実施していくことができる職員を育成するため、各種研修事業や育成面談等の人材育成を推進します。

また、社会環境等の変化に対応した機構改革や人事異動を行い、柔軟で機動的な組織運営を図ります。

風水害や地震等の自然災害や新型コロナウイルス感染症などの感染症の脅威が迫る中、職員の危機管理能力の向上や体制の強化、また、行政サービス提供体制の確保のための業務継続計画の充実など、非常時への備えを進めます。

### 取り組む事業

主要課題	新規	事業名（小事業名）・事業概要	所属名	事業年度	事業予算（単位：千円）		関連する 主な分野 横断課題
					（参考） R3当初	R4当初	
82①		職員研修事業 少子高齢化の進行による人口減少や人口構造の変化、多様化・高度化する市民ニーズなどの社会情勢の変化や地方分権の一層の推進による国・県からの権限移譲に対応していくため、伊勢市人材育成基本方針・人材育成アクションプランに基づき、階層別研修などの一般研修や市町村職員中央研修所などへの派遣研修を実施する。	職員課	R4-R5	12,969	11,862	
82②		防災対策一般経費 災害対応の円滑化及び職員の防災研修、庁内図上訓練・BCM定例会に係る事務費など。	危機管理課	R4-R5	21,032	22,136	
					34,001	33,998	